市勢要覽

昭和28年版

廣島市

図書
24
6

市勢要覧

1953

◉市制施行年月日
明治22年4月1日

◉全国都市中、市制施行順位番号
第 5 番

本市の市章は、明治29年5月制定されたもので、旧芸州藩の旗印であつた三つ引（三）からヒントを得て、これに川の流れを表現するカーブをつけて、水都広島を象徴している。

広　島　市

はしがき

◈本書は、戦後８年を経過した平和記念都市「広島」の現況を広く紹介することを目的として、編集したものです。

◈本書の内容は、主として昭和28年中における１年間の記録を集録したものであり、また、特に示すもの以外は、昭和28年12月末日現在によつております。

◈本書が、「広島」の現況を知られようとする人々のために、参考かつ案内書としての役目を果すことを念願します。

◈本書の内容には、なお多くの不備な点もあるかと存じますが、各位の御教示により逐年一層完ぺきなものにして行きたいと思います。

◈本書の発行に際し、貴重な資料・写真等を御提供下さいました諸官公庁、並びに会社、団体各位の御協力に対し、深じんの謝意を表し併せて今後一層の御支援をお願いする次第です。

昭和２９年９月

広島市 総務局 調査課

上空から見た広島市街　市の北東、二瀬川上流(西日本航空株式会社撮影)

平和の歌

重園賞雄作詩
広島教育音楽連盟作曲

一、雲白く　たなびくところ
空のはて　東に西に
おお高く　こだまひびけと
鐘は鳴る　平和の鐘に
いまわれら　雄々しく起ちて
その栄え　ここに興さん

二、波青く　たゆとおところ
海のはて　南に北に
おお遠く　祈りとどけと
鐘は鳴る　平和の鐘に
いまわれら　試練を越えて
その行手　ここに仰がん

三、風清く　かがやくところ
国のはて　世界の友に
おお熱く　想いかよえと
鐘は鳴る　平和の鐘に
いまわれら　手をさし伸べて
その睦み　ここに歌わん

ヒロシマ平和都市の歌

大木惇夫作詩
山田耕筰作曲

一、三篠川　デルタにつどふ　智慧ふかきもの
やはらぎの使途　今なべて目ざめたり
過ぎし日のわざはひに　地に象す　ヒロシマ
さきがけて　やすらひの都　この土
たのもしや　光みち花はひらかむ
ああ　われら　土に種子まき
とこしへの幸を呼ぶなり

二、二葉山　みどりよらふ　慶ましきもの
よろこびの民　今なべてはげむなり
大いなる道のため　起ちあがり
よみがへり　いしづえ
荒れ塚に築くや　この山
明るしや　嶺は歌はむ
望みあり　われら　額に汗して
ああ　ヒロシマの民と呼ばれむ

三、波しづか　世界とやはす　美わしきもの
瀬戸内の海　今なべて避くるなり
地の上にたたかひを　愛を展べ　揺籃
調べよく　この水
青空をゆする　虹はかからむ
きよけしや　祈りみち　われら　栄えを頌あふ
ああ　やすらひの民を呼ぶなり

百米道路中央部上空附近から東方を望む

百米道路中央部上空附近から西方を望む

（西日本航空株式会社提供）

平和宣言

あの戦慄すべき日から、ここに八年の歳月が過ぎた。

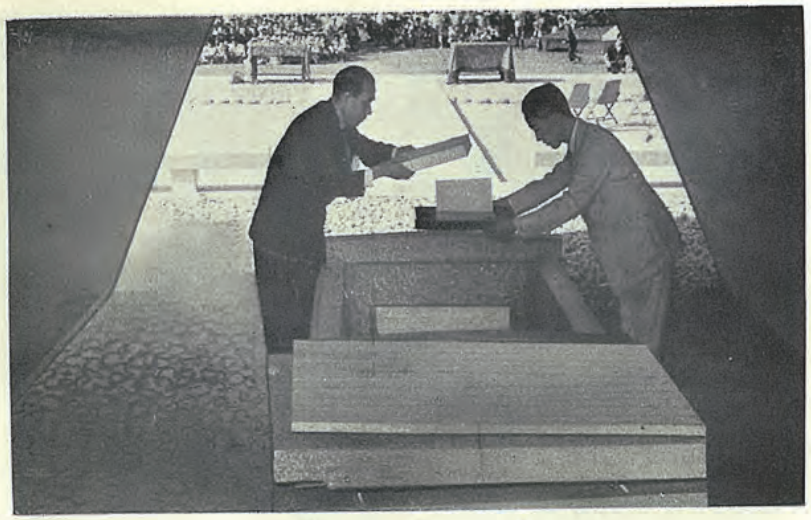
原爆下の広島の惨状は、今もまざまざとわれわれの眼に浮んで来る。それは、人間の想像をはるかに超えた痛ましき限りのものであつた。しかも一個の原子爆弾がのこした罪悪の痕は、いまなお、消えるべくもなく続いている。それは今後の戦争の深刻さを警告し、人類が自らの滅亡を望まないならば、再び武器をもつて争つてはならない事を訓えている。

原子力を解放し得たことは、明らかに科学の偉大なる進歩であつた。この近代科学の成果が殺戮と破壊のために使われるか、それとも、全人類共同の福祉のために使われるかによつて、人類の運命は今や破滅か繁栄かの岐路に直面している。

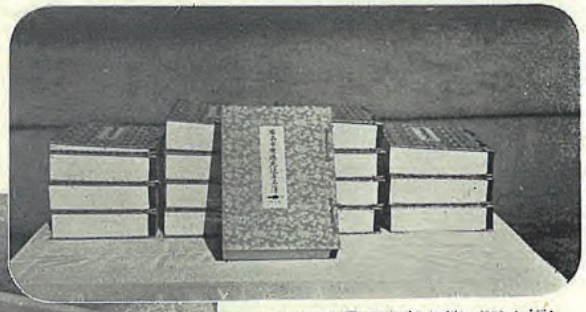
本日、原爆八周年記念日にあたり、われわれは、世界最初の原爆を身をもつて知つた広島市民として、全世界の人々に重ねてこの事実を伝え、われわれもまた、決意を新たにして、平和確立のために精進することを誓しみて地下の霊に誓うものである。

昭和二十八年八月六日

広島市長　浜井信三



慰　霊　碑



広島市原爆死没者名簿（過去帳）

慰霊碑内の奉納名簿

目　次

第1編　沿　革

創始時代……1
封建時代……1
明治、大正時代……2
昭和時代……2
戦災とその後……3
被爆時の状況……3
主要年表……3

第2編　風　土

位　置……7
地　形……7
地　質……8
気　象……8
　気象台の位置
　気象概況
　気象最高低極値
　降霜、雪、結氷時期
　測候所別気象概況
面　積……12
　編入市域
　地種別民有地

第3編　人　口

概　要……13
市制施行後の人口推移……13
月別、出張所別人口……15
町別人口……16
年令別人口……20
広島県市郡別人口……21
戸籍の届出状況……22
人口動態……23
全国の人口動態……24
転入、転出による異動人口……25
人口密度……25
外国人登録数……26
昼間人口……27
　広島市昼間人口
　広島市と他市郡との流出入人口

第4編　住　宅

概　要……31
市制施行後の住戸推移……32
住宅統計調査の結果……32
　住宅及び住宅以外の建物別住戸数
　住戸の種類別世帯数及び人員
　所有関係別住宅数
　住戸の種類別室数及び畳数
市、県営住宅……34
　年度別市営住宅建設状況
　昭和28年度市営住宅建設状況
　昭和28年度市営住宅申込状況
　年度別県営住宅建設状況
建築物着工状況……36
　昭和28年用途別着工建築物
　昭和28年月別新築住宅
住宅金融公庫業務取扱状況……36

第5編　行　政

行政歴史……37
　江戸時代
　明治、大正時代
　昭和時代
　市役所機構一覧表
議決機関……38
　補助機関
　歴代市議会議長
　市議会議員名簿
　所属党派別議員数
　市議会開催状況
　請願、陳情調
　常任委員会開催状況
執行機関……42
　歴代市長
　職員配置
　職員の定数
　条例及び規則の制定件数
　新制定の条例

選挙管理委員会……48
機　構
基本選挙人名簿登録者数
農業委員会委員選挙人名簿登録者数
安芸海区漁業調整委員会委員選挙人名簿登録者数
昭和28年における選挙の実施状況
党派別得票数
広島県市郡別衆議院議員選挙有権者数及び投票率
監査委員……52
監査委員機構
事務取扱件数
公平委員会……52

第6編　財　政

概　要……53
予算・決算……53
年度別予算決算
昭和27年度決算
一般会計
特別会計
企業会計
（損益計算書・貸借対照表）
昭和28・29年度予算
一般会計
特別会計
企業会計
市　債……64
年別市債現在高
昭和28年末会計別市債現在高
費途別主要市債
市有財産……68
市　税……68
年度別市税収入状況
税種別収入状況
年度別市税負担状況
市税に対する課税物件調
固定資産評価審査委員会……71
固定資産評価格……71
土地資産
家屋資産
償却資産

第7編　法　務

法務機関……73
検察庁……73
職員数
刑事事件処理状況
刑事控訴事件公判並びに処理状況
裁判所……74
職員数
民事事件
刑事事件
新受訴訟事件
刑事第一審有罪被告人の科刑
家事調停事件
家事審判事件
雑事件
少年保護事件
少年の福祉を害する成人の刑事事件
法務局……81
職員数
訟務事件
登記事務
帰化申請事件
人権侵犯事件
保護観察所……83
保護観察対象者
保護処分少年の犯罪動機
少年鑑別所……84
犯罪別収容員
刑務所、拘置所……84
職員数
入出監者数
罪名別受刑者数
全国新受刑者数

第8編　公　安

公安委員会……87

市警察……87
機　構
市警察職員
派出（駐在）所
主要犯罪発生及び検挙件数
青少年犯罪検挙件数
原因別家出人
経済違反取締状況
各種営業許可件数
交通事故発生件数
交通機関別による事故発生件数
消　防……94
消防局の機構
消防装備及び職員配置
原因別火災発生件数
建物別及びその他の火災被害状況
消防水利の設置状況
全国火災発生及び被害状況
消防団の組織
消防団装備並びに編成人員
海上保安……99
機　構
職員数
警備救難業務
港湾業務
海上犯罪検挙件数
海難事故発生件数

第9編　産　業

商　業……101
店舗数従業者数及び売上額
全国主要都市別商店数及び売上額
卸売業者実態調査
工　業……105
産業別事業所数従業者数並びに生産額
規模別事業所数従業者数並びに生産額
工芸指導所……109
種類別利用状況
機械器具設備数量
商工相談所……110
種類別相談件数
商工業の振興対策……110
工場設置条例
企業診断
金融対策
貿　易……112
広島市生産品輸出実績
計　量……113
計量器検査状況
農　業……113
農業委員会……114
経営耕地面積……114
農家数従事者数並びに経営耕地面積
種類別経営耕地面積
収穫高……116
主要農産物の作付面積及び収穫高
特産農産物の収穫高
畜産業……116
家畜飼育状況
牛乳生産量
漁　業……117
漁業世帯数
漁業の種類別世帯数
漁撈方式別の従事者数
漁船数
漁獲数量及び金額
広島競輪……119
広島競輪の実績

第10編　金　融

銀行、信託……121
種類別預金高
種類別貸出高
銀行預金及び貸出高
各種金融機関の預金及び貸出高
手形交換高
郵便貯金……124
郵便貯金取扱状況

郵便為替貯金取扱状況
証　券……126
証券取引所出来高及び平均株価
国民金融公庫貸付状況……127
保　険……127
生命保険契約状況
簡易保険取扱状況

第11編　学校教育

教育委員会……129
教育委員
補助機関……129
機　構
学校教育の概要……129
教育関係予算……130
学校別児童生徒及び教職員数…131
小学校
中学校
高等学校
特殊学校
幼稚園
各種学校
身体検査測値平均……135
長期欠席児童及び生徒……136
卒業後の状況……136
中学校
高等学校
学校給食……137
教育施設整備状況……138
広島大学……139
修道短期大学……141
広島女子短期大学……141
広島女学院大学……142
エリザベト音楽短期大学……142

第12編　社会教育

概　要……143
社会教育の現況……143
施　設
指　導
視聴覚教育……143
映写会の実施状況
主要行事一覧表……144
成人教育関係
青少年関係
文化関係
公会堂……146
中央公民館……146
主要行事
定期行事
利用状況
図書館……147
図書館数
蔵書冊数
閲覧者数
重要文化財……149
広島県国宝・史蹟・天然記念物…150
各種団体……151
体　育……151
施　設
主要行事
施設利用状況
第8回国民体育大会……152
選手出場人員
大会の成績

第13編　社会福祉

概　説……153
児童福祉事業……153
保育施設
養護施設
児童相談施設
一時保護施設
精神薄弱、身体不自由児施設
母子寮、母子住宅
母子福祉資金貸付状況
助産施設
乳児施設
里親に委託されている年令別児童
精神養子
生活保護事業……157
保護施設（養老施設）
医療保護施設

行旅病人、死亡者及び困窮者
身体障害者更生事業……158
身体障害者更生施設
援護取扱件数
隣保事業……159
隣保施設
診療事業……160
診療施設
経済保護事業……160
公益質屋
授産施設
遺族援護事業……161
遺族年金、弔慰金の交付状況
引揚者……161
中共地区引揚者
募　金……161
募金成績
共同募金配分状況
原爆障害者治療対策……162
原爆障害者
原爆障害者治療対策協議会
生活保護法による保護状況……164
月別保護人員並びに扶助費
年令別被保護者数
社会福祉協議会……169

第14編　保健衛生

医療機関……171
医療施設
医療施設従事者
経営主体別病院及び病床数
衛生指導教育……172
衛生教育並びに広報活動実施状況
相談訪問治療件数
清掃事業……172
清掃事業設備
清掃作業状況
食品衛生……173
食品業種別営業許可件数
食品衛生監視及び乳肉衛生件数と畜頭数
防疫事業……174
防疫件数
各種予防接種実施状況
狂犬病予防状況
そ族・こん虫駆除薬剤使用状況
結核・性病……175
結核患者届出数及び死亡数
結核予防法による予防状況
病種別性病患者届出数
性病接触者及び調査訪問件数
伝染病……178
法定伝染病患者発生及び死亡数
全国法定伝染病患者発生数
届出伝染病患者発生及び死亡数
市入病院患者収容状況
衛生統計……181
人口動態
死因別死亡数
年令別死亡数
母の年令別出生数
妊娠回数別、自然・人口別死産胎数
夫妻の年令別、初・再婚別数
継続期間別離婚数
妊婦届出件数
人工妊娠中絶及び精神障害者取扱件数
試験検査……187
保健所における各種試験検査件数
社会保険広島市民病院……187
職員数
科目別利用患者数
管掌別利用者状況

第15編　運輸交通

国　鉄……189
国鉄市内駅別乗降人員
時間別乗降客数（国鉄広島駅）
線別乗換客数（〃）
国鉄駅別貨物発着トン数

電　車…… 198
電車乗客数
バ　ス…… 199
市内線バス乗客数及び路線別距離
市外線バス乗客数及び路線別距離
自動車及びその他の車輌数調… 205
通勤・通学者の交通機関別利用状況…… 206

第16編　通　信

概　要…… 207
郵　便…… 207
郵便施設
年別郵便物取扱状況
電　報…… 208
内国電報取扱状況
国際電報取扱状況
電　話…… 209
局別電話加入数及び通話状況
全国電話機数

第17編　港　湾

広島港の概況…… 211
位置及び地形…… 211
泊地水面積…… 211
港湾施設…… 212
船舶泊地
泊地けい船設備
主要諸施設
入港船舶数…… 213
内外航路別入港船舶数
トン数階級別入港船舶数
国籍別外国貿易船入港数
内外貿易…… 215
年別内外貿易別数量及び金額
内国貿易品目別数量及び金額
外国貿易品目別数量及び金額
内国貿易府県別数量及び金額
外国貿易国別数量及び金額
船舶乗降人員…… 219
年別乗降人員
航路別乗降人員

第18編　労　働

労働人口…… 221
産業別従業者
年令別産業別従業者
職業紹介…… 223
月別紹介状況
産業別紹介状況
失業問題…… 225
失業保険給付状況…… 226
一般の部
日雇の部
失業対策事業…… 227
出張所別失業対策事業就労適格者数
月別就労人員及び労力費支出状況
事業別就労人員及び労力費支出状況
年度別失業対策事業費
労働災害産業別災害発生状況… 230
月別災害発生状況
労働組合…… 231
労働組合及び組合員数
産業別、規模別、組合及び組合員数
産業別労働争議件数
労働争議要求別件数
賃　金…… 234
産業別1人当り給与額

第19編　電気・ガス

電　気…… 235
電灯需要
電力需要
ガ　ス…… 236
生産設備
ガス及び副産物生産量
需要戸数
ガス消費状況

全国電灯及びガス需要数

第20編　上水道

沿　革…… 239
機　構…… 240
所在地
職員数
水道施設拡張推移…… 241
施設状況…… 243
取水・ろ過・滅菌・送水施設
調整場・加圧ポンプ所
配水管…… 244
口径別配水管延長及び水管橋
年別配水管の延長
給水状況…… 245
給水普及状況
年別/日平均及び/日最大給水量
口径別水量器設備数
水道復旧並びに補強改良事業… 247
給水工事及び修理件数…… 247
現行水道料金表及び変遷表…… 248

第21編　下水道

概　要…… 251
現在施設の概要…… 251
管きょ
ポンプ場
ポンプ場沈砂池
貯留池
ひ門及び吐口
かんがい所
私設下水道普及状況
改良下水道計画概要及び実施状況…… 254
改良下水道全体計画概要
事業別計画概要
事業別進ちよく状況

第22編　市民生活

市民道徳…… 257
物　価…… 258
広島市消費者物価指数
広島市の主要品目小売物価
家　計…… 262
全世帯平均/ヵ月間の支出金額
勤労世帯の平均収入及び支出金額
主　食…… 7
主食配給日数
主食配給数量
中央卸売市場…… 268
場内営業者数
月別入荷状況
地域別入荷状況
中央魚市場…… 270
魚類入荷及び消費数量
たばこ・塩及び酒…… 270
広島地方局のたばこ製造高
たばこの消費高
塩消費数量
酒類消費数量
文化・娯楽…… 273
娯楽施設
映画演芸場
映画館入場者数
放送局
広島球場

第23編　都市建設

広島平和記念都市建設法…… 275
概　要…… 276
平和記念都市建設の主要構想
平和記念都市建設事業全体計画
平和記念都市建設事業5ヵ年計画
事業の進ちよく状況…… 278
(一) 戦災復興事業…… 278
事業面積表
事業実施状況
1 (復興) 土地区画整理事業
2 街路事業
3 ガス及び鉄軌道事業
4 公共空地整備事業
5 河川水路事業
6 上・下水道

（二）記念施設事業…… 281
（三）排水施設事業…… 282
（四）都市幹線街路事業…… 282
（五）都市公共施設事業…… 283
（六）防火水槽施設事業…… 284
（七）太田川改修事業…… 284
（八）広島港改修事業…… 284

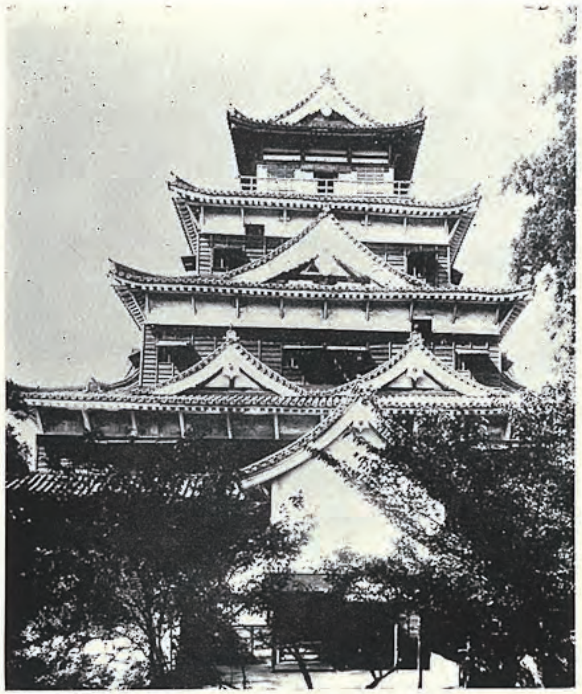
第24編　観　光

概　要…… 285
観光施設…… 287
平和記念館
旧産業奨励館
慰霊碑
原爆資料館
似　島
不動院
東照宮
三滝観音道場
向学品
千田廟と千田男爵銅像
広島城跡
比治山公園
山陽文徳殿
頼家の墓
縮景園
広島遊園地
長寿園
東練兵場無名士女之碑
平和大橋

第25編　附　録

市施設一覧表…… 295
主要官公署…… 296
主要商工業事業所…… 399
主要金融機関…… 301
主要病院…… 303
度量衡換算表…… 305
全国都市一覧表

第1編 沿　革



ありし日の広島城

現在の広島城跡

旧広島大本営

現在の市街中心部

被爆後の師団司令部

昭和20年秋の市街中心部

二葉山から展望した市内夜景

比治山から展望した市内夜景（毎日新聞社提供）

創 始 時 代

中国山脈に源を発する太田川の清流により日夜押し流された土砂は年々そのたい積を増し、川口一帯に多くの三角州を形成した。このデルタの上に建設された都市が今日中国地方第一の都会として、その偉容を誇る広島市である。

往時は、江波・宇品・仁保の群島・比治山の孤島・白神・白島のいそが散見せられ、干潮時にわずかに砂州を現わしていた。その後、これらの三角州が成長して、草木も生育し農耕の人々が定住するに至り、5つの村落ができて五箇荘と称した。五箇は、人民集落の数であり地名ではなかつたが、いつとはなく五箇村落の総称となつた。当時は、各地とも私有の荘園を庄と唱える因襲があり、神領五箇村を五箇庄、また五箇荘と唱えた。この地名は、弘治年間（西暦/555年頃）およそ398年前の文献に初めて現われている。この五箇荘は、「芸陽記」によると白島庄（箱島庄または筥島庄）・広瀬庄・鍛治塚庄・平塚庄・在間庄の5つの村落であつて、その想像図による配置は下図のとおりである。

五箇荘の図

現在の広島市

封 建 時 代

中国の雄毛利輝元は、祖父元就の偉業を継ぎ天正/0年（西暦/582年、およそ37/年前）豊臣秀吉と和し、山陰山陽両道の内9ヵ国（安芸・備後・備中・周防・長門・石見・出雲・伯耆・隠岐）//2万石を領有し、高田郡吉田の郡山城にて統治していたが、その地がへき遠かつ狭あいであるため、居城を便宜の地に築き四通八達の都となさんと念願し、叔父小早川隆景と計り天正/7年（西暦/589年）五箇荘の地を選び、広島山尾長瑞川寺に館し、二宮太郎右衛門尉就長をして京都聚楽第の規制を模倣しこの地に築城せしめた。この時五箇荘を改めて輝元の高祖広元の広と、輝元の重臣福島大和守の島をとり、広島と命名したと称せられる。

天正/9年（西暦/59/年、およそ362年前）城の工事なり、輝元は宗族家臣を随えて華々しく入城した。当時毛利氏は、//2万石の大領主でその家臣ははなはだ多く、士族町の邸宅は軒を連ねて建ち並び区域は広大であつたが、当時築城開市の日なお浅く、町家町の区域ははなはだ狭あいであつた。慶長５年（西暦/600年）毛利輝元は関ヶ原の合戦に際し、推されて西軍の盟主となり活躍したが、惨敗を喫したので防長２州に削封せられ長州萩に去つた。輝元は、築城に着手してからわずかに/2カ年の施政であつたが、この間既に後世の大広島市の基礎を作つたのである。

続いて、福島正則が安芸・備後両国の藩主として入城したが、広島城修築の責を問われ在城/8年９ヵ月、政法ようやく行われんとする元和５年（西暦/6/9年）信濃に移封せられた。

同年紀州から浅野長晟が代つて入城した。長晟は治世の大道を寛仁にとり、文教を起し、商工を鼓舞し、土民の心を団結させることに努めた。じ来/2代252年の長期間にわたつて、代々の藩主その業を継ぎ、一度の兵火にもかからずこう水・大火等天災地変の外はさしたることもなく、平穏に明治４年の廃藩置県に至つた。此の間の歴代藩主は、浅野長晟―光晟―綱晟―綱長―吉長―宗恒―重晟―斉賢―斎粛―慶熾―長訓―長勲である。

明治・大正時代

明治２年（西暦/869年）６月藩籍奉還、浅野長勲は広島藩知事に任ぜられ、明治４年７月廃藩置県の結果、それまでの城下町広島は広島県第一大区となり、続いて明治//年//月郡区制実施により広島区と称せられることとなつた。明治/3年４月、千田貞暁広島県令（知事）として本県に赴任するや宇品港修築計画を樹立し、同/7年９月５日着工、５ヵ年の歳月を費しようやく今日の宇品港が完成した。明治22年（西暦/889年）４月/日、我が国の市制施行と同時に最初に実現した市の一つとして広島市が誕生した。ついで明治27年６月/0日（日清戦役ぼつ発の前日）山陽鉄道が本市まで開通し、同年８月20日広島と宇品間の仮設軍用鉄道が開通して我が国海陸交通運輸の要衝となつた。日清戦役ぼつ発するや同年９月/5日大本営が旧広島城に設置され、/0月には臨時帝国議会が本市で開会された。続いて37・８年の日露戦役は、日清戦役に倍する商工業の繁栄をもたらした。この間明治37年９月/5、安芸郡仁保島村の内字元宇品を本市に編入した。ついで大正元年/2月23日市内電車が開通したことは本市の発展を一層促し、大正年間は呉市の軍港と相まつて名実共に中国地方の政治・経済・産業・文教・観光の中心都市として繁華を極めた。

昭和時代

昭和４年４月/日懸案の隣接７ヵ町村（牛田村・仁保島村・矢賀村・草津町・古田村・己斐町・三篠町）を編入して、面積・人口共に著しく増加した。すなわち、面積においては編入前より42.580平方粁拡張し、人口は約６万人増加したので一躍27万人に上昇した。明治22年市制施行当時は、戸数約２万３千戸、人口８万４千人であつた本市が町村編入・日華事変・太平洋戦争へと進むにつれていよいよ膨張し、昭和/7年の最盛時には人口約42万人を有する大都市となつた。

戦災とその後

太平洋戦争の末期昭和20年８月６日、突如として本市中心部（細工町）に投下された世界最初の原子爆弾は、一瞬にして歴史ある「広島」を壊滅的に破砕し、その犠牲者は20数万人と称せられ、有史以来最大の悲惨事を現出した。

被爆時の状況

被爆当日は快晴であつた。夜来の空襲警報も解除された午前８時/5分、市の中央（細工町）高度/,500～/,600米で「マグネシウム」爆発様の青白いせん光を発し、ボンと軽く爆発した後爆弾は赤く太い火柱を引いて６～７秒間急速に落下、約570米上空で大さく裂をした。赤青色あるいは茶かつ色を帯びた火炎を四散し、ごう音と猛烈な熱光線を放射し、さく裂時爆心地に小さな太陽とも言うべき直径約/50米、炎心華氏約２万度（推定）という強烈な熱度の赤い火球が生じた。更に、風圧の波は時速500～/,000マイルの大風を起した。爆弾落下後さく裂までの時間的差異は、約/00秒、その際の輻射熱感の持続時間は２秒前後と考えられる。爆発後５分～/0分後に、市の北部に大しゆう雨が襲来した。

被爆当時75年間は、草木も生育しないだろうと言われたこの原子さばくに、生き残つた市民は雄々しくも建設のつちを持つて立ち上り、終戦の礎石となつた人々の霊に報いるため世界平和のメッカとなる都市建設を堅く決意し、再建へとまい進したのである。しかし戦災による被害はあまりにも大きく、到底自力の財政のみでは復興はおぼつかないので、昭和2/年夏以来国の特別援助方を国会を通じて強力に運動した。

さいわい市民の熱意はついに要路を動かし、画期的な建設法案は昭和24年５月/0日衆議院、//日参議院においてそれぞれ満場一致で可決された。続いて同法案は７月７日の住民賛否投票において、圧倒的多数の賛成を得てここにわが国初の特別都市法「広島平和記念都市建設法」が誕生し、８月６日（平和祭式典の日）をもつて公布施行せられた。

その後本市は、再建の槌音高らかに街路の整備・商工業の振興・文教施設の再建・港湾の修築等々新生都市としての復興は目ざましく、昭和28年人口33万余人、世帯８万５千有余を数え、世界の模範的都市・恒久平和都市の完成に懸命の努力を続けている。

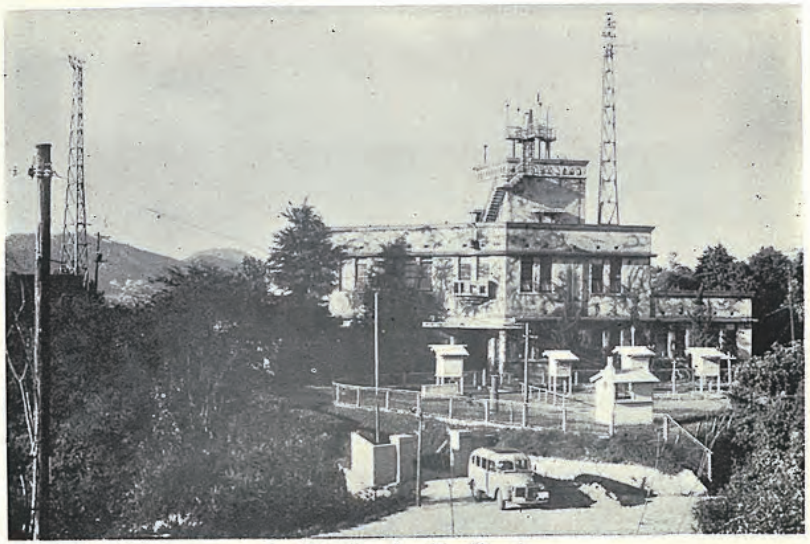
主要年表

年代	西暦	主要事項
天文年間	/550年頃	五箇荘と称せられた５カ村からなる村落があつた。
天正/7年	/589年	毛利輝元吉田の郡山城からこの地に居城を移し、五箇荘を改めて広島と称した。
慶長５年	/600年	毛利輝元防長２州に削封長州萩に移り、福島正則が尾張の清州城から広島に入城した。
元和５年	/6/9年	福島正則、信濃の高井に移封せられ、紀州和歌山から浅野長晟が広島に入城した。

		広島かさの元祖……かさ屋庄右衛門、長晟に従つて銀山町にて和がさの製造を業とした。
		広島銅虫の元祖……銅虫清氏紀州より来り、薄銅をもつて諸器具を製造した。
承応2年8月	1653年	大こう水あり。広島のり災特にはなはだしく、世に承応のこう水と称した。
明暦3年2月	1657年	り災7ヵ町にわたる大火により市街の中心部を焼失した。
寛文3年	1663年	今の皆実町、東雲町267町余の堤立を行う。宇品の堤立以前の最大耕地である。
延宝5年	1677年	広島城下の戸口を調査した。町数68、戸数3,652戸、人口31,205人（内訳男16,501人、女14,704人）、寺11、僧りよ及び家族1,855人、その他新開部戸数737戸、人口6,201人（男3,029人、女3,172人）。
宝永5年3月	1708年	広島かきの発展……草津かきを大阪にて販売し広島かきとして世にけん伝された。古記によれば、延宝年間（今から約280年前）はまぐり養殖のため、竹枝を立ててかき苗の附着により人工養殖を案じたと言う。
享保17年5月	1732年	秋中国・四国・九州にウンカ大発生し大飢きん起る。例年の3分の1以下の収穫であつた。
宝暦8年4月	1758年	宝暦の大火と称せられ城下町時代を通じて最大の火災であつた。市の中央及び東部を3日間にわたり燃え続け、ほとんど焦土と化した。
文化2年	1805年	頼山陽、現在の山陽記念館内仮居にて幽居中日本外史を著述した。
嘉永3年6月	1850年	寛政8年以来の未ぞ有の大こう水であつた。28日間連日陰雨して後大雨となる。城下の堤防決壊22ヵ所西部は最も被害大であつた。
明治2年6月	1869年	藩籍奉還、旧藩主を藩知事に任じ都市行政を市政局幹事が管掌した。
〃 12月	〃	市政局に市尹を置き藩庁に直属して市全般の事務を総括した。
明治4年7月	1871年	廃藩置県、広島県第一大区となり、区長及び副区長が本市の行政を施行した。
明治11年11月	1878年	郡区制が施行され、広島県第一大区を広島区と改め、区長以下吏員を置き、県庁に直属して区制を執行した。
明治13年4月	1880年	千田貞暁県令として本県に着任、宇品の築港計画を決意した。
明治17年9月	1884年	宇品港築港工事に着手した。
明治22年4月	1889年	市制が施行され、ここに広島市が誕生した。

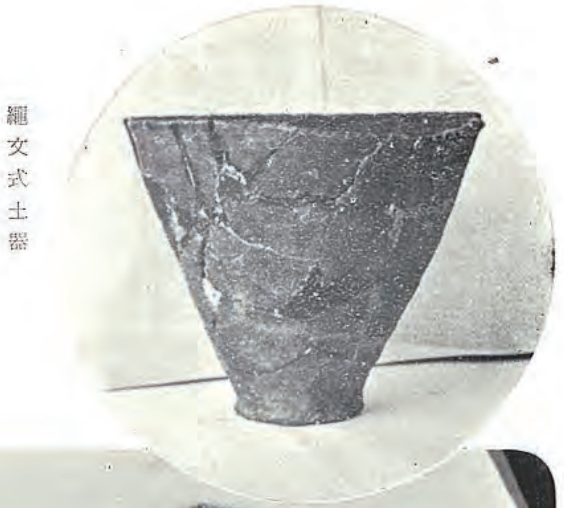
明治22年11月	1889年	宇品築港工事が5ヶ年の歳月を費して完成した。
明治27年6月10日	1894年	山陽鉄道が広島市まで開通した。（日清戦役開戦の前日）
〃 9月15日	〃	日清戦役のため大本営が広島城に設置された。
明治37年9月15日	1904年	安芸郡仁保島村の内字元宇品を広島市に編入した。
大正元年12月8日	1912年	市内電車が初めて開通した。
昭和4年4月1日	1929年	隣接7ヵ町村（安芸郡牛田村・仁保島村・矢賀村・佐伯郡草津町・古田村・已斐町・安佐郡三篠町）を編入した。
昭和16年末現在	1941年	人口41万3千余人（戸数10万余戸）を有する都市となる。
昭和20年8月6日	1945年	原子爆弾により全市ほとんど壊滅した。
昭和22年4月17日	1947年	地方自治法の制定に基き、初代公選市長の就任をみた。
昭和24年8月6日	1949年	広島平和記念都市建設法が公布施行された。
昭和26年10月29日～30日	1951年	第6回国民体育大会が本市を中心として開催された。
昭和27年11月3日～6日	1952年	世界連邦アジア会議が本市において開催された。

第2編 風　　土

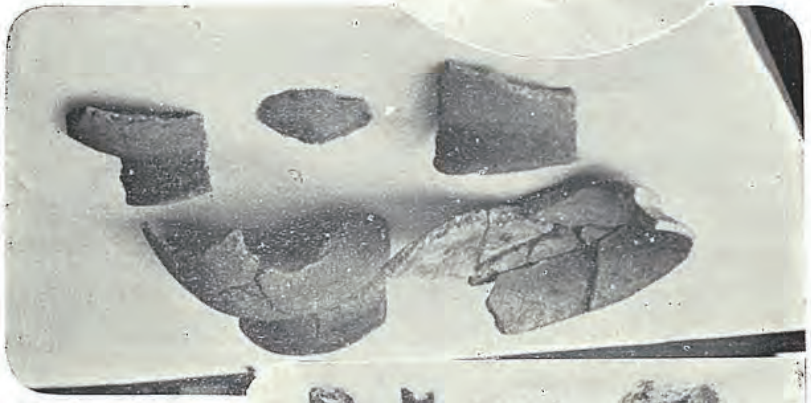


広島地方気象台

気象台の活動



縄文式土器



彌生式土器

縄文式土器

位　　置

広島市は本州の西部、広島県の南西部に位し、大部分を安芸平野に占め一部は瀬戸内海に点在する島々から成つている。陸の境界は東及び北東は安芸郡に、西は佐伯郡、北西は安佐郡にそれぞれ接し、南一帯は広島湾（瀬戸内海）に臨んでいる。

位　置

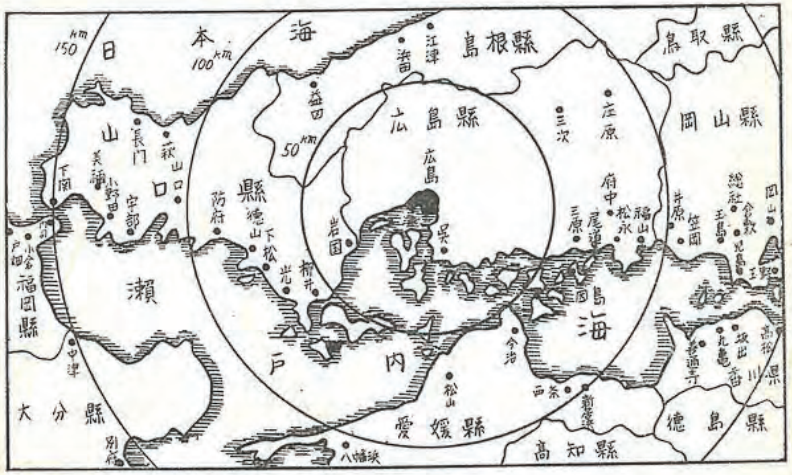
方　位	東　経	方　位	北　緯
極　東	132°31′20″	極　北	34°25′43″
極　西	132°22′54″	極　南	34°17′37″
		南	34°20′10″

最長距離

方　位	粁　数	摘　要
東　西	12.650粁	
南　北	14.925	似島南端
南　北	10.225	宇品島南端

備考　1．極南は似島南端
　　2．南は宇品島南端

位　置　図



地　　形

北西部は水系（太田川）に沿いやや開けているが、東・西・北東部は山地丘陵に囲まれており、南部一面は広島湾（瀬戸内海）に臨んでいるので、市内は北から南にかけて傾斜し周辺部を除けばおおむね平坦である。

河川═北部中国山脈にその源を発する太田川は、市の北端において猿猴川・京橋川・元安川・本川・天満川・福島川・山手川の７つの派川となり市内を貫流し広島湾に注いでいる。各河川はいづれも清澄で水量も豊かであり、その美しさは全国都市中、極めてまれなものである。

山地・丘陵＝市内東部には比治山（70米）・仁保山（通称黄金山2/2米）、西南部に江波山（35米）があり、また周囲には尾長山（85米）・二葉山（/34米）・茶臼山（202米）・新庄山（224米）・三滝山（237米）の各山々が連らなつている。

島部＝瀬戸内海には無数の島々が点在し、その中の広島湾にも数多くの島々があり本市に属するものとして似島・金輪島・宇品島（通称向宇品）・弁天島・峠島等がある。また市に近接して厳島（安芸の宮島）・江田島（旧海軍兵学校所在地）・能美島等の島々が指呼の間に点在している。

地　　質

地質は太田川河口の円砂方州より成つて地質上沖積層に属し、比治山・江波山等の諸丘ふに露出している花こう岩の外は、一般に柔軟な泥土及び砂れきより成つている。

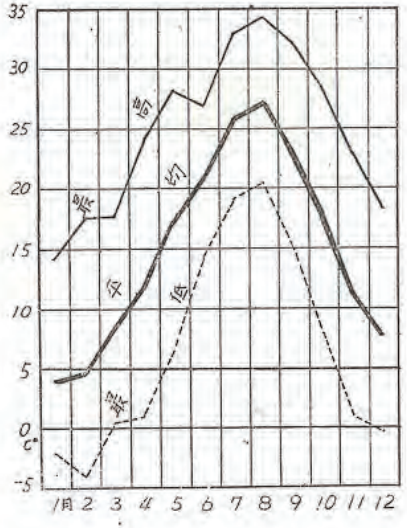
気　　象

東・西・北の三方は中国山脈の山々を控え、南は瀬戸内海に面しているため、大陸性気候の影響を受けることはまれで、気候は四季を通じて全般的に温暖であり、風雨も調整され気象すこぶる温和である。また中国山脈が死火山であり、海底も安定しているので地震は極めて少ない。

昭和28年中の気象概況を要約すると、この年は概して北方高気圧の勢力が優勢で、北高南低の気圧配置が多く寒暖の差が非常に大きかつた。また6月から9月にかけては降水量が異常に多く気候不順であつた。

年間の平均気温は14.9°C（最高34.1°C、最低−4.1°C）で昨年よりわずかに高めになつており、降水量は6月の570.5mmを最高に、総量2,092mmも降り前年の24%増である。湿度は75%で前年並また平均風速は3.4mであつた。

月別気温（昭和28年）



気象台の位置

北緯　34°22′
東経　132°26′
海抜　30.4m

気象概況

（広島地方気象台調）

区分 / 年月別	気圧平均(mb)	気温(°C) 平均	気温(°C) 最高	気温(°C) 最低	湿度平均(%)	降水(mm) 24時間最大	降水(mm) 総量	風(m/s) 最多風向	風(m/s) 瞬間最大風速	風(m/s) 瞬間最大風向	風(m/s) 平均	日照時間	日照率(%)	天気日数 快晴	天気日数 曇天	天気日数 降水	天気日数 雪	天気日数 雷電	天気日数 結氷	天気日数 暴風	天気日数 霧	天気日数 霜	天気日数 不照感	地震日数 有感	地震日数 無感
昭和5年	1,016.7	15.3	36.6	-2.6	74	183.5	1,290.6	N	—	—	1.4	2,341.2	53	48	126	128	20	21	6	—	1472	8	33	14	59
10	1,015.4	14.4	33.5	-3.4	76	99.6	1,766.0	〃	—	—	2.5	2,404.2	54	53	130	136	23	14	8	23	1841	8	40	3	55
15	1,015.7	14.2	32.1	-6.9	76	109.6	1,434.8	NNE	—	—	2.8	2,513.1	57	77	127	128	30	20	4	3	1240	4	27	6	124
20	1,015.8	14.0	33.8	-4.6	74	197.1	1,833.5	〃	30.2	N	3.1	2,277.9	51	51	139	139	42	16	5	8	2138	3	45	2	36
25	1,014.9	14.7	33.2	-4.7	76	139.6	1,693.5	〃	34.8	SE	3.6	2,278.6	51	52	172	156	11	18	3	0	2230	4	42	6	92
26	1,016.1	14.4	34.6	-3.9	75	159.1	1,753.2	〃	49.0	S	3.6	2,326.3	53	53	139	134	11	11	3	0	2828	3	44	6	134
27	1,016.0	14.7	34.1	-4.5	75	98.6	1,675.8	〃	22.5	WNW	3.6	2,218.6	50	44	158	145	11	20	2	3	928	2	50	4	216
28	1,016.4	14.9	34.1	-4.1	75	122.4	2,091.7	〃	26.2	N	3.4	2,137.9	48	50	178	162	10	23	5	4	3021	4	46	13	247
1月	1,020.8	3.9	14.1	-2.2	68	19.6	44.0	NNW	23.2	W	3.8	144.4	46	2	15	12	6	12	10	9	1	4	3	1	12
2	1,024.4	4.6	17.5	-4.1	71	18.1	87.9	NNW	17.7	NW	3.3	140.1	46	1	17	12	3	10	5	3	3	2	4	1	14
3	1,017.8	8.4	17.7	0.3	71	47.5	124.2	〃	19.5	NNW	3.9	176.3	48	5	15	13	1	1	10	3	1	2	2	1	12
4	1,017.7	11.7	24.0	0.9	64	122.4	168.7	〃	21.8	〃	3.9	242.9	62	11	11	9	1	1	4	1	1	2	3	1	17
5	1,012.9	17.2	28.1	6.4	73	57.7	241.1	〃	18.2	〃	3.2	203.3	47	6	18	14	1	1	4	2	1	7	2	1	15
6	1,007.8	20.8	26.8	14.0	87	108.6	570.5	S	23.0	SSE	2.6	126.3	29	—	21	19	1	3	1	4	9	1	7	1	23
7	1,009.1	25.7	32.8	18.9	84	51.5	256.3	〃	15.0	SE	2.8	173.5	40	3	21	19	1	3	1	5	1	1	5	2	22
8	1,009.8	27.0	34.1	20.2	79	31.2	84.1	NNE	11.3	S	2.9	223.9	54	7	16	11	1	2	1	1	1	1	2	1	21
9	1,012.7	23.0	31.9	14.9	81	71.5	324.4	〃	26.2	N	3.2	183.7	50	4	15	17	1	3	1	1	1	1	5	1	25
10	1,017.8	17.7	28.2	7.8	75	31.3	75.5	〃	13.3	NNW	3.9	204.3	58	8	10	9	1	1	1	2	2	1	1	1	19
11	1,022.0	11.1	22.6	0.8	74	37.3	66.2	〃	21.1	NW	4.0	174.0	56	7	9	8	1	1	7	2	2	2	2	1	33
12	1,024.1	8.1	18.3	-0.5	74	38.3	48.8	〃	23.2	W	3.7	145.2	48	1	10	9	1	1	6	3	4	1	5	2	34

備考　地震欄中昭和20年は6月までの観測

気象最高最低極値

気象	極値	起時
最高気温	38.1°C	大正13年8月5日
最低〃	−8.6°C	大正6年2月28日
最大降水量	日量339.6mm 時量 79.2mm	大正15年9月11日
〃風速	(10分間平均)方向南33·9m/s	昭和26年10月15日
最低湿度	(日平均)38.6%	明治45年4月16日

備考　広島地方気象台創設以来の記録による。

降霜·雪·結氷の時期

年次別	降霜 初霜	降霜 終霜	降雪 初雪	降雪 終雪	結氷 初氷	結氷 終氷
	前年月日	月日	前年月日	月日	前年月日	月日
昭和5年	11.14	4. 3	11.12	3.10	11.29	4. 9
10	12. 6	3.22	12.10	3. 6	12.11	3.31
15	11.10	4. 8	12.18	3.29	12.13	3.13
20	12. 3	4. 8	12.11	3.18	12. 3	3.22
21	11.16	4. 6	12. 9	3.27	12.10	3.23
22	11.19	3.26	12.11	3. 1	11.28	3.25
23	11.29	4. 2	11.28	3.19	1. 5	3.25
24	11.19	3.17	12. 6	3.13	12. 9	3.15
25	11.15	3.24	11.14	3. 4	11.15	3. 5
26	11.29	3.21	11.27	3.24	12.15	3. 2
27	12. 7	3.30	12. 3	2.22	12.27	2.23
累年平均	11.18	4. 6	12. 9	3.17	12. 1	3.27
最早最晩	10.25	5. 5	11. 8	4.12	11. 9	4.23

備考　初氷の昭和23年は当該所属年の月日を示す。

測候所別気象概況（昭和27年）

測候所	測候所の位置 北緯	東経	高さ	天気日数 快晴	曇天	降水	暴風	平均気圧	平均気温	平均湿度	年間総降水量	年間日照時数
	° ′	° ′	m	日	日	日	日					
稚内	45 25	141 41	1.8	30	218	217	126	1,012.6	5.7	76	1,121.4	1,677.9
札幌	43 03	141 20	16.9	37	148	191	49	1,013.5	7.1	75	963.0	1,982.9
青森	40 51	140 42	2.7	25	220	212	95	1,014.7	8.9	79	1,255.0	1,749.4
仙台	36 16	140 54	38.4	36	173	184	36	1,014.8	11.2	76	1,098.3	1,945.8
水戸	36 23	140 28	30.0	62	157	151	60	1,014.6	12.9	80	1,619.0	2,060.2
東京	35 41	139 46	4.1	56	177	163	79	1,014.5	14.6	74	1,640.6	1,837.4
新潟	37 55	139 03	2.3	27	255	235	104	1,015.3	12.5	79	2,043.4	1,698.0
福井	36 03	136 14	9.2	31	226	242	33	1,015.5	13.5	82	2,597.4	1,622.9
岐阜	35 24	136 46	12.8	56	141	152	47	1,015.2	14.7	75	2,062.6	2,103.8
名古屋	35 10	135 58	51.7	59	144	150	84	1,014.9	14.5	74	1,769.1	2,245.1
大阪	34 39	135 32	6.7	43	147	160	30	1,015.6	15.5	69	1,735.2	1,940.3
和歌山	34 14	135 10	13.6	46	165	157	54	1,015.5	15.7	75	2,009.4	2,070.5
松江	35 27	133 04	17.4	31	214	199	83	1,015.8	14.1	80	1,947.8	1,479.5
広島	**34 22**	**132 26**	**29.1**	**44**	**158**	**149**	**47**	**1,016.0**	**14.7**	**75**	**1,675.8**	**2,218.6**
高知	33 34	133 33	1.2	67	144	163	22	1,015.0	16.1	78	2,704.3	2,103.8
福岡	33 35	130 23	2.5	41	190	170	84	1,015.8	15.2	79	1,632.5	1,917.3
鹿児島	31 34	130 33	4.2	54	171	177	94	1,015.2	17.1	78	2,955.6	2,201.5

備考　測候所の位置の内高さは露場海面上。

面　　積

総面積73.750平方粁

明治22年４月市制施行当時26,954平方粁であつた本市面積は、明治37年に元宇品（0.346平方粁）、昭和４年に隣接７ヵ町村（42.580平方粁）の合併、更に戦後数回にわたる公有水面の埋立地（3.870平方粁）編入により、現在は市制施行当初の2.7倍にあたる73.750平方粁である。

編入市域

（調査課調）

編入年月日	編入区域	編入面積	編入後の面積
		平方粁	平方粁
明治22. 4. 1	市制施行区域	—	26.954
〃 37.10.16	仁保島村字宇品島（元宇品）	0.346	27.300
昭和 4. 4. 1	己斐町、古田村、草津町、牛田村、矢賀村、仁保村、三篠町	42.580	69.880
〃 24. 9.20	吉島町地先河岸埋立地吉島本町に編入	0.020	69.900
〃 25. 1.27	吉島町地先公有水面埋立地吉島本町に編入	1.010	70.910
〃	江波町地先公有水面埋立地江波町に編入	1.163	72.073
〃	昭和新開地先公有水面埋立地南観音町に編入	1.234	73.307
〃 25. 8.11	吉島本町２丁目地先海面埋立地吉島本町に編入	0.026	73.333
〃 25. 9. 5	江波町字宮の下地先公有水面埋立地江波町に編入	0.008	73.341
〃 26. 6.29	宇品町地先公有水面埋立地宇品町に編入	0.397	73.738
〃 26. 8.28	草津南町地先公有水面埋立地草津南町に編入	0.007	73.745
〃 26.10. 9	南千田町地先海面埋立地南千田町に編入	0.005	73.750

備考　７ヵ町村編入後から戦災までに本市に編入された面積は不明である。

地種別民有地

総数	免租地	有租地						
		田	畑	宅地	山林	原野	池沼	雑種地
坪	坪	反	反	坪	反	反	反	反
9,556,472	771,584	3,920	6,203	3,712,728	6,436	90	12	246

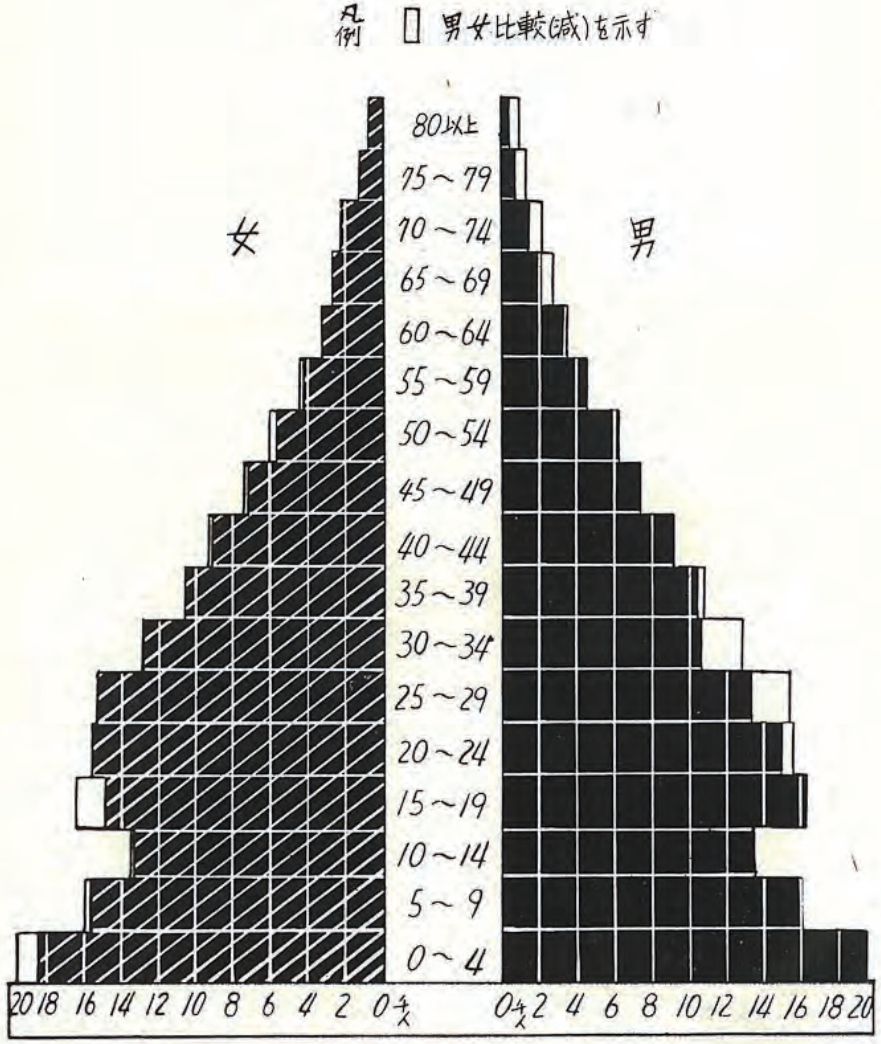
第３編　人　　口

流入する風間人口

胡　　祭　　の　　夜

年令別（5才別）人口

（昭.27.7.1.住民登録による）



概　要

昭和28年末現在、広島市の人口（食糧配給台帳による）は、330,368人（世帯数85,092）を数え、これはおよそ20年前の昭和10・11年頃にほぼ等しいものであつて、また市制施行当時（明治22年今から64年前）の約4倍である。この間昭和17年には人口42万人を有し最高を示した。

本年1年間の人口動態を眺めると1日平均出生17.3人、死亡6.3人、転入106.3人、転出80.1人であつて差引き自然増加11.0人、社会増加26.2人を合わせて日々約40人の増加となつている。

本市は、原子爆弾による被害が極めて大きかつたために、戦後の人口増加は異常なものがあるので、戦前と戦後の1年間における平均増加人口を比較してみると次の通りはなはだしい差異を示している。

すなわち戦前（昭和初年～太平洋戦争前）1年間の平均増加数は、1万3千9百人であるのに対し、戦後8年間の平均増加数は、前半は1年平均4万4千8百人、後半は1万4千9百人となつており、最近は戦前の平均増加数とほぼ同数となつて来ている。

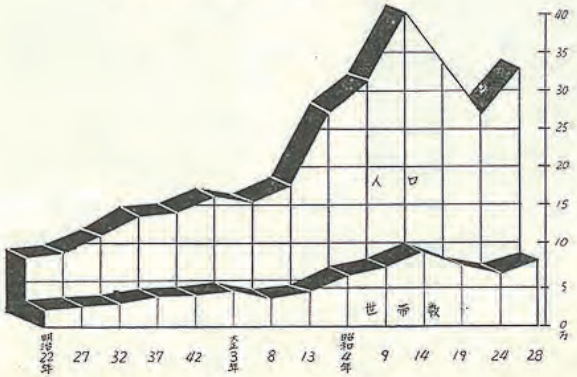
市制施行後の人口推移

（調査課調）

年次別	世帯	人口 総数	男	女	女100人に付き男	1世帯当り人員	摘要
明治22年	23,824	83,387	41,390	41,997	98.6	3.5	戸籍台帳
27	25,866	86,871	43,440	43,431	100.0	3.4	〃
32	31,145	110,760	56,616	54,144	104.6	3.6	〃
37	40,808	136,012	70,396	65,616	107.3	3.3	〃　元宇品編入
42	42,478	141,080	72,229	68,851	104.9	3.3	〃
大正3年	47,390	163,035	84,566	78,469	107.8	3.4	〃
8	39,524	155,418	77,036	78,382	98.3	3.9	〃
13	45,399	177,220	89,332	87,888	101.6	3.9	〃
昭和1年	51,627	205,785	103,894	101,891	102.0	4.0	〃
2	52,748	211,678	107,075	104,603	102.4	4.0	〃
3	53,274	224,853	118,305	106,548	111.0	4.2	〃
4	66,860	273,338	137,390	135,948	101.1	4.1	〃　7ヵ町村編入
5	67,575	277,095	139,668	137,427	101.6	4.1	国勢調査
6	70,468	288,978	145,219	143,759	101.0	4.0	戸籍台帳
7	73,607	294,100	149,308	144,792	103.1	4.0	〃
8	76,295	305,165	154,236	150,929	102.2	4.0	〃

昭和9年	78,870	313,945	158,195	155,750	101.6	4.0	戸籍台帳
10	81,629	327,472	165,020	162,452	101.6	4.0	国勢調査
11	84,328	341,898	172,034	169,864	101.3	4.1	戸籍台帳
12	88,798	364,435	184,085	180,350	102.1	4.1	〃
13	94,270	384,906	182,593	202,313	90.3	4.1	〃
14	98,352	403,952	204,970	198,982	103.0	4.1	〃
15	76,491	343,968	171,434	172,534	99.4	4.5	国勢調査
16	101,656	413,889	208,416	205,473	101.4	4.1	戸籍台帳
17	102,110	419,182	211,062	208,120	101.4	4.1	〃
18	78,838	364,000	182,000	182,000	100.0	4.6	食糧配給台帳
19	80,115	336,483	159,909	176,574	90.6	4.2	人口調査（2月）
20	33,272	136,518	68,557	67,961	100.9	4.1	〃　（11月）
21	41,875	171,204	87,505	83,699	104.5	4.1	〃　（4月）
22	57,026	222,434	113,436	108,998	104.1	3.9	臨時国勢調査
23	61,361	246,134	125,608	120,526	104.2	4.0	常住人口調査（8月）
24	67,549	270,863	135,833	135,030	100.6	4.0	食糧配給台帳
25	70,267	285,712	142,212	143,500	99.1	4.1	国勢調査
26	76,531	302,372	151,044	151,328	99.8	4.0	食糧配給台帳
27	80,423	315,838	157,640	158,198	99.6	3.9	〃
28	85,092	330,368	165,121	165,247	99.9	3.9	〃

市制施行後の人口及び世帯推移



月別・出張所別人口（昭和28年）

（総務課調）

出張所	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総数	317,185	318,210	318,653	321,529	323,573	324,857	325,732	326,360	327,363	328,069	329,075	330,368
牛田	9,582	9,614	9,634	9,742	9,841	9,903	9,913	9,910	9,965	9,999	10,045	10,091
尾長	14,314	14,356	14,353	14,479	14,685	14,714	14,767	14,787	14,782	14,829	14,897	15,001
青崎	9,935	9,952	9,968	10,011	10,105	10,106	10,149	10,141	10,133	10,133	10,135	10,136
段原	21,725	21,682	21,698	21,666	21,732	21,749	21,758	21,781	21,727	21,665	21,709	21,645
比治山	17,765	17,824	17,884	17,947	17,952	18,040	18,063	18,117	18,129	18,199	18,303	18,371
仁保	5,828	5,824	5,843	5,846	5,868	5,878	5,866	5,864	5,872	5,883	5,866	5,890
大河	11,789	11,841	11,574	11,853	11,978	11,942	12,000	12,020	11,935	12,002	11,902	11,951
皆実	17,453	17,487	17,486	17,803	17,885	17,861	17,796	17,841	18,045	18,211	18,299	18,360
宇品	25,122	25,200	25,015	25,500	25,700	25,795	25,815	25,848	25,933	25,984	26,122	26,240
似島	2,172	2,173	2,161	2,165	2,169	2,165	2,173	2,178	2,188	2,202	2,210	2,217
基町	30,176	30,273	30,446	30,756	30,822	30,876	31,208	31,171	31,342	31,383	31,450	31,624
本庁直轄	43,312	43,747	44,125	44,583	44,951	45,559	45,582	45,809	46,216	46,413	46,657	47,168
十日市	22,077	22,234	22,320	22,544	22,684	22,757	22,847	22,951	23,094	23,052	23,100	23,243
舟入	15,255	15,320	15,443	15,779	15,926	16,050	16,148	16,176	16,230	16,286	16,424	16,488
観音	19,835	19,936	19,968	20,129	20,326	20,441	20,529	20,545	20,566	20,628	20,660	20,668
己斐	19,487	19,487	19,489	19,495	19,581	19,618	19,680	19,700	19,678	19,729	19,731	19,761
三篠	17,647	17,634	17,618	17,628	17,676	17,680	17,652	17,703	17,760	17,722	17,731	17,722
草津	13,711	13,686	13,628	13,603	13,692	13,723	13,786	13,818	13,768	13,749	13,774	13,792

備考　1．食糧配給台帳による。
　　2．毎月末人口である。

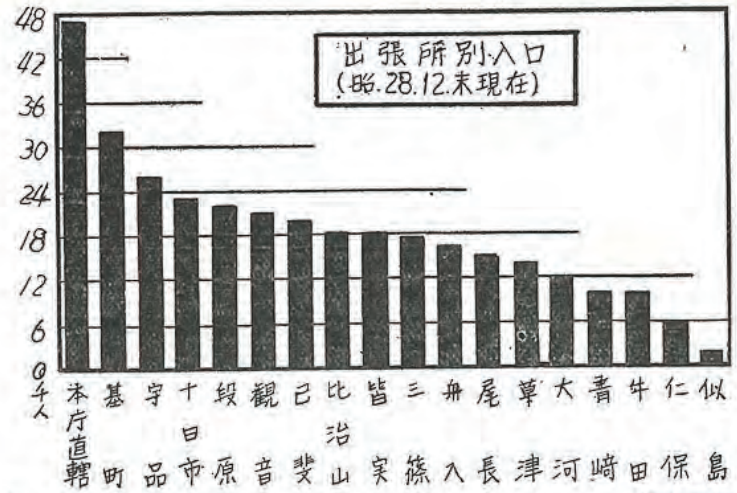
町別人口

町別	世帯数	人口 総数	男	女
総数	85,092	330,368	165,121	165,247
牛田出張所	2,578	10,091	4,887	5,204
牛田町	2,578	10,091	4,887	5,204
尾長出張所	3,701	15,001	7,383	7,618
若草町	602	2,242	1,070	1,172
愛宕町	310	1,171	575	596
東雲町	375	1,482	734	748
曙町	116	414	192	222
尾長町	1,749	7,162	3,503	3,659
矢賀町	549	2,530	1,309	1,221
青崎出張所	2,493	10,136	5,064	5,072
青崎東町	603	2,380	1,196	1,184
青崎越町	385	1,686	868	818
畑本町	500	1,888	961	927
中町	241	989	461	528
大原町	197	745	354	391
小川町	273	1,085	511	574
段原出張所	294	1,363	713	650
段原台町	5,829	27,645	10,622	11,023
的場町	252	837	391	446
京橋町	228	896	458	438
段原未広町	214	822	409	413
段原新町の一部	451	1,765	873	892
段原中町の一部	399	1,434	667	767
段原東浦町の一部	119	434	231	203
段原町	278	1,016	484	532
	114	405	179	226
大畑町	460	1,603	760	843
段原金屋町	191	687	328	359
松川町	99	368	175	193
桐木町	127	547	275	272
稲荷町	119	451	225	226
比治山町	57	228	116	112
仁手町	126	453	216	237
比治山公園	4	14	9	5
荒神町	507	1,987	944	1,043
西蟹屋町	883	3,415	1,764	1,651
松原町	385	1,422	724	698
猿猴橋町	186	801	386	415
大須賀町	630	2,060	1,008	1,052
比治山出張所	4,583	18,371	9,410	8,961
大洲町	923	3,612	1,855	1,757
南蟹屋町	528	2,326	1,230	1,096
段原日ノ出町	513	2,103	1,062	1,041
段原山崎町	285	1,083	541	542
段原新町の一部	275	1,141	578	563
段原中町の一部	557	2,176	1,095	1,081
段原東浦町の一部	147	568	291	277
南段原町	527	1,984	987	997
東雲町の一部	828	3,378	1,771	1,607
仁保出張所	1,529	5,890	2,865	3,025
仁保本町	549	2,029	989	1,040
翠町	503	1,916	924	992
仁保沖町	421	1,725	841	884

町別	世帯数	人口 総数	男	女
大河東町の一部	56	220	111	109
大河出張所	3,014	11,951	6,043	5,908
大河宇那町	352	1,308	626	682
大河丹那町	378	1,458	690	768
大河南町	545	2,055	1,001	1,054
大河北町	371	1,405	690	715
大旭町	522	1,981	969	1,012
出汐町	482	1,854	910	944
雲雀町	364	1,890	1,157	733
皆実出張所	4,542	18,360	9,531	8,829
比治山本町一丁目	412	1,716	868	848
皆実町一丁目	676	2,876	1,489	1,387
皆実町二丁目	1,140	4,712	2,384	2,328
皆実町三丁目	1,336	5,312	2,861	2,451
翠町	978	3,744	1,929	1,815
宇品出張所	6,880	26,240	13,188	13,052
宇品町	6,451	24,640	12,414	12,226
宇品東町	376	1,388	670	718
宇品保町	14	38	22	16
上水金輪島	39	174	82	92
似島出張所	502	2,217	1,006	1,211
似島町	502	2,217	1,006	1,211
基町出張所	8,208	37,624	19,563	16,061
東白島町	367	1,539	813	726
西白島町	286	1,125	591	534
白島中町	233	937	440	497
白島東町	146	600	302	298
白島西軒町	249	936	447	489
白島九中町	208	922	416	506
白島北町	68	256	115	141
基町	3,293	12,001	5,918	6,083
上基二葉の里町	701	2,656	1,348	1,308
上流川町	218	926	466	460
上柳町	306	1,150	624	526
下柳町	290	1,080	490	590
下職鉄砲町	303	1,183	554	629
八丁堀	417	1,531	813	718
東胡町	208	783	390	393
東胡町	70	283	190	93
堀川町	86	438	145	293
銀山町	140	680	322	358
斜屋町	88	379	196	183
山日本町	47	225	106	119
橋本町	53	221	120	101
石見屋町	87	337	163	174
新天地	76	293	139	154
猫屋町	152	634	282	352
本廠直轄	116	509	173	336
南竹屋町	12,657	47,168	23,811	23,357
平野町	404	1,465	757	708
東千田町	419	1,489	766	723
千田町一丁目	208	1,128	749	379
千田町二丁目	384	1,765	741	1,024
千田町三丁目	503	1,827	998	829
南千田町	540	2,272	1,258	1,014
平塚町	431	1,715	922	793
薬研堀町	864	2,727	1,350	1,377
下流川町	257	845	290	555
川中町	223	755	328	427
竹屋町	348	1,165	547	618
鶴見町	167	577	281	296
和町	94	327	173	154
見町	124	416	197	219
宝町	376	1,355	651	704
昭和町	479	1,786	917	869
富士見町	388	1,382	693	689

町別	世帯数	人口 総数	男	女
中島本町	242	764	352	412
天神町	73	216	107	109
材木町	37	127	46	81
元挽柳町	16	61	31	30
	7	22	11	11
中島新町	46	170	87	83
水主町	532	2,105	1,083	1,022
吉羽衣町	410	1,542	753	789
吉島本町	1,225	4,684	2,509	2,175
吉島町	287	992	524	468
国泰寺町	296	1,033	506	527
雑魚場町	131	504	263	241
大手町一丁目	139	495	198	297
大手町二三丁目	37	165	94	71
大手町三丁目	62	250	118	132
大手町四丁目	41	150	77	73
大手町五六丁目	26	92	42	50
大手町七八丁目	66	247	121	126
大手町九丁目	248	952	469	483
大東魚屋町	240	883	443	440
立研屋町	297	1,027	519	508
紙屋町	57	232	122	110
猿楽町	169	638	298	340
平田麿屋町	131	545	293	252
革屋町	40	160	76	84
	137	490	258	232
	95	429	200	229
	109	491	247	244
	57	236	124	112
細工町	106	384	184	200
鳥屋町	38	146	67	79
新川場町	33	130	67	63
中町	276	1,010	483	527
下中町	101	362	192	170
西魚屋町	125	510	265	245
鉄砲屋町	68	238	113	125
袋小町	104	407	197	210
	79	257	125	132
尾道町	156	611	326	285
塩屋町	32	118	57	61
十日市出張所	77	297	146	151
中広町	**5,888**	**23,243**	**11,649**	**11,594**
上天満町	671	2,579	1,328	1,251
西天満町	407	1,521	767	754
天満北町	199	806	392	414
広瀬元町	295	1,229	611	618
寺町	254	996	506	490
錦町	303	1,074	560	514
西新堂引町	126	486	249	237
横市軒町	94	373	173	200
九堀町	122	535	275	260
北榎町	108	465	237	228
西大工町	82	377	190	187
空鞘町	129	511	273	238
	72	296	153	143
	110	515	273	242
	59	271	141	130
	135	521	288	233

町別	世帯数	人口 総数	男	女
鵜匠町	293	1,128	565	563
鍛冶屋町	31	108	48	60
左官町	91	389	208	181
油屋町	64	292	139	153
十日市町	94	409	213	196
猫塚町	83	366	190	176
堺町一丁目	46	216	118	98
堺町二三丁目	45	222	114	108
堺町四丁目	49	217	107	110
	33	124	63	61
塚本町	49	192	105	87
西新町	148	585	252	333
西地方町	79	299	129	170
小網町	333	1,339	573	766
舟入町	108	424	209	215
舟入仲町	295	1,115	553	562
舟入本町	417	1,569	807	762
舟河原町	464	1,694	840	854
舟入出張所	**4,298**	**16,488**	**8,224**	**8,264**
舟入幸町	432	1,593	776	817
舟入川口町東	154	560	276	284
舟入川口町中	230	922	437	485
舟入川口町西	348	1,378	700	678
舟入川口町公園	142	542	276	266
舟入川口町南	256	949	471	478
舟入川口町下	301	1,122	564	558
江波町	2,435	9,422	4,724	4,698
観音出張所	**5,004**	**20,668**	**10,688**	**9,980**
東観音町一丁目	355	1,233	611	622
東観音町二丁目	498	1,925	986	939
観音本町	330	1,257	654	603
西観音町一丁目	408	1,602	769	833
西観音町二丁目	499	1,929	1,003	926
南観音町	2,914	12,722	6,665	6,057
己斐出張所	**5,433**	**19,761**	**9,601**	**10,160**
己斐南三篠町	659	2,183	1,127	1,056
己斐島町	1,285	4,400	2,178	2,222
己斐町	2,600	9,760	4,635	5,125
古田町高須	514	2,101	1,043	1,058
庚午北町2～9丁目	375	1,317	618	699
三篠出張所	**4,597**	**17,722**	**8,787**	**8,935**
横川町一丁目	226	856	415	441
横川町二丁目	408	1,600	758	842
横川町三丁目	225	849	416	433
三篠本町一丁目	245	1,012	529	483
三篠本町二丁目	487	1,801	890	911
三篠本町三丁目	457	1,737	868	869
三篠本町四丁目	263	1,096	553	543
楠木町一丁目	264	1,008	542	466
楠木町二三丁目	171	646	321	325
楠木町四丁目	260	930	456	474
楠木町	334	1,306	646	660
打越町	458	1,767	892	875
山手町	70	282	130	152
三滝町	323	1,279	603	676
大芝町	365	1,399	687	712
新庄町	41	154	81	73
草津出張所	**3,356**	**13,792**	**6,799**	**6,993**
草津南町	570	2,386	1,170	1,216
草津東本町	446	1,822	880	942
草津浜町	321	1,283	626	657
庚午本町	392	1,735	876	859
庚午北町十～十二丁目	675	2,710	1,342	1,368
古田町古江	153	616	300	316
古田町古田方	555	2,284	1,130	1,154
	244	956	475	481



年令別人口

(調査課調)

年令	総数	男	女	年令	総数	男	女	年令	総数	男	女
総数	304,915	150,361	154,554	16	6,644	3,501	3,143	33	4,223	1,924	2,299
0	6,021	3,139	2,882	17	6,090	3,198	2,892	34	4,271	2,048	2,223
1	7,099	3,635	3,464	18	6,609	3,501	3,108	35	4,360	2,069	2,291
2	7,813	3,986	3,827	19	6,068	3,115	2,953	36	4,330	2,113	2,217
3	8,596	4,392	4,204	20	5,841	3,148	2,693	37	4,083	2,036	2,047
4	8,738	4,510	4,228	21	6,032	3,006	3,026	38	4,387	2,107	2,280
5	7,777	3,988	3,789	22	6,154	2,934	3,220	39	3,980	2,044	1,936
6	5,242	2,698	2,544	23	6,504	3,054	3,450	40	4,121	2,081	2,040
7	5,787	2,909	2,878	24	6,116	2,861	3,255	41	3,855	1,917	1,938
8	6,790	3,445	3,345	25	6,196	2,891	3,305	42	3,631	1,822	1,809
9	6,342	3,145	3,197	26	6,064	2,886	3,178	43	3,509	1,781	1,728
10	6,528	3,285	3,243	27	5,855	2,738	3,117	44	3,455	1,747	1,708
11	6,042	3,087	2,955	28	5,485	2,509	2,976	45	3,312	1,722	1,590
12	5,098	2,570	2,528	29	5,318	2,406	2,912	46	2,749	1,354	1,395
13	4,356	2,157	2,199	30	5,063	2,274	2,789	47	2,798	1,402	1,396
14	4,877	2,411	2,466	31	5,160	2,281	2,879	48	2,741	1,454	1,287
15	6,095	3,168	2,927	32	4,908	2,239	2,669	49	2,844	1,380	1,464
50	2,654	1,374	1,280	67	1,004	448	556	84	128	39	89
51	2,496	1,305	1,191	68	927	400	527	85	86	29	57
52	2,369	1,238	1,131	69	878	358	520	86	67	18	49
53	2,192	1,142	1,050	70	862	346	516	87	56	19	37
54	2,215	1,110	1,105	71	854	373	481	88	35	13	22
55	1,981	1,029	952	72	681	249	432	89	19	4	15
56	1,888	930	958	73	663	247	416	90	19	6	13
57	1,664	867	797	74	609	222	387	91	10	1	9
58	1,630	824	806	75	542	209	333	92	8	4	4
59	1,651	792	859	76	443	144	299	93	7	2	5
60	1,378	680	698	77	426	160	266	94	5	0	5
61	1,230	585	645	78	294	98	196	95	1	0	1
62	1,383	649	734	79	318	107	211	96	4	0	4
63	1,377	659	718	80	227	61	166	97	0	0	0
64	1,135	562	573	81	174	51	123	98	1	0	1
65	1,081	427	654	82	154	39	115	99	0	0	0
66	863	394	469	83	149	39	110	不詳	120	40	80

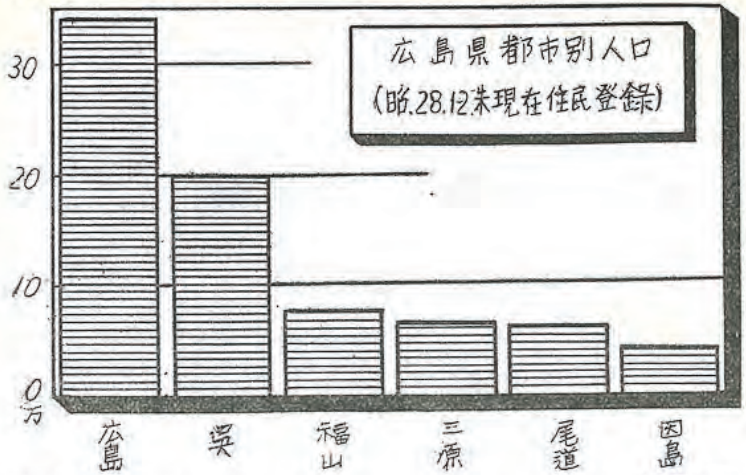
備考　昭和27年7月1日住民登録届による。

広島県市郡別人口

(広島県統計課調)

市郡別	昭.27.7.1	昭.28.12.31	市郡別	昭.27.7.1	昭.28.12.31	市郡別	昭.27.7.1	昭.28.12.31
	人	人		人	人		人	人
広島県総数	2,086,753	2,143,420	安芸郡	163,571	165,625	世羅郡	45,931	45,914
市計	688,023	784,657	佐伯郡	150,843	152,545	沼隈郡	107,196	106,849
広島市	304,915	339,432	安佐郡	78,165	78,920	深安郡	60,314	60,622
呉市	192,891	200,364	山県郡	61,033	61,390	芦品郡	82,568	83,681
三原市	56,869	64,527	高田郡	68,276	68,057	神石郡	32,517	32,348
尾道市	63,224	63,539	賀茂郡	123,383	123,740	甲奴郡	21,926	21,870
福山市	70,124	74,938	豊田郡	136,139	130,518	双三郡	79,059	79,304
因島市	—	41,857	御調郡	104,975	64,553	比婆郡	82,234	82,827
郡計	1,398,130	1,358,763						

備考　住民登録届による。



戸籍の届出状況

(戸籍課調)

年月別	出生			死亡			婚姻	離婚	戸籍謄抄本交付	公簿閲覧	身分その他証明
	計	男	女	計	男	女					
	人	人	人	人	人	人	件	件	枚	回	件
昭和25年	7,272	3,733	3,539	2,501	1,346	1,155	2,440	427	57,434	4,027	3,676
26	6,781	3,543	3,238	2,520	1,392	1,128	2,358	420	75,656	2,970	5,239
27	6,263	3,242	3,021	3,249	1,795	1,454	2,374	447	119,061	3,864	5,415
28	**6,435**	**3,408**	**3,027**	**2,642**	**1,453**	**1,189**	**2,381**	**449**	**120,694**	**2,694**	**4,178**
1月	615	322	293	324	163	161	168	29	16,268	282	300
2	604	332	272	299	156	143	222	33	10,732	305	327
3	614	323	291	223	118	105	197	26	11,040	281	384
4	498	265	233	204	115	89	230	45	8,343	199	298
5	481	259	222	230	134	96	234	37	6,566	222	343
6	509	259	250	165	98	67	213	42	6,499	204	246
7	560	311	249	200	116	84	135	43	5,950	209	268
8	534	273	261	205	120	85	139	37	6,181	192	232
9	542	287	255	199	107	92	148	45	11,516	218	364
10	503	270	233	210	111	99	179	35	10,245	199	397
11	431	225	206	178	100	78	240	40	12,243	190	592
12	544	282	262	205	115	90	276	37	15,111	193	427

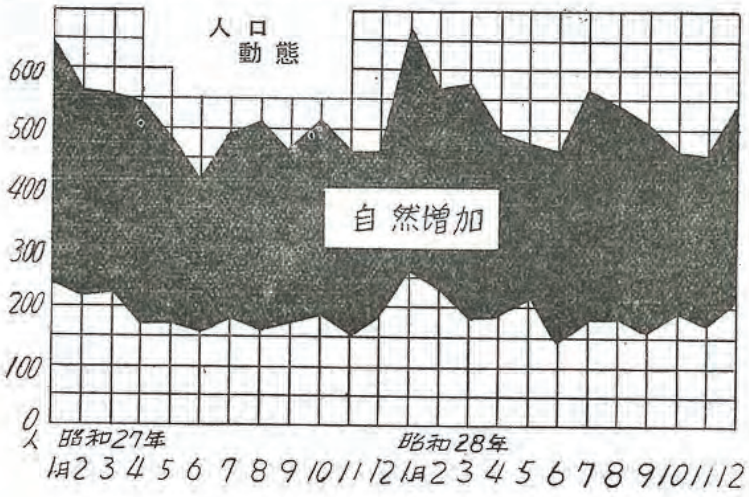
備考　本表は本籍者の外に非本籍者も含んでいる。

人口動態

(保健所調)

年月別	出生			死亡			死産				婚姻	離婚
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	不詳		
	人	人	人	人	人	人	胎	胎	胎	胎	件	件
昭和22年	6,419	3,366	3,053	2,340	1,260	1,080	—	—	—	—	2,787	318
23	6,872	3,532	3,340	2,139	1,157	982	—	—	—	—	3,190	298
24	8,103	4,169	3,934	2,307	1,218	1,089	856	457	358	31	2,972	342
25	7,104	3,648	3,456	2,310	1,213	1,097	915	485	371	59	2,437	425
26	6,483	3,388	3,095	2,386	1,295	1,091	953	516	383	54	2,343	423
27	6,105	3,140	2,965	2,205	1,147	1,058	1,019	536	434	49	2,357	449
28	**6,300**	**3,333**	**2,967**	**2,297**	**1,276**	**1,021**	**1,094**	**582**	**462**	**50**	**2,371**	**445**
1月	669	353	316	266	141	125	98	53	41	4	168	30
2	561	300	261	234	124	110	85	39	41	5	220	30
3	572	294	278	186	96	90	98	56	38	4	199	27
4	485	270	215	187	107	80	87	53	31	3	228	43
5	476	261	215	206	123	83	86	39	44	3	233	37
6	461	235	225	149	85	64	82	52	24	6	211	43
7	570	307	263	175	110	65	94	48	42	4	135	44
8	540	271	269	172	100	72	96	45	48	3	139	35
9	505	277	228	158	84	74	104	58	41	5	146	48
10	465	252	213	182	99	83	90	47	38	5	178	32
11	459	225	234	175	95	80	86	48	36	2	240	40
12	537	287	250	207	112	95	88	44	38	6	274	36

備考　広島市内で発生した日本人のみの数である。



全国の人口動態

（日本統計年鑑）

年別	出生	死亡	死産	婚姻	離婚	自然増加	人口1,000人につき 出生	死亡	婚姻	離婚	自然増加
	人	人	胎	件	件	人					
大正2年	1,745,717	1,017,940	147,762	427,255	58,841	727,777	33.3	19.4	8.2	1.12	13.5
4	1,788,521	1,084,274	141,300	438,708	59,050	704,247	33.2	20.1	8.1	1.10	13.1
6	1,798,460	1,190,682	140,320	442,600	54,911	607,778	32.4	21.5	8.0	0.99	11.0
8	1,765,768	1,271,850	132,924	476,497	56,120	493,918	31.7	22.9	8.6	1.01	8.9
10	1,976,055	1,279,219	138,294	514,823	52,643	696,836	35.2	22.8	9.2	0.94	12.4
12	2,028,955	1,323,648	133,855	508,100	50,314	705,307	35.3	23.0	8.8	0.87	12.3
14	2,071,560	1,199,936	124,394	516,639	50,741	871,624	35.0	20.3	8.7	0.86	14.7
昭和2年	2,045,828	1,204,847	116,916	482,907	49,689	840,981	33.5	19.7	7.9	0.81	13.8
4	2,061,720	1,251,041	116,967	491,988	50,310	810,679	32.8	19.9	7.8	0.80	12.9
6	2,088,608	1,231,154	116,505	492,094	49,887	857,454	32.2	19.0	7.6	0.77	13.2
8	2,106,260	1,184,546	114,135	481,012	48,546	921,714	31.5	17.7	7.2	0.73	13.8
10	2,174,291	1,152,371	115,592	551,032	47,721	1,021,920	31.7	16.8	8.0	0.70	14.9
12	2,164,949	1,198,400	111,481	668,336	45,719	966,549	30.8	17.0	9.5	0.65	13.7
14	1,885,957	1,258,514	98,347	548,118	45,178	627,443	26.6	17.7	7.7	0.64	8.9
16	2,260,270	1,140,428	103,393	783,858	48,605	1,119,842	31.1	15.7	10.8	0.67	15.4
18	2,235,431	1,204,802	92,882	736,183	48,832	1,030,629	30.2	16.3	10.0	0.66	13.9
22	2,678,792	1,138,238	123,837	934,170	79,551	1,540,554	34.3	14.6	12.0	1.02	19.7
23	2,681,624	950,610	143,963	953,999	79,032	1,731,014	33.5	11.9	11.9	0.99	21.6
24	2,696,638	945,444	192,677	842,170	82,575	1,751,194	33.0	11.6	10.3	1.01	21.4
25	2,337,507	904,876	216,974	715,081	83,689	1,432,631	28.1	10.9	8.6	1.01	17.2
26	2,137,681	838,998	217,231	671,905	82,331	1,298,691	25.3	9.9	7.9	0.97	15.4
27	1,999,488	764,465	203,687	577,123	78,737	1,235,023	23.3	8.9	7.9	0.92	14.4

転入、転出による異動人口

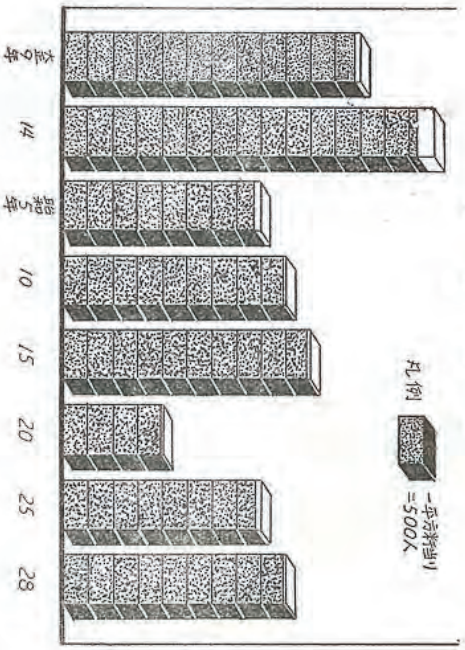
（総務課調）

年月別	転入 計	転入 県内	転入 県外	転出 計	転出 県内	転出 県外	増減
	人	人	人	人	人	人	人
昭和24年	59,455	27,389	32,066	50,615	20,865	29,750	8,840
25	48,143	27,141	21,002	35,151	16,333	18,818	12,992
26	—	—	—	—	—	—	—
27	41,777	24,669	17,108	31,794	15,876	15,918	9,983
28	**38,786**	**22,805**	**15,981**	**29,220**	**14,675**	**14,545**	**9,566**
1月	2,971	1,854	1,117	1,825	939	886	1,146
2	2,648	1,601	1,047	1,854	914	940	794
3	3,742	2,252	1,490	3,599	1,664	1,935	143
4	5,735	3,305	2,430	3,152	1,405	1,747	2,583
5	3,781	2,262	1,519	2,174	1,057	1,117	1,607
6	2,608	1,542	1,066	2,139	1,117	1,022	469
7	2,597	1,472	1,125	2,544	1,240	1,304	53
8	2,862	1,623	1,239	2,552	1,237	1,315	310
9	3,215	1,664	1,551	2,635	1,293	1,342	580
10	3,101	1,700	1,401	2,820	1,720	1,100	281
11	2,788	1,750	1,038	2,147	1,162	985	641
12	2,738	1,780	958	1,779	927	852	959

人口密度（1平方粁当り）

区分	大正9年	14	昭和5年	10	15	20	25	28
	人	人	人	人	人	人	人	人
全国	146	156	168	181	191	195	226	—
広島県	183	192	201	214	222	223	247	—
広島市	5,880	7,170	3,870	4,438	4,922	1,963	3,896	4,480
全都市平均	7,326	5,893	5,220	4,439	3,164	1,418	1,574	—

人口密度



外国人登録数

（渉外課調）

国籍別	世帯数	総数			14才未満			14才以上20才未満			20才以上		
		総数	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
数	世帯	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
総数	1,883	5,788	3,224	2,564	2,567	1,326	1,235	660	355	305	2,567	1,543	1,024
朝鮮	873	2,891	1,655	1,236	1,295	677	618	311	171	140	1,285	807	478
大韓民国	807	2,545	1,381	1,164	1,147	593	554	326	171	155	1,072	617	455
中国	82	178	106	72	67	34	33	5	4	1	106	68	38
アメリカ	84	121	47	74	44	18	26	12	5	7	65	24	41
カナダ	7	14	9	5	4	2	2	2	1	1	8	6	2
ブラジル	2	3	2	1	1	1	—	2	1	1	—	—	—
ベルギー	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
イタリア	2	3	3	—	—	—	—	1	1	—	3	3	—
フランス	2	4	1	3	1	1	—	—	—	—	3	3	—
スペイン	3	3	3	—	—	—	—	—	—	—	3	3	—
オーストラリア	4	5	4	1	—	—	—	—	—	—	5	4	1
ドイツ	4	4	4	—	—	—	—	—	—	—	4	4	—
イギリス	2	4	1	3	—	—	—	1	1	—	3	—	3
フィリッピン	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
ベルー	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	1
インド	2	2	1	1	—	—	—	—	—	—	2	2	—
イラン	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
ニュージランド	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
無国籍	5	7	4	3	1	1	—	2	—	2	4	3	1

昼間人口

広島市将来の基本政策に必要なる諸資料を得るために、昭和28年6月3日戦後地方都市としては最初に実施された広島市昼間人口調査（指定統計第63号）の結果は次の通りである。

広島市昼間人口（その1）

出張所別	市内常住人口 (A)					流入人口 (B)			(C)	広島市昼間人口〔A(a^1-a^5)+B+C〕				
	a^1 総数	a^2 従業者	a^3 通学者	a^4 無業者	a^5 全昼間時間を通じての不在者	総数	従業者	通学者	一時現在者	総数	従業者	通学者	無業者	一時現在者
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
総数	**323,066**	**118,435**	**70,813**	**128,828**	**4,990**	**34,951**	**26,399**	**8,552**	**2,943**	**355,970**	**144,834**	**79,365**	**128,828**	**2,943**
三篠	17,364	6,629	3,693	6,767	275	2,148	1,600	548	83	19,320	8,229	4,241	6,767	83
牛田	9,766	3,167	2,437	3,982	180	182	58	124	53	9,821	3,225	2,561	3,982	53
尾長	14,881	5,400	3,294	5,918	269	762	266	496	145	15,519	5,666	3,790	5,918	145
基町	30,837	11,876	6,718	11,770	473	4,825	3,593	1,232	422	35,611	15,469	7,950	11,770	422
十日市	22,962	8,915	4,410	9,303	334	1,554	1,384	170	162	24,344	10,299	4,580	9,303	162
己斐	19,204	6,662	4,270	7,981	291	532	356	176	82	19,527	7,018	4,446	7,981	82
草津	13,551	4,583	3,059	5,558	351	393	387	6	35	13,628	4,970	3,065	5,558	35
観音	19,960	6,837	4,460	8,351	312	1,469	1,175	294	130	21,247	8,012	4,754	8,351	130
舟入	15,617	5,401	3,433	6,457	326	459	322	137	64	15,814	5,723	3,570	6,457	64
本宇直轄	44,394	16,324	9,355	18,053	662	7,044	4,317	2,727	583	51,359	20,641	12,082	18,053	583
段原	22,283	9,283	4,372	8,377	251	2,229	2,219	10	291	24,552	11,502	4,382	8,377	291

山治比	18,148	6,458	3,977	7,462	251	1,860	1,113	747	59	19,816	7,571	4,724	7,462
青崎	10,058	3,336	2,392	4,175	155	600	483	117	29	10,532	3,819	2,509	4,175
仁保	5,836	2,280	1,247	2,207	102	11	11	—	18	5,763	2,291	1,247	2,207
大河	11,925	4,407	2,752	4,615	151	2,094	1,370	724	65	13,933	5,777	3,476	4,615
皆実	18,037	6,421	4,449	6,940	227	1,145	552	593	101	19,056	6,973	5,042	6,940
宇品	25,682	9,320	5,833	10,159	370	1,437	986	451	610	27,359	10,306	6,284	10,159
似島	2,551	1,126	662	753	10	—	—	—	6	2,547	1,126	662	753
特別調査区 国鉄関係	10	10	—	—	—	4,011	4,011	—	5	4,026	4,021	—	—
特別調査区 通商組合	—	—	—	—	—	1,287	1,287	—	—	1,287	1,287	—	—
特別調査区 失業対策事業及び日雇関係	—	—	—	—	—	551	551	—	—	551	551	—	—
特別調査区 市境調査	—	—	—	—	—	358	358	—	—	358	358	—	—

山治比	59	29	18	65	101	610	6	5					
青崎	29	18	65	101	610	6							
仁保	18	65	101	610	6								
大河	65	101	610	6									
皆実	101	610	6										
宇品	610	6											
似島	6												
特別調査区 国鉄関係													
特別調査区 通商組合													
特別調査区 失業対策事業及び日雇関係													
特別調査区 市境調査													

備考　この調査での昼間総人口は、全昼間時間を通じての不在者を除外したものである。

別に浮動的に増加する人口（附帯調査）
16,250人

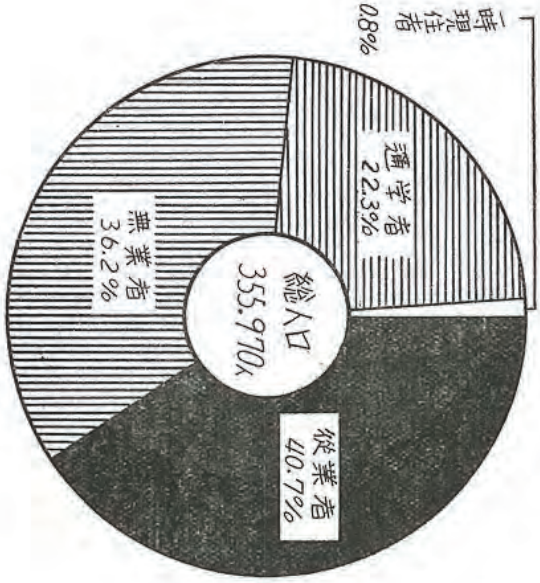
←買物・娯楽・訪問等のため調査当日市内に流入したもの。

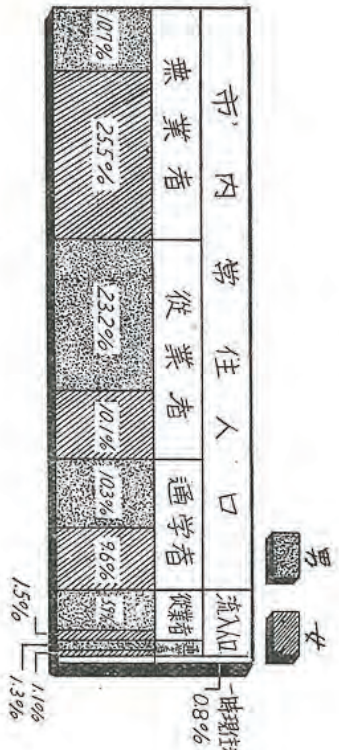
以上の結果表によってわかるように、昼間総人口は355,970人（男184,782人　女171,188人）で、その状態別割合は市内常住人口89.4%、流入人口9.8%、一時現在者0.8%となつており、この流入人口34,951人の内訳は従業者75.5%、通学者24.5%となつている。

なお、この外に同調査の附帯調査として調べた交通機関による浮動的（買物・娯楽・訪問等）増加人口16,250人を合せると、事実上の昼間総人口は372,220人となり、市内常住人口に対し54,144人（16.76%）の増加を示し、この昼間膨張率は、戦前平常の時期に実施された大阪市・名古屋市また昭和22年の東京都のそれらと比較すると極めて高率を示しているということになる。

状態別昼間人口

（昭.28.6.3現在広島市昼間人口調査）





広島市と他市郡との流出入人口

市郡別	流出人口									流入人口								
	総数			従業者			通学者			総数			従業者			通学者		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
総数	5,298	4,036	1,262	4,284	3,826	458	1,074	210	804	34,952	25,925	9,027	26,399	21,165	5,234	8,553	4,760	3,793
市部	401	359	42	357	323	34	44	36	8	2,798	2,300	498	2,182	1,927	255	616	373	243
郡部	8	8	—	8	8	—	—	—	—	61	54	7	51	49	2	10	5	5
山県郡	3	2	1	3	2	1	—	—	—	26	18	8	26	18	8	—	—	—
豊田郡	2	2	—	2	2	—	—	—	—	4	3	1	4	3	1	—	—	—
賀茂郡	2	2	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
芸北部	2,794	2,520	274	2,639	2,400	239	155	120	35	11,890	8,186	3,704	8,929	6,749	2,180	2,961	1,437	1,524
伯耆部	1,200	477	723	543	439	104	657	38	619	5,825	4,486	1,339	4,196	3,465	731	1,629	1,021	608
佐伯郡	580	395	185	436	385	51	144	10	134	8,122	6,029	2,093	6,269	4,942	1,327	1,853	1,087	766
安佐郡	19	16	3	19	16	3	—	—	—	119	113	6	116	110	6	3	3	—
山県郡	16	11	5	13	11	2	3	—	3	1,582	1,245	337	1,231	1,053	178	351	192	159
高田郡	73	61	12	68	59	9	5	2	3	2,092	1,553	539	1,406	1,186	220	686	367	319
賀茂郡	15	11	4	14	11	3	1	—	1	321	275	46	274	247	27	47	28	19
豊田郡	1	1	—	1	1	—	—	—	—	4	4	—	4	4	—	—	—	—
御調郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	9	1	8	8	—	2	1	1
世羅郡	1	1	—	1	1	—	—	—	—	12	12	—	11	11	—	1	1	—
沼隈郡	1	1	—	1	1	—	1	1	—	6	6	—	6	6	—	—	—	—
深安郡	2	1	1	1	1	—	1	1	—	4	4	—	4	4	—	—	—	—
品石郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
神奴郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5	—	4	4	—	1	1	—
甲双郡	13	12	1	13	12	1	—	—	—	398	328	70	334	289	45	64	39	25
比郡	2	2	—	1	1	—	1	1	—	44	37	7	42	37	5	2	—	2
他県	165	154	11	163	152	11	2	2	—	1,629	1,258	371	1,302	1,053	249	327	205	122

備考　流入人口他県の1,629人の内、山口県は1,516（内岩国市592人）を占めている。

状態別 / 出張所別	総計	三篠	牛田	尾長	基町	十日市	己斐	草津	観音	舟入	本庁直轄	段原	比治山	宵崎	仁保	大河	皆実	宇品	似島
国鉄関係																			
通商組合																			
失業対策事業及び日雇関係																			
特別調査区																			
市施調査																			

状態別 / 出張所別	(A) 市内常住 1. 市内停在人口 計			従業者			通学者			無業者			2. 流出人口 イ. 流出総計(ロ+ハ)			ロ. 流出人口 計			従業者			通学者			ハ. 全昼間時間を通じての不在者		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
総計	**372,778**	**152,983**	**159,795**	**114,151**	**78,523**	**35,628**	**69,799**	**36,533**	**33,266**	**128,828**	**37,927**	**90,901**	**10,288**	**7,027**	**3,261**	**5,298**	**4,036**	**1,262**	**4,284**	**3,826**	**458**	**1,014**	**210**	**804**	**4,990**	**2,991**	**1,999**
三篠	16,760	8,142	8,618	6,394	4,433	1,961	3,599	1,809	1,790	6,767	1,900	4,867	604	384	220	329	221	108	235	204	31	94	17	77	275	163	112
牛田	9,438	4,426	5,012	3,035	2,237	798	2,421	1,172	1,249	3,982	1,017	2,965	328	230	98	148	118	30	132	113	19	16	5	11	180	112	68
尾長	14,250	6,784	7,466	5,088	3,592	1,496	3,244	1,572	1,672	5,918	1,620	4,298	631	474	157	362	307	55	312	279	33	50	28	22	269	167	102
基町	30,024	14,198	15,826	11,578	7,442	4,136	6,676	3,286	3,390	11,770	3,470	8,300	813	565	248	340	276	64	298	264	34	42	12	30	473	289	184
十日市	22,423	10,996	11,427	9,800	6,005	2,795	4,320	2,260	2,060	9,303	2,731	6,572	539	300	239	205	113	92	115	105	10	90	8	82	334	187	147
己斐	18,528	8,876	9,652	6,451	4,415	2,036	4,096	2,145	1,951	7,981	2,316	5,665	676	363	313	385	193	192	211	183	28	174	10	164	291	170	121
草津	12,856	6,272	6,584	4,427	3,081	1,346	2,871	1,554	1,317	5,558	1,637	3,921	695	298	397	344	130	214	156	112	44	188	18	170	351	168	183
観音	19,453	9,829	9,624	6,725	5,189	1,536	4,377	2,275	2,102	8,351	2,365	5,986	507	308	199	195	109	86	112	107	5	83	2	81	312	199	113
舟入	15,153	7,435	7,718	5,299	3,813	1,486	3,397	1,730	1,667	6,457	1,892	4,565	464	285	179	138	96	42	102	94	8	36	2	34	326	189	137
本庁直轄	43,374	21,938	21,436	16,033	10,719	5,314	9,288	4,964	4,324	18,053	6,255	11,798	1,020	679	341	358	272	86	291	258	33	67	14	53	662	407	255
段原	21,721	10,219	11,502	9,007	5,667	3,340	4,337	2,158	2,179	8,377	2,394	5,983	562	438	124	311	278	33	276	257	19	35	21	14	251	160	91
比治山	17,531	8,786	8,745	6,128	4,604	1,524	3,941	2,116	1,825	7,462	2,066	5,396	617	468	149	366	326	40	330	308	22	36	18	18	251	142	109
青崎	8,903	3,984	4,919	2,375	1,611	764	2,353	1,231	1,122	4,175	1,142	3,033	1,155	976	179	1,000	887	113	961	862	99	39	25	14	155	89	66
仁保	5,609	2,634	2,975	2,157	1,398	759	1,245	632	613	2,207	604	1,603	227	174	53	125	116	9	123	115	8	2	1	1	102	58	44
大河	11,564	5,747	5,817	4,208	2,959	1,249	2,741	1,494	1,247	4,615	1,294	3,321	361	294	67	210	196	14	199	186	13	11	10	1	151	98	53
皆実	17,587	8,915	8,672	6,225	4,434	1,791	4,422	2,605	1,817	6,940	1,876	5,064	450	331	119	223	184	39	196	174	22	27	10	17	227	147	80
宇品	25,057	12,478	12,579	9,088	6,243	2,845	5,810	3,154	2,656	10,159	3,081	7,078	625	452	173	255	211	44	232	202	30	23	9	14	370	241	129
似島	2,537	1,323	1,214	1,123	680	443	661	376	285	753	267	486	14	8	6	4	3	1	3	3	0	1	0	1	10	5	5
特別調査区 国鉄関係	10	1	9	10	1	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別調査区 通商組合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別調査区 失業対策事業及び日雇関係	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別調査区 市境調査	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

昼　間　人　口　（その2）

住人口																				(B) 流入人口									(C) 一時現在者		
		ハ．全昼間時間を通じての不在者			3. (1+2) 市内常住人口															流入人口											
					計			従業者			通学者			無業者			全昼間時間を通じての不在者			計			従業者			通学者					
者																															
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
210	804	4,990	2,991	1,999	323,066	160,010	163,056	118,435	82,349	36,086	70,873	36,743	34,070	128,828	37,927	90,907	4,990	2,991	1,999	34,597	25,924	9,027	26,399	27,165	5,234	8,552	4,759	3,793	2,943	1,839	1,104
17	77	275	163	112	17,364	8,526	8,838	6,629	4,637	1,992	3,693	1,826	1,867	6,767	1,900	4,867	275	163	112	2,148	1,571	577	1,600	1,047	553	548	524	24	83	46	37
5	11	180	112	68	9,766	4,656	5,110	3,167	2,350	817	2,437	1,177	1,260	3,982	1,017	2,965	180	112	68	182	52	130	58	52	6	124	0	124	53	28	25
28	22	269	167	102	14,881	7,258	7,623	5,400	3,871	1,529	3,294	1,600	1,694	5,918	1,620	4,298	269	167	102	762	612	150	266	181	85	496	431	65	145	85	60
12	30	473	289	184	30,837	14,763	16,074	11,876	7,706	4,170	6,718	3,298	3,420	11,770	3,470	8,300	473	289	184	4,825	2,914	1,911	3,593	2,866	727	1,232	48	1,184	422	305	117
8	82	334	187	147	22,962	11,296	11,666	8,915	6,110	2,805	4,410	2,268	2,142	9,303	2,731	6,572	334	187	147	1,554	1,167	387	1,384	1,099	285	170	68	102	162	98	64
10	164	291	170	121	19,204	9,239	9,965	6,662	4,598	2,064	4,270	2,155	2,115	7,981	2,316	5,665	291	170	121	532	302	230	356	283	73	176	19	157	82	34	48
18	170	351	168	183	13,551	6,570	6,981	4,583	3,193	1,390	3,059	1,572	1,487	5,558	1,637	3,921	351	168	183	393	301	92	387	300	87	6	1	5	35	15	20
2	81	312	199	113	19,960	10,137	9,823	6,837	5,296	1,541	4,460	2,277	2,183	8,351	2,365	5,986	312	199	113	1,469	1,341	128	1,175	1,091	84	294	250	44	130	80	50
2	34	326	189	137	15,617	7,720	7,897	5,401	3,907	1,494	3,433	1,732	1,701	6,457	1,892	4,565	326	189	137	459	351	108	322	266	56	137	85	52	64	29	35
14	53	662	407	255	44,394	22,617	21,777	16,324	10,977	5,347	9,355	4,978	4,377	18,053	6,255	11,798	662	407	255	7,044	5,830	1,214	4,317	3,490	827	2,727	2,340	387	583	296	287
21	14	251	160	91	22,283	10,657	11,626	9,283	5,924	3,359	4,372	2,179	2,193	8,377	2,394	5,983	251	160	91	2,229	1,649	580	2,219	1,647	572	10	2	8	291	189	102
18	18	251	142	109	18,148	9,254	8,894	6,458	4,912	1,546	3,977	2,134	1,843	7,462	2,066	5,396	251	142	109	1,860	969	891	1,113	918	195	747	51	696	59	27	32
25	14	155	89	66	10,058	4,960	5,098	3,336	2,473	863	2,392	1,256	1,136	4,175	1,142	3,033	155	89	66	600	475	125	483	419	64	117	56	61	29	10	19
1	1	102	58	44	5,836	2,808	3,028	2,280	1,513	767	1,247	633	614	2,207	604	1,603	102	58	44	11	11	0	11	11	0	0	0	0	18	9	9
10	1	151	98	53	11,925	6,041	5,884	4,407	3,145	1,262	2,752	1,504	1,248	4,615	1,294	3,321	151	98	53	2,094	1,281	813	1,370	1,055	315	724	226	498	65	27	38
10	17	227	147	80	18,037	9,246	8,791	6,421	4,608	1,813	4,449	615	1,834	6,940	1,876	5,064	227	147	80	1,145	786	359	552	381	171	593	405	188	101	54	47
9	14	370	241	129	25,682	12,930	12,752	9,320	6,445	2,875	5,833	3,163	2,670	10,159	3,081	7,078	370	241	129	1,437	1,020	417	986	767	219	451	253	198	610	501	109
0	1	10	5	5	2,551	1,331	1,220	1,126	683	443	662	376	286	753	267	486	10	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5	1
—	—	—	—	—	10	1	9	10	1	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4,011	3,844	167	4,011	3,844	167	—	—	—	5	1	4
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,287	869	418	1,287	869	418	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	551	298	253	551	298	253	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	358	281	77	358	281	77	—	—	—	—	—	—

広島市と他市郡との流出入人口

市	流出人口	

第4編 住宅

建ち並ぶ住宅や商店

基町の市営住宅街（手前は広島市民病院と広島通産局）

（毎日新聞社提供）

市営ブロック住宅
（南観音町）

同内部

市営鉄筋アパート（若草町）

概　　要

戦災後8年半を経過し、市街地はようやく新しい建物が建ち揃つて来たため、原爆によるせい惨極りない被爆当時の状景は、もはや容易に想像することは困難となり外見上急速な復興を示している。しかしそれにもかかわらず、激増する人口のため市内の住宅不足問題は、解決の見通しも困難で最大の悩みの一つとして今後も長期にわたつて続くものと思われる。

本年9月1日現在において実施された、住宅統計調査の結果によると、本市の住戸（住宅及び住宅以外の人が居住している建物）総数は7万3千戸（住宅7万2千戸、住宅以外の建物650戸）で、この内人の居住している住宅は、6万9千戸となつており、この普通住宅のみを前回昭和23年の住宅調査時と比較すると、この5年間に約2万戸（1年平均4千戸）の住宅が新築されたことになる。

住宅1戸当り世帯数及び居住人員等

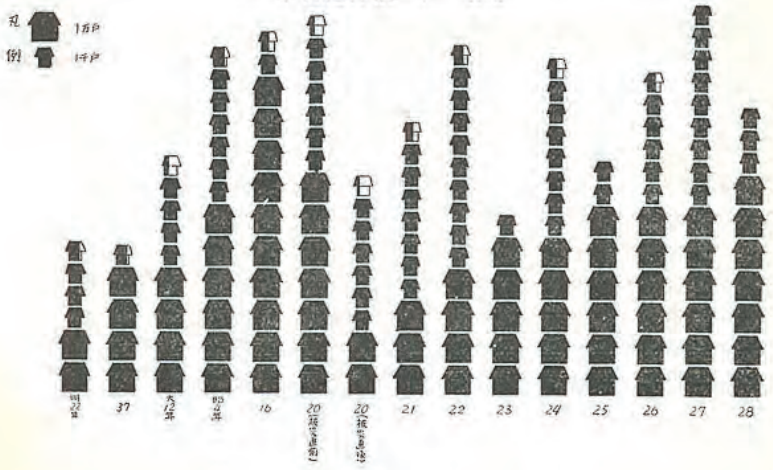
年　別	世帯数	居住人員	室数	畳数	一人当り畳数
	世帯	人	室	畳	畳
昭.28. 9	1.16	4.22	3.1	15.4	3.3
昭.23. 8	1.18	4.55	?	14.8	3.3

次に、住宅1戸当りの居住人員、或いは畳数等を前回の分と比較すれば左表の通りで、これからみれば深刻な住宅問題も、こんにちでは5年前より幾分緩和されているかのように見受けられる。

しかし、反面借家・間借住いの世帯は増加する一方で、日常生活費に追われ、住宅の新築は一部市民を除いては到底不可能事に近い。

この1年間に新築された住宅数は、総数3,545戸（床坪69,914坪）で、内3,043戸が持家、残り502戸は貸家等のために建てられたものであるが、これでは現在までに累増した不足数（少くとも1万3千戸以上）を緩和し得ないばかりか、むしろ不足数はますます増しつつあり、従つて住宅問題は山積する重要問題の中でも特に早急に解決の方策が講じられることが要請されている。

市制施行後の住戸推移



市制施行後の住戸推移

（調査課調）

年次	建物数	摘要
	戸	
明治22年	23,824	推計による（年末現在）
37	40,803	戸籍台帳による（〃）
大正12年	44,399	〃（〃）
昭和4年	66,860	〃（〃）
16	101,656	〃（〃）
20	76,327	推計による（被爆直前）
20	26,267	昭和23年住宅調査の結果による推計である（被爆直後）
21	37,608	原爆被災調査による（8月10日現在）
22	49,798	〃（8月6日〃）
23	53,010	住宅調査による（8月1日〃）
24	57,500	推計による（年末〃）
25	62,086	国勢調査による概数である（10月1日〃）
26	65,700	推計による（年末〃）
27	69,000	〃（〃）
28	73,000	住宅統計調査による（9月1日〃）

住宅統計調査の結果

住宅及び住宅以外の建物別住戸数（昭和28年9月1日現在）（総理府統計局調）

総数	住宅					住宅以外の建物
	合計	人の居住している住宅	一時現在者のみの住宅	空屋	建築中の住宅	
個	戸	戸	戸	戸	戸	戸
73,000	72,000	69,000	520	1,400	690	650

備考 1. 本表は住宅統計調査の結果による。
2. 本表の数字は数字の大きさによつて4捨5入した桁が異なるので、個々の数字を合計しても総数に合わない。

住戸の種類別世帯数及び人員

総数	住宅						寄宿舎	下宿屋	非住宅
	合計	専用住宅	農漁併用住宅	商業〃	工業〃	その他の〃			
世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯
87,000	80,000	59,000	2,600	12,000	1,700	4,400	160	50	490
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
327,000	319,000	231,000	12,000	51,000	7,400	17,000	6,500	250	1,500

備考 1. 本表は住宅統計調査の結果による。
2. 本表の数字は数字の大きさによつて4捨5入した桁が異なるので、個々の数字を合計しても総数に合わない。
3. 人の居住している住宅のみである。

所有関係別住宅数

総数	持家			借家			給与住宅
	合計	自己宅地	借地	合計	民営	公営	
戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
69,000	39,000	21,000	17,000	21,000	17,000	4,800	8,200
(3,100)	(1,300)	(460)	(830)	(1,700)	(1,400)	(330)	(40)

備考 1.2.3.は上記に同じ。
4. （ ）内は危険或るいは修理不能の状態にある住宅で内数である。

住戸の種類別室数及び畳数

住戸の種類		1戸当り室数	1戸当り畳数	1人当り畳数
		室	畳	畳
総数		3.1	15.6	3.3
住宅	総数	3.1	15.4	3.3
	専用住宅	3.0	14.9	3.4
	農漁併用住宅	4.4	24.0	4.3
	商業〃	3.0	14.9	3.0
	工業〃	3.1	15.8	3.0
	その他の〃	3.7	18.8	3.5
寄宿舎		16.8	155.8	3.6
下宿屋		4.5	23.9	4.9
非住宅		1.6	10.3	3.0

備考 1.2.は上記に同じ。

市、県営住宅

年度別市営住宅建設状況

（住宅課調）

構造別 / 年度別	総数	木造	鉄筋コンクリートアパート	コンクリートブロック住宅
	戸	戸	戸	戸
総数	**3,978**	**3,422**	**400**	**156**
昭和21年度	528	528	—	—
22	710	700	—	10
23	657	633	24	—
24	1,157	1,109	48	—
25	325	241	72	12
26	221	93	72	56
27	156	56	72	28
28	224	62	112	50

昭和28年度市営住宅建設状況

名称	建設戸数	1戸当り坪数	1戸当り月額家賃	構造
	戸	坪	円	
矢賀町住宅	17	10.5	1,800	木造 6・4・3畳
仁保町（淵崎） 〃	30	10.5	1,800	〃 〃
庚午町 〃	4	10.5	1,800	〃 〃
楠木町 〃	3	10.5	1,800	〃 〃
江波町 〃	8	10.5	1,800	〃 〃
若草町 〃	2	10.5	1,800	〃 〃
南観音町アパート	64	12.0	1・4階 2,700 2・3階 2,800	鉄筋アパート 6・6畳
吉島町 〃	48	12.0	1・4階 2,700 2・3階 2,800	〃 〃
南観音町ブロック住宅	16	12.0	2,300	鉄筋ブロック 6・6畳
吉島町 〃	12	12.0	2,300	〃 〃
舟入幸町 〃	8	12.0	2,300	〃 〃
東観音町 〃	14	12.0	2,300	〃 〃

昭和28年度市営住宅申込状況

構造別	申込件数	入居件数	比率
	件	件	%
木造住宅	1,671	64	3.8
鉄筋アパート及びブロック住宅	643	162	25.2

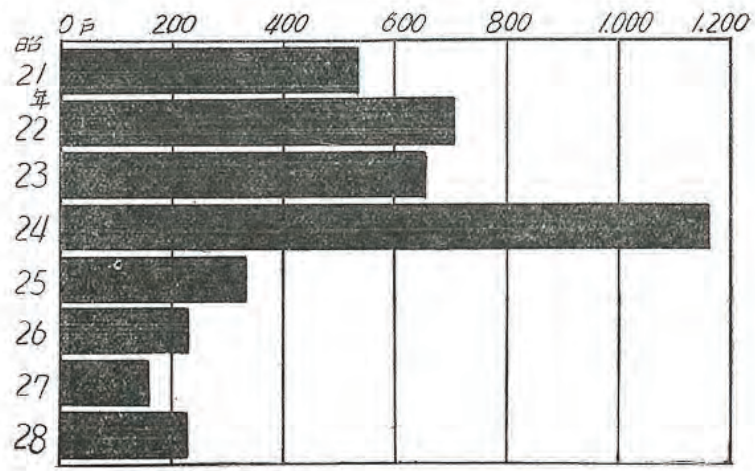
年度別県営住宅建設状況（広島市内のみ）

（県建築課調）

構造別 / 年度別	総数	木造	鉄筋コンクリートアパート	コンクリートブロック住宅
	戸	戸	戸	戸
総数	**481**	**111**	**240**	**130**
昭和23年度	142	50	48	44
24	133	61	48	24
25	80	—	48	32
26	—	—	—	—
27	60	—	60	—
28	66	—	36	30

市営住宅建設状況

（鉄筋・ブロック・木造を含む）



建築物着工状況

昭和28年用途別着工建築物

（原建築課調）

総数		居住専用		居住併用産業		農林水産業用		鉱工業用		商業用		公益事業用		公務文教用		サービス業用	
棟数	床坪	棟数	床坪	棟数	床坪	棟数	床坪	棟数	床坪	棟数	床坪	棟数	床坪	棟数	床坪	棟数	床坪
4,608	133,141	3,050	65,897	801	23,676	63	3,046	297	13,513	157	7,840	28	2,214	127	12,418	85	4,537

備考　1．建築物動態統計調査による。
　　2．調査の対象は延面積10平方米以上の建築物の建築（増・改・移築）である。

昭和28年月別新築住宅

区分＼月別		総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総数	戸数	3,545	278	229	272	251	253	232	208	130	275	508	513	396
	床坪	69,974	5,278	4,808	5,474	5,461	4,813	4,783	4,271	2,510	5,186	9,575	10,119	7,636
	畳数	65,668	5,352	4,435	4,912	4,972	4,726	4,435	4,023	2,559	4,965	9,457	8,529	7,303
（内）持家	戸数	3,043	221	207	209	212	216	228	180	121	221	487	373	368
	床坪	60,329	4,476	4,577	4,286	4,456	4,214	4,628	3,531	2,377	4,258	9,206	7,260	7,060
	畳数	57,532	4,466	4,185	3,994	4,016	4,144	4,323	3,306	2,409	4,083	9,036	6,817	6,753

備考　上記は新築のみで増築等は含まない。

住宅金融公庫業務取扱状況

（建築指導課調）

年度別	完工戸数	貸付金額
	戸	千円
昭和25年度	775	202,081
26	561	156,431
27	661	282,165
28	1,412	461,052

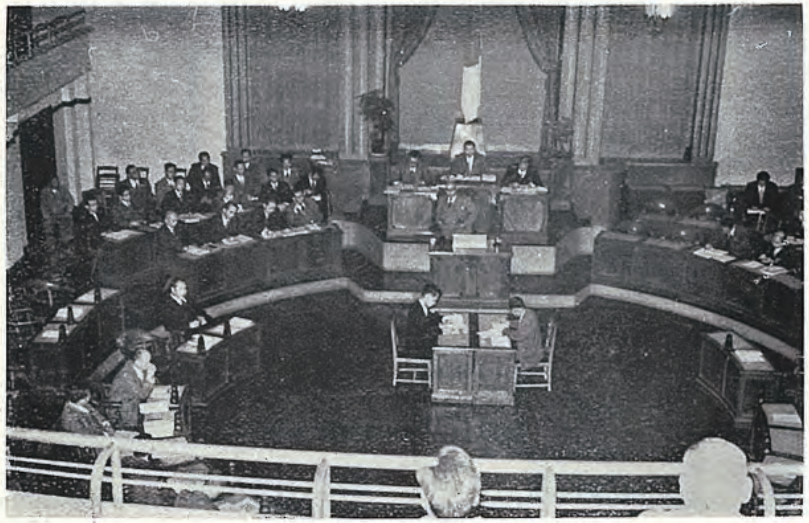
第5編　行　政

助役 坂田修一　市長 浜井信三　助役 高山一三　収入役 台寿治

市庁舎（昭和3年4月落成）

副議長
松谷徳一

議長
真清永池



議事堂

不在投票

市役所草津出張所

市政懇談会

庁　内　執　務　状　況

窓　口　事　務　改　善　打　合　会

行　政　歴　史

江　戸　時　代

徳川幕府の権力統治は、武家政治の安定全盛期を出現し、藩の行政は当時の社会情勢に適応して封建的に確立されていた。浅野氏入封後の町政は、上に東西両町奉行が置かれ、その下に5組の町大年寄があつて、町の行政・司法・警察の事務を分掌していたのであるが、日常の細事は町民の自治に任されていた。更にその下に町年寄・組頭・5人組筆頭があつて、これらの役員が町民の代表者として上下の連絡に当つていた。じ来若干の改変はあつたがこの制度は明治維新に至るまで続いたのである。

明治・大正時代

維新後の新時代に即応し、且つ、きん定憲法に準拠した中央集権下の都市自治制が確立せられ、議会制度が進展し、同時に選挙制度が普通選挙にまで発展した時代である。

主な変革は次のごときものである。

明治11年11月

郡区町村編成法の公布。本市は広島区と称せられ、区長以下吏員を置いた。

明治13年4月8日

区町村会法が公布され、同年7月11日及び12日区会議員選挙を行い42名の区会議員が選出された。

明治21年4月17日

我が国地方制度に一新紀元を画した地方自治制が発布せられ、市町村制が定められた。

明治22年4月1日

わが国の市制施行に伴い、自治体広島市として市制を施行した。ここに本市は一つの法人となつたのである。

明治22年6月12日～17日

市会議員36名の選挙を行い、同月28日市会を開いて市長候補者の選挙を施行し、その最高点者三木達に対し9月4日市長就任の裁可があつた。

明治22年9月21日

市役所が開庁され、市会は議決機関、市参事会（市長・助役・名誉職参事会員より成る。）は執行機関となる。

明治44年

市制改正によつて、従来市政執行機関であつた市参事会は議決機関となり、市長が単一執行機関となつた。

大正10・15年

両度にわたる市制の改正によつて、普通選挙法が発布され納税による市公民権の有無が撤廃された。

昭　和　時　代

新しい市行政機構が体系を整え大平洋戦争末期を除いては、本格的な地方自治制へ発展した時代であり、ことに戦後においては新憲法の公布施行に伴い、徹底した地方分権主義の線に沿う地方制度の画期的改革を経て、完全自治体として発足するに至つた。

昭和4年4月1日
大正時代から懸案の隣接7カ町村の編入が漸行され、また、中島新町にあつた旧庁舎から現在位置の新庁舎に移り、市の行政機構を拡充した。
昭和18年
考査役制度が設けられた。
昭和20年8月6日
原爆により、粟屋仙吉市長以下約300人の職員が殉職した。
昭和20年8月15日
大平洋戦争終結。
昭和21年11月3日
新憲法が公布された。
昭和22年4月5日
最初の市長公選が行われ、浜井信三が初代公選市長に当選した。
昭和22年4月17日
画期的な地方自治法が公布され、同年5月3日から施行された。これより地方自治体の自主自律性が強化され、住民の参政権の範囲が著しく拡大、リコール等の直接参政方式が新たに採用された。
昭和22年5月3日
新憲法が施行された。
昭和23年3月7日
公安委員会・自治体警察及び消防が発足した。
昭和25年2月1日
教育委員会が発足した。
昭和26年9月8日
平和条約・日米安全保障条約が調印された。
昭和27年4月28日
平和条約が発効した。

議決機関

本市の議会を構成する議員の定数は40名で、議員は住民の直接選挙によつて選出されその任期は4年である。

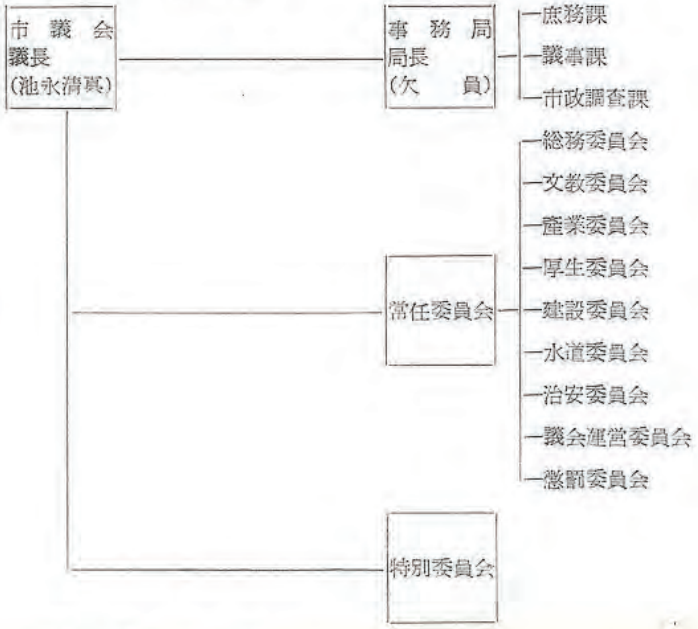
議決機関である市議会は主なる権限として、市政の事務処理に当つてその最高方針を多数決により決定するものであるが、その外に議会の権限として市長或は教育委員会・選挙管理委員会・公安委員会・監査委員等の各委員会または委員に事務報告を請求し、その事務の管理・議決に対する執行状況、或は会計の検査などを行う。

補助機関

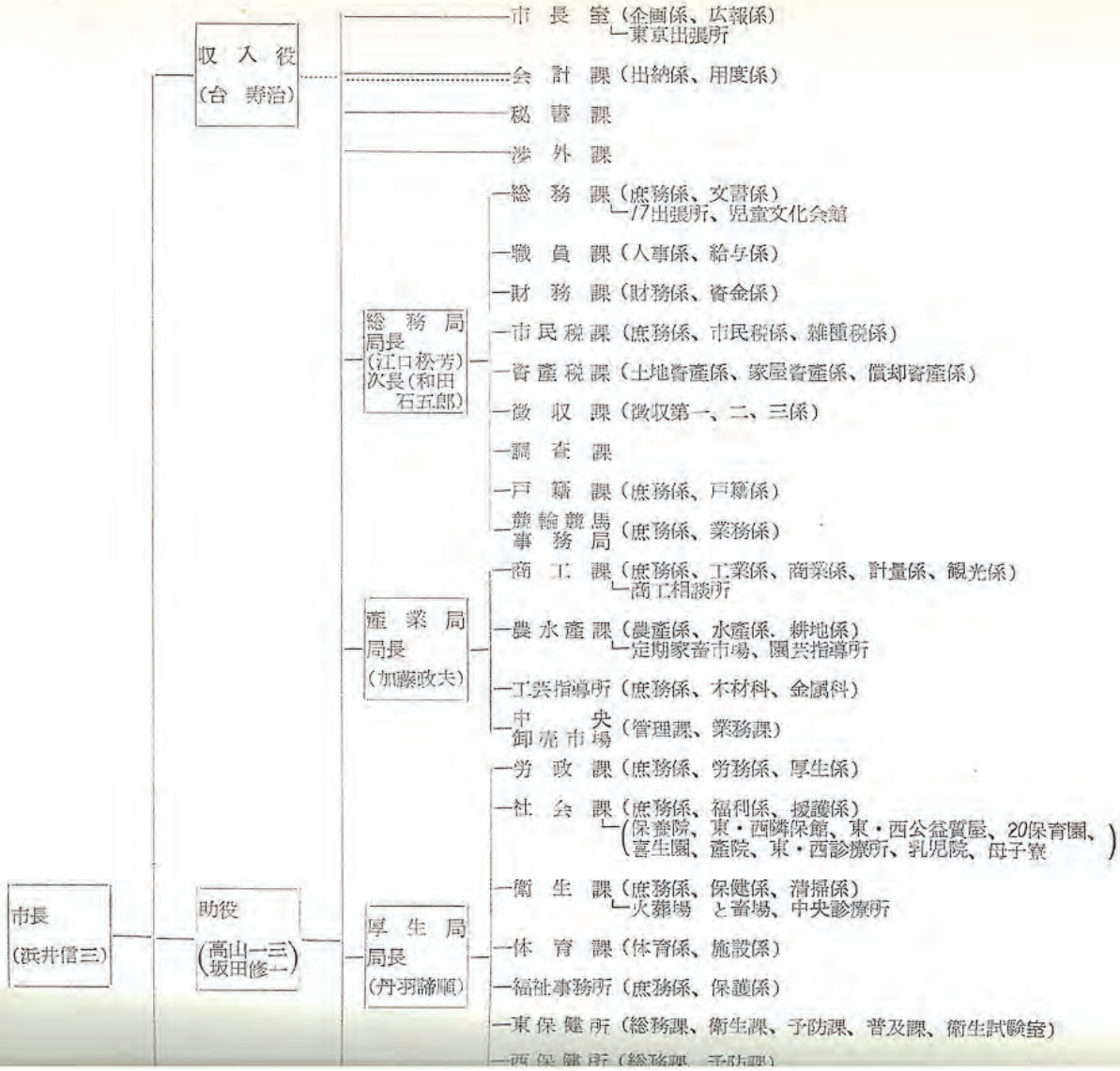
市議会の庶務を掌理するために、市議会の補助機関とし次の機構をもつ事務局が設置さ

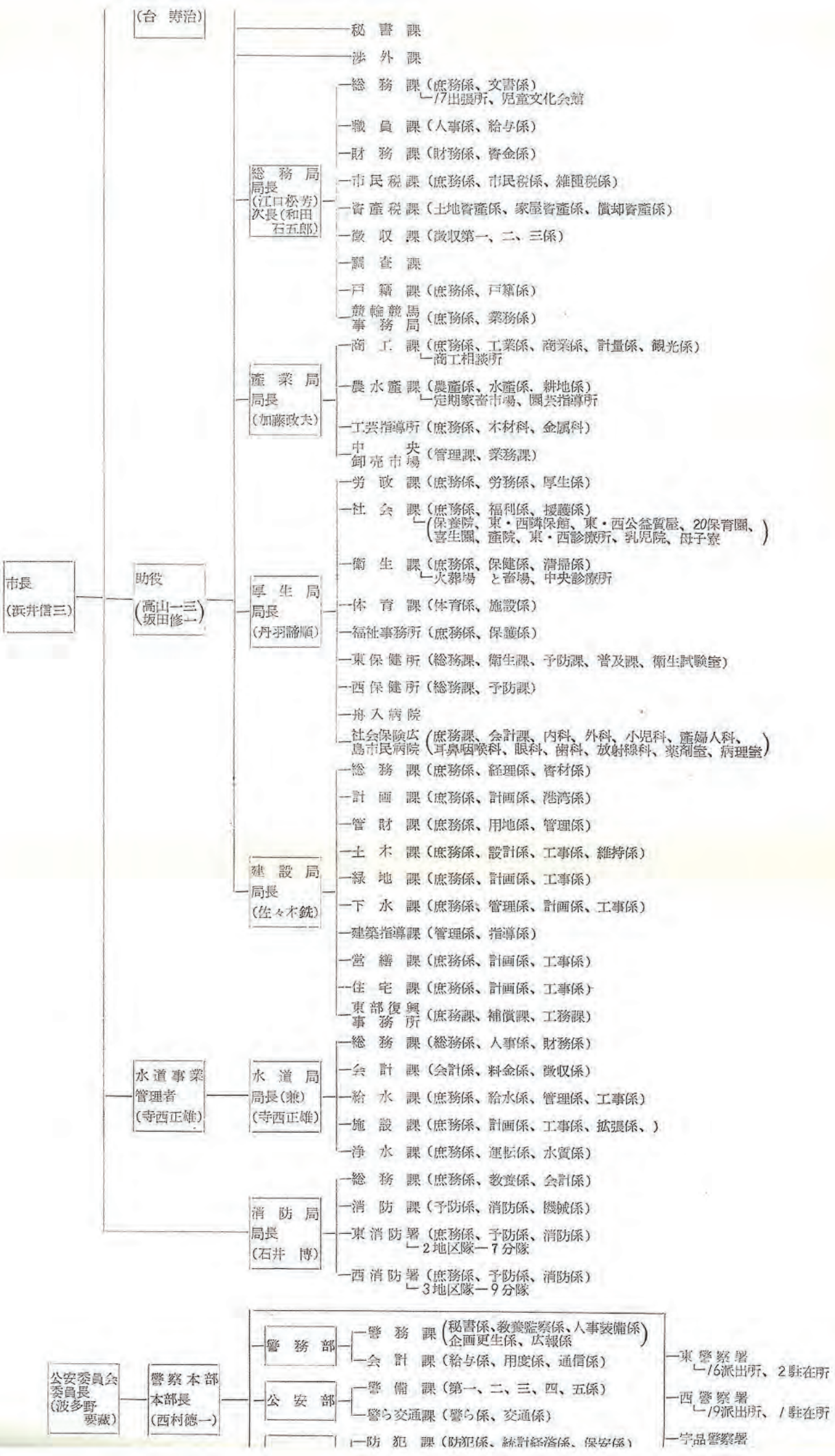
市役所機構一覧表 (昭和28年/2月末日現在)

議決機関



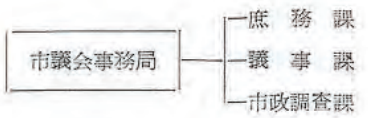
執行機関




市長
(浜井信三)
助役
(高山一三)
(坂田修一)
(台 誉治)
秘書課
渉外課
総務局
局長
(江口松芳)
次長(和田石五郎)
総務課(庶務係、文書係)
└7出張所、児童文化会館
職員課(人事係、給与係)
財務課(財務係、資金係)
市民税課(庶務係、市民税係、雑種税係)
資産税課(土地資産係、家屋資産係、償却資産係)
徴収課(徴収第一、二、三係)
調査課
戸籍課(庶務係、戸籍係)
競輪競馬事務局(庶務係、業務係)
産業局
局長
(加藤政夫)
商工課(庶務係、工業係、商業係、計量係、観光係)
└商工相談所
農水産課(農産係、水産係、耕地係)
└定期家畜市場、園芸指導所
工芸指導所(庶務係、木材科、金属科)
中央卸売市場(管理課、業務課)
厚生局
局長
(丹羽諦順)
労政課(庶務係、労務係、厚生係)
社会課(庶務係、福利係、援護係)
(保養院、東・西隣保館、東・西公益質屋、20保育園、喜生園、産院、東・西診療所、乳児院、母子寮)
衛生課(庶務係、保健係、清掃係)
└火葬場と畜場、中央診療所
体育課(体育係、施設係)
福祉事務所(庶務係、保護係)
東保健所(総務課、衛生課、予防課、普及課、衛生試験室)
西保健所(総務課、予防課)
舟入病院
社会保険広島市民病院(庶務課、会計課、内科、外科、小児科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科、放射線科、薬剤室、病理室)
建設局
局長
(佐々木銑)
総務課(庶務係、経理係、資材係)
計画課(庶務係、計画係、港湾係)
管財課(庶務係、用地係、管理係)
土木課(庶務係、設計係、工事係、維持係)
緑地課(庶務係、計画係、工事係)
下水課(庶務係、管理係、計画係、工事係)
建築指導課(管理係、指導係)
営繕課(庶務係、計画係、工事係)
住宅課(庶務係、計画係、工事係)
東部復興事務所(庶務課、補償課、工務課)
水道事業管理者
(寺西正雄)
水道局
局長(兼)
(寺西正雄)
総務課(総務係、人事係、財務係)
会計課(会計係、料金係、徴収係)
給水課(庶務係、給水係、管理係、工事係)
施設課(庶務係、計画係、工事係、拡張係、)
浄水課(庶務係、運転係、水質係)
消防局
局長
(石井博)
総務課(庶務係、教養係、会計係)
消防課(予防係、消防係、機械係)
東消防署(庶務係、予防係、消防係)
└2地区隊—7分隊
西消防署(庶務係、予防係、消防係)
└3地区隊—9分隊
公安委員会
委員長
(波多野要蔵)
警察本部
本部長
(西村徳一)
警務部
警務課(秘書係、教養監察係、人事装備係、企画更生係、広報係)
会計課(給与係、用度係、通信係)
公安部
警備課(第一、二、三、四、五係)
警ら交通課(警ら係、交通係)
防犯課(防犯係、統計経済係、保安係)
東警察署
└16派出所、2駐在所
西警察署
└9派出所、1駐在所
宇品警察署

建設局
局長
(佐々木銑)
管財課（庶務係、用地係、管理係）
土木課（庶務係、設計係、工事係、維持係）
緑地課（庶務係、計画係、工事係）
下水課（庶務係、管理係、計画係、工事係）
建築指導課（管理係、指導係）
営繕課（庶務係、計画係、工事係）
住宅課（庶務係、計画係、工事係）
東部復興事務所（庶務課、補償課、工務課）
水道事業管理者
(寺西正雄)
水道局
局長(兼)
(寺西正雄)
総務課（総務係、人事係、財務係）
会計課（会計係、料金係、徴収係）
給水課（庶務係、給水係、管理係、工事係）
施設課（庶務係、計画係、工事係、拡張係、）
浄水課（庶務係、運転係、水質係）
消防局
局長
(石井博)
総務課（庶務係、教養係、会計係）
消防課（予防係、消防係、機械係）
東消防署（庶務係、予防係、消防係）
2地区隊—7分隊
西消防署（庶務係、予防係、消防係）
3地区隊—9分隊
公安委員会
委員長
(波多野要蔵)
警察本部
本部長
(西村徳一)
警務部
警務課（秘書係、教養監察係、人事装備係、企画更生係、広報係）
会計課（給与係、用度係、通信係）
公安部
警備課（第一、二、三、四、五係）
警ら交通課（警ら係、交通係）
刑事部
防犯課（防犯係、統計経済係、保安係）
捜査課（捜査係、特別捜査係、鑑識係）
東警察署
16派出所、2駐在所
西警察署
19派出所、1駐在所
宇品警察署
5派出所、3駐在所
教育委員会
委員長
(吉中良雄)
事務局
教育長
(宮川造六)
総務課（庶務係、経理係、調査統計係、学事係）
指導課（指導係、保健教育係）
施設課（施設係、用度係）
社会教育課（成人教育係、文化係、青少年係）
市立学校（小学校34校、中学校14校、高等学校3校）
中央公民館
浅野図書館
児童図書館
選挙管理委員会
委員長
(平井憲太郎)
事務局
局長(兼)
(平井憲太郎)
庶務課（庶務係、経理係）
選挙課（東、中、西部調査係）
監査委員
事務局
局長
(佐野時良)
第一、二監査係
公平委員会
委員長
(田坂成三)
事務局
農業委員会
委員長
(前理一)
固定資産評価審査委員会
委員長
(荒谷輝雄)

れ、事務局長以下21名の職員を配している。



歴代市議会議長

（市会事務局調）

年代	氏名	就任年月日	退任年月日	年代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	三木達	明治22.6	明治22.8	21	松坂義正	昭和8.6.13	昭和11.12.24
2	渡辺又三郎	22.9	23.10	22	松坂義正	11.12.24	12.5.31
3	桐原恒三郎	23.10	28.6	23	森保祐昌	12.6.11	15.3.12
4	岡謙蔵	29.1	30.1	24	安井藤造	15.3.20	15.11.28
5	桐原恒三郎	30.1	35.12	25	勝盛達之助	16.2.10	17.5
6	尾形武三郎	36.1	36.12	26	小畑良助	17.6	19.9.22
7	山本三郎	37.1	37.5	27	島薫	20.3.5	20.5.19
8	岡崎仁三郎	37.6	38.12	28	山本久雄	20.6.29	21.4.9
9	森川脩蔵	39.1	39.12	29	池永清真	21.5.30	21.6.11
10	山本三郎	40.1	42.12	30	砂原格	21.7.3	22.4.29
11	森川脩蔵	43.1	43.5	31	寺田豊	22.5.30	23.8.18
12	早速整爾	43.6	44.12	32	伊藤忠雄	23.8.18	23.11.25
13	横山金太郎	45.1	大正2.5	33	任都栗一興	23.11.25	24.2.2
14	富島鴨夫	大正2.6	6.5	34	任都栗一興	24.2.2	25.2.7
15	山県斉高	6.6	10.5	35	川本錆一	5.2.7	25.6.7
16	植田寿作	10.8	12.10	36	砂原格	25.6.17	26.4.6
17	岡田才助	12.11	14.5	37	秋田正之	26.5.23	27.4.8
18	森保祐昌	14.6	昭和4.5	38	永田百太郎	27.4.8	28.7.8
19	加藤俊夫	昭和4.8	6.7	39	池永清真	28.7.8	現在
20	西村栄蔵	6.7	8.5				

市議会議員名簿（現在員38名、欠員２名）

議席	氏名	住所	職業	所属党派	年令
2	大横田 義雄	東白島町205	—	自由党	64
3	三宅 峯吉	仁保町字新築地甲124	水産業会監事	市政同志会	57
5	村田 良一	尾長町266—2	木調車製造業	〃	63
6	津賀 春一	舟入川口町458—2	会社社長	水曜会	51
7	木村 智	八丁堀16	旅館業	市政同志会	43
8	綱本 芳人	京橋町93	薬剤士協会長	〃	47
9	吉中 良雄	皆実町３丁目1,011—5	会社社長	〃	49
10	田中 睦三	西観音町２丁目511—2	—	第１水曜会	50
11	八百 千頭夫	若草町977	製粉業	〃	44
12	中邑 元	西観音町２丁目317—1	会社重役	無所属	69
13	谷本 正則	仁保町字伏越52—2	海産物商	第１控室	33
14	鈴木 貢	段原末広町174	会社社長	〃	54
15	増村 明一	草津浜町1,995	会社社長	新進クラブ	40
16	吉本 寿一	三篠本町４丁目2,301—1	農業	〃	60
17	岩井 常吉	南三篠町1,251	製靴商	革政クラブ	49
18	中下 勝	舟入川口町市営住宅29号	工員	第１控室	34
19	猪原 光夫	段原大畑町107—20	酒類販売業	市政同志会	49
20	杉村 政太郎	旭町1,668—5	会社支店長	〃	59
○21	松谷 徳市	江波町1,007	会社社長	〃	50
22	浅尾 義光	江波町731	組合理事	〃	43
23	堀江 守	西新町105	会社重役	〃	47
24	木山 正二	翠町1,620—1	会社役員	〃	53
25	縫部 敬蔵	仁保町字柞木672	漁業	革政クラブ	44
26	檜垣 満	己斐町2,539—8	飲食業	市政同志会	50
27	木野藤 雄	宇品町229	会社重役	〃	48
28	永田 百太郎	吉島本町413	会社社長	〃	52
29	内藤 徳松	天満町６	畳製造業	〃	57
30	秋田 正之	稲荷町29	会社重役	第１水曜会	58
31	浜田 一実	宇品町４—５	土建請負業	第１水曜会	49
32	新開 貞夫	江波町554	水産業	第１控室	51
◎33	池永 清真	宇品町417	会社役員	〃	50
34	山田 辰実	白島中町４	会社重役	〃	51
35	田頭 新太郎	東観音町２丁目210	農業	新進クラブ	58
36	伊藤 忠雄	己斐町84—3	会社社長	〃	51
37	中野 博美	仁保町字菖蒲崎171	農業	〃	50
38	宮本 正夫	千田町３丁目901—3	—	〃	43
39	波多野 秀男	大洲町311—1	会社社長	革政クラブ	41
40	土岡 喜代一	下流川町44	布靴製造業	第１控室	55

備考　◎＝議長　○＝副議長

菊崎正行氏は昭和27年12月25日死亡

任都栗一興氏は昭和28年３月20日衆議院議員立候補のため辞任

所属党派別議員数

総数	市政同志会	第１控室	新進クラブ	第１水曜会	革政クラブ	自由党	水曜会	無所属
38	15	7	6	4	3	1	1	1

市議会開催状況

会議名	会期日数	提出議案			選任	選挙	発議	諮問	その他
		原安可決	修正可決	撤回					
	日	件	件	件	件	件	件	件	件
合計	86	174	1	2	6	5	10	3	5
3月定例	29	75	1	—	—	1	1	—	1
5月〃	22	18	—	—	1	—	2	1	1
7月臨時	10	2	—	—	2	4	1	—	—
8月定例	1	13	—	—	1	—	2	—	2
9月臨時	5	25	—	2	1	—	2	1	—
11月定例	19	41	—	—	1	—	2	1	1

請願陳情調（昭和28年受付分）

委員会	請願件数	処理 採択	処理 審議中	処理 打切	陳情件数
	件	件	件	件	件
合計	15	6	8	1	62
総務	—	—	—	—	5
文教	7	3	4	—	13
産業	—	—	—	—	8
厚生	2	2	—	—	9
建設	6	1	4	1	23
水道	—	—	—	—	3
治安	—	—	—	—	1

常任委員会開催状況

委員会	委員長	副委員長	委員	開催日数
			人	日
総務	綱本芳人	木山正二	7	15
文教	津賀春一	堀江守	7	14
産業	土岡喜代一	中下勝	9	6
厚生	新関貞夫	岩井常吉	7	11
建設	八百千頭夫	谷本正則	9	14
水道	伊藤忠雄	山田辰実	7	6
治安	村田良一	内藤徳松	7	11
懲罰	木村智	縫部敬蔵	5	—

執行機関

執行機関は、市の条例・予算・その他議決機関の議決した事務及び諸法令規則等に基いて、国或は県の事務を管理執行する機関である。市には一般的執行機関としての市長の外に、特別執行機関として教育委員会・公安委員会・選挙管理委員会・監査委員・農業委員会・公平委員会・固定資産評価審査委員会が置かれている。

広島市長は、広島市を統轄し広島市を代表するもので、住民の選挙によつて選出され任期は4年である。

なお、市長の補助機関として、助役・収入役が置かれその下に別表の機構により、それぞれの権限に属する事務を分掌し、市政の適正円滑なる運営に当つている。

歴代市長

年代	氏名	就任年月日	退任年月日	年代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	三木達	明.22.8.29	明.22.11.28	12	田部正壮	大.6.10.8	大.10.10.7
2	伴資健	22.11.28	28.11.27	13	佐藤信安	11.4.17	14.1.21
3	佐藤正	29.1.10	29.4.20	14	川淵龍起	14.8.24	昭.4.8.23
4	伴資健	29.4.30	35.4.29	15	伊藤貞次	昭.5.5.16	9.5.15
5	伴資健	35.4.30	39.8.30	16	横山金太郎	10.2.26	14.2.25
6	高東康一	39.8.31	42.4.24	17	藤田若水	14.12.26	18.5.9
7	小田貫一	42.5.17	42.7.22	18	粟屋仙吉	18.7.10	20.8.6
8	渡辺又三郎	42.9.9	43.7.3	19	木原七郎	20.10.22	22.3.22
9	長屋謙二	43.9.28	大.2.2.16	20	浜井信三	22.4.17	26.3.31
10	豊島要蔵	大.3.1.29	3.4.2	21	浜井信三	26.4.25	現在
11	吉村平造	4.1.22	5.12.25				

備考　明.28.11.27～明.29.1.10の間市参事会員奥本数奇男市長代理として就任した。

職員配置（市長の事務部局）

（職員課調）

局課かい名 ＼ 職名	事務吏員 理事	主事	社会福祉主事	書記	衛生監督	衛生巡視	計	技術吏員 理事	技師	技手	計	雇員 事務員	技術員	現業員	計	合計	嘱託
総数	7	126	33	302	3	7	478	5	79	118	202	363	244	176	783	1,463	22
市長室	—	4	—	5	—	—	9	—	—	—	—	2	—	—	2	11	1
東京出張所	—	—	—	2	—	—	2	—	—	—	—	1	—	—	1	3	1
会計課	—	3	—	13	—	—	16	—	—	2	2	13	5	—	18	36	—
秘書課	1	—	—	3	—	—	4	—	—	—	—	1	1	—	2	6	—
渉外課	—	1	—	2	—	—	3	—	—	—	—	3	—	—	3	6	2
計	1	8	—	25	—	—	34	—	—	2	2	20	6	—	26	62	4

総務局	局長	1	-	—	-	-	-	1	-	-	-	—	-	-	-	—	1	-				
	総務課	-	3	—	7	-	-	10	-	-	2	2	12	21	14	47	59	2				
	児童文化会館	-	1	—	1	-	-	2	-	-	-	—	-	-	-	—	2	-				
	職員課	-	4	—	8	-	-	12	-	-	-	—	4	-	-	4	16	-				
	財務課	-	3	—	7	-	-	10	-	-	-	—	1	-	-	1	11	-				
	市民税課	1	4	—	21	-	-	26	-	-	-	—	13	-	-	13	39	-				
	資産税課	-	4	—	23	-	-	27	-	-	-	—	20	-	-	20	47	-				
	徴収課	-	5	—	19	-	-	24	-	-	-	—	13	-	-	13	37	-				
	調査課	-	2	—	7	-	-	9	-	-	-	—	6	-	-	6	15	-				
	戸籍課	-	4	—	6	-	-	10	-	-	-	—	23	-	-	23	33	-				
	競輪競馬事務局	-	4	—	4	-	-	8	-	-	-	—	3	-	-	3	11	-				
	出張所合計	-	18	—	49	-	-	67	-	-	-	—	69	-	34	103	170	-				
	計	2	52	—	152	-	-	206	-	-	2	2	164	21	48	233	441	2				
産業局	局長	1	-	—	-	-	-	1	-	-	-	—	-	-	-	—	1	-				
	商工課	-	5	—	11	-	-	16	-	1	1	2	5	1	-	6	24	2				
	工芸指導所	1	-	—	-	-	-	1	-	3	6	9	-	-	-	—	10	-				
	農水産課	-	2	—	2	-	-	4	-	2	6	8	9	4	-	13	25	1				
	園芸指導所	-	-	—	-	-	-	—	-	1	2	3	-	1	1	2	5	-				
	家畜市場	-	1	—	1	-	-	2	-	-	1	1	-	-	3	3	6	-				
	中央卸売市場 管理課	-	2	—	5	-	-	7	-	1	1	2	8	5	-	13	22	-				
	中央卸売市場 業務計	-	-	—	2	-	-	2	-	1	1	2	3	-	-	3	7	-				
	計	2	10	—	21	-	-	33	-	9	18	27	25	11	4	40	100	3				
厚生局	局長	1	-	—	-	-	-	1	-	-	-	—	-	-	-	—	1	-				
	福祉事務所	-	4	33	9	-	-	46	-	-	-	—	10	-	-	10	56	-				
	労政課	-	4	—	6	-	-	10	-	-	-	—	6	2	-	8	18	-				
	社会課	-	4	—	6	-	-	10	-	-	-	—	8	-	-	8	18	-				
	保養院	-	1	—	-	-	-	1	-	1	-	1	1	7	4	12	14	-				
	保育園	-	-	—	-	-	-	—	-	-	-	—	62	2	-	64	64	1				
	産院	-	-	—	-	-	-	—	-	1	-	1	1	9	2	12	13	-				
	乳児院	-	-	—	-	-	-	—	-	-	1	1	1	4	2	7	8	-				
	東隣保館	-	-	—	-	-	-	—	-	-	-	—	4	-	-	4	4	1				

厚生局	西隣保館	-	-	—	-	-	-	—	-	-	-	—	4	-	-	4	4	-				
	東公益質屋	-	-	—	-	-	-	—	-	-	-	—	1	-	-	1	1	-				
	西公益質屋	-	-	—	-	-	-	—	-	-	-	—	1	-	-	1	1	-				
	喜生園	-	1	—	1	-	-	2	-	-	-	—	-	1	2	3	5	-				
	東診療所	-	-	—	-	-	-	—	-	1	-	1	-	2	-	2	3	-				
	西診療所	-	-	—	-	-	-	—	-	1	-	1	-	2	-	2	3	-				
	母子療	-	-	—	-	-	-	—	-	-	-	—	3	-	-	3	3	-				
	戦災児育成所	-	1	—	2	-	-	3	-	-	-	—	-	1	-	1	4	3				
	身体障害者厚生援護所	-	-	—	-	-	-	—	-	-	-	—	-	-	1	1	1	2				
	衛生課	1	2	—	8	3	7	21	-	-	-	—	5	31	50	86	107	-				
	保健所 総務課	-	3	—	4	-	-	7	1	2	-	3	2	4	2	8	18	1				
	保健所 衛生課	-	-	—	3	-	-	3	-	3	8	11	1	-	5	6	20	-				
	保健所 予防課	-	3	—	2	-	-	5	-	3	4	7	5	8	-	13	25	-				
	保健所 普及課	-	2	—	4	-	-	6	-	1	1	2	-	8	-	8	16	-				
	保健所 衛生試験室	-	-	—	-	-	-	—	-	3	-	3	-	1	1	2	5	-				
	保健所 西保健所	-	3	—	9	-	-	12	-	1	4	5	5	9	4	18	35	-				
	社会保険病院	-	5	—	3	-	-	8	1	17	7	25	8	47	8	63	96	2				
	舟入病院	-	2	—	-	-	-	2	1	6	1	8	3	11	5	19	29	-				
	中央診療所	-	-	—	-	-	-	—	-	-	-	—	1	1	-	2	2	-				
	と畜場	-	1	—	1	-	-	2	-	-	-	—	-	9	3	12	14	-				
	体育課	-	2	—	1	-	-	3	-	-	-	—	2	-	2	4	7	-				
	計	2	38	33	59	3	7	142	3	40	26	69	134	159	91	384	595	10				
建設局	局長	-	-	—	-	-	-	—	1	-	-	1	-	-	-	—	1	-				
	総務課	-	3	—	7	-	-	10	-	-	1	1	1	2	-	3	14	1				
	計画課	-	-	—	3	-	-	3	-	4	5	9	1	2	1	4	16	2				
	管財課	-	4	—	7	-	-	11	-	-	-	—	3	-	-	3	14	-				
	緑地課	-	1	—	2	-	-	3	-	3	5	8	-	1	3	4	15	-				
	土木課	-	1	—	3	-	-	4	-	3	10	13	-	3	10	13	30	-				
	下水課	-	1	—	4	-	-	5	-	4	9	13	1	20	16	37	55	-				
	建設指導課	-	1	—	3	-	-	4	-	3	5	8	1	-	-	1	13	-				
	住宅課	-	2	—	3	-	-	5	-	3	6	9	-	1	-	1	15	-				

局	東部復興事務所	営繕課	−	1	—	2	−	−	3	−	4	11	15	1	6	1	8	26	−
		庶務課	−	3	—	4	−	−	7	1	−	−	1	6	3	−	9	17	−
		補償課	−	1	—	6	−	−	7	−	2	2	4	3	2	1	6	17	−
		工務課	−	−	—	1	−	−	1	−	4	16	20	3	7	1	11	32	−
		計	−	18	—	45	−	−	63	2	30	70	102	20	47	33	100	265	3

職員の定数

区別 / 事務部局別	吏員	警察吏員	消防吏員	吏員相当職員	その他の職員	計
総数	1,109	578	295	129	1,149	3,260
市長	1,009	—	—	—	448	1,457
水道局	100	—	—	—	300	400
議会	—	—	—	17	11	28
選挙管理委員会	—	—	—	31	17	48
監査委員	—	—	—	5	3	8
警察	—	578	—	12	58	648
消防	—	—	295	2	10	307
常勤の消防団員	—	—	—	—	4	4
農業委員会	—	—	—	5	—	5
教育委員会	—	—	—	36	25	61
教育委員会に属する学校及びその他の教育機関	—	—	—	19	272	291
公平委員会	—	—	—	2	1	3

条例及び規則の制定件数（昭和28年中）

（総務課調）

条例			規則		
制定	一部改正	条例廃止	制定	一部改正	規則廃止
24件	36件	2件	36件	57件	3件

備考　規則は市長の事務部局関係のみである。

新制定の条例（昭和28年中）

名称	制定月日	摘要
広島市戦災児育成所条例	1・1	
広島市の公務員に対する臨時特別手当の支給に関する条例	3・18	
母子住宅条例	3・23	
広島市定期家畜市場条例	3・23	全部改正
広島市優生保護相談所条例	3・28	
広島市道路占用料徴収条例	4・1	
広島市教育長の給与等に関する条例	4・1	
広島市児童図書館条例	4・1	全部改正
広島市道路交通取締条例	4・1	
広島市公営企業の「業務状況」の作成提出及び公表に関する条例	4・1	
広島市家畜人工授精料条例	6・20	
昭和28年度における広島市の公務員に対する期末手当の支給の特例に関する条例	8・12	
広島市議会事務局設置条例	8・13	
市長の附属機関の設置に関する条例	8・18	
審査会・審議会及び調査会等の委員その他の構成員に対する報酬及び費用弁償条例	8・18	
広島市東部復興土地区画整理委員会委員の報酬及び費用弁償条例	8・18	
広島市港湾施設使用条例	10・1	全部改正
保健所の名称位置及び所管区域に関する条例の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	12・22	
広島市と畜場条例	12・23	
広島市と畜場使用料条例	12・23	全部改正
保健所の名称位置及び所管区域に関する条例	12・23	
広島市保健所運営協議会条例	12・23	
地方自治法第180条第1項の規定による市長の専決処分事項に関する条例	12・23	
職員の退職手当に関する条例	12・23	全部改正

選挙管理委員会

従来市長の権限に属していた選挙事務は、市長の公選制度の制定により、またあらゆる干渉等から避けて民主的かつ公正なる選挙事務の運営を図る目的のために、各地方公共団体に選挙管理委員会が設置された。

委員会を構成する委員は、市議会において選挙権を有するものの内から3名が選挙により選出されることになつており、現在広島市選挙管理委員会は次の3氏により構成され、選挙事務の執行管理に当つている。なお、補助機関として事務局が置かれ職員51名を配している。

昭和28年中には衆議院議員並びに参議院議員の選挙が執行された。またこの選挙を契機として「広島市公明選挙推進協議会」が、市関係はもちろん婦人団体・青年団体或はP・T・A連合会等各界を網羅して発足し、各種催しもの等を開いて大いに宣伝活動に努めた。

委員長　平井憲太郎
委　員　吉田正之
委　員　佐々木亮

機　構

選挙管理委員会 ― 選挙管理委員会事務局 ―┬― 庶務課（庶務係・経理係）
　　└― 選挙課（東・中・西部調査係）

基本選挙人名簿登録者数

（選挙管理委員会調）

投票区＼性別	登録者数 計	男	女	投票区＼性別	登録者数 計	男	女
	人	人	人		人	人	人
総数	176,042	83,859	92,183	仁保	1,982	952	1,030
東部開票区	52,881	25,120	27,761	淵崎	2,141	984	1,157
矢賀	1,413	699	714	楠那	1,687	754	933
尾長	3,522	1,694	1,828	大河	5,043	2,483	2,560
愛宕	3,019	1,406	1,613	段原第一	5,258	2,514	2,744
二葉	2,803	1,340	1,463	〃第二	3,623	1,711	1,912
荒神	4,155	1,980	2,175	〃第三	3,669	1,689	1,980
大洲	3,218	1,617	1,601	牛田	5,624	2,651	2,973
青崎	3,291	1,599	1,692				
向洋	2,433	1,047	1,386				

投票区＼性別	登録者数 計	男	女	投票区＼性別	登録者数 計	男	女
	人	人	人		人	人	人
中部開票区	63,693	30,359	33,334	西部開票区	59,468	28,380	31,088
白島	3,767	1,803	1,964	広瀬	2,520	1,233	1,287
幟町	3,026	1,464	1,562	本川	2,874	1,399	1,475
堀川	3,653	1,524	2,129	神崎	3,787	1,726	2,061
竹屋	4,390	1,988	2,402	舟入	3,770	1,810	1,960
皆実	5,027	2,412	2,615	江波	5,023	2,467	2,556
翠町	4,913	2,379	2,534	天満	3,184	1,568	1,616
元宇品	806	387	419	観音	4,282	2,078	2,204
宇品第一	2,837	1,367	1,470	南観音第一	2,505	1,209	1,296
〃第二	5,637	2,754	2,883	〃第二	3,644	1,826	1,818
〃第三	5,077	2,517	2,560	福島	2,913	1,360	1,553
似島	1,307	652	655	大芝	5,586	2,661	2,925
基町	6,144	2,845	3,299	三篠	4,061	1,939	2,122
袋町	3,712	1,748	1,964	己斐第一	3,519	1,631	1,888
大手	2,607	1,190	1,417	〃第二	2,234	1,007	1,227
千田	5,086	2,548	2,538	高須	2,249	1,041	1,208
中島	1,648	802	846	古田	1,342	637	705
吉島	4,056	1,979	2,077	庚午	1,523	747	776
				草津	4,452	2,041	2,411

備考　昭和28年12月20日確定

農業委員会委員選挙人名簿登録者数

投票区＼性別	登録者数 計	男	女	投票区＼性別	登録者数 計	男	女
	人	人	人		人	人	人
総数	6,692	3,140	3,552	中央	73	40	33
尾長	836	402	434	江波	292	139	153
青崎	267	123	144	観音	456	226	230
仁保	942	440	502	三篠	565	255	310
牛田	378	183	195	己斐	978	454	524
翠町	415	197	218	古田	679	318	361
似島	486	205	281	草津	325	158	167

備考　昭和28年3月5日確定

安芸海区漁業調整委員会委員選挙人名簿登録者数

投票区＼性別	登録者数 計	男	女	投票区＼性別	登録者数 計	男	女
	人	人	人		人	人	人
総数	3,646	1,761	1,885	似島	110	52	58
向洋	217	95	122	江波	669	296	373
仁保	1,291	552	739	草津	565	306	259
楠那	536	265	271	中央	110	91	19
宇品	148	104	44				

備考　昭和28年12月20日確定

昭和28年における選挙の実施状況

執行月日	種類	選挙当日の有権者数 計	男	女	投票者数 計	男	女	投票率 計	男	女
		人	人	人	人	人	人	%	%	%
4・19	衆議院議員	179,169	86,173	92,996	111,297	56,569	54,728	62.12	65.65	58.85
4・24	参議院議員地方区（全国区）	179,109	86,132	92,977	98,927 (98,924)	50,359 (50,357)	48,568 (48,567)	55.23	58.47	52.24

党派別得票数

党派別＼選挙別	衆議院議員 立候補者数	得票数	参議院議員(地方区) 立候補者数	得票数
	人	票	人	票
総数	6	110,552	5	95,762
自由党	3	52,787	3	45,559
改進党	1	21,894	—	—
社会党	1	30,372	1	36,093
共産党	—	—	—	—
無所属	1	5,499	1	14,110

備考　昭和28年4月19日・4月24日執行

広島県市郡別衆議院議員選挙有権者数及び投票率(広島県選挙管理委員会調)

市郡別	有権者数	投票者数 男	女	投票率(%) 男	女	党派別得票率(%) (吉田派)自由党	〃(鳩山派)	改進党	(左派)社会党	〃(右派)	共産党	その他
総数または平均	1,203,793	452,229	471,409	79.5	74.3	55.0	9.3	12.4	8.2	12.6	0.5	2.0
市計	410,168	139,639	143,022	72.1	66.1	53.2	3.8	11.3	9.8	19.0	0.6	2.3
広島市	179,169	56,569	54,728	65.6	58.8	47.7	—	19.8	—	27.5	—	5.0
呉市	117,475	41,500	44,823	75.2	72.0	58.4	7.4	—	13.2	19.0	2.0	—
三原市	35,870	13,456	13,942	80.7	73.1	54.1	1.3	6.9	24.2	12.7	—	0.8
尾道市	36,634	12,648	13,129	75.8	65.8	60.6	6.2	7.5	20.7	2.2	—	2.8
福山市	41,020	15,466	16,400	82.3	73.3	51.2	7.2	19.6	13.6	8.3	—	0.1
郡計	793,625	312,590	328,387	83.3	78.5	55.7	11.8	12.9	7.6	9.8	0.4	1.8
安芸郡	93,119	33,731	36,882	77.0	74.8	52.5	20.6	—	8.8	16.3	1.8	—
佐伯郡	86,297	33,718	35,177	81.4	78.4	67.0	—	13.9	—	17.8	—	1.3
安佐郡	45,815	17,824	19,124	82.4	79.1	53.8	—	23.0	—	21.0	—	2.2
山県郡	34,739	14,462	14,684	85.7	82.2	64.2	—	10.7	—	23.5	—	1.6
高田郡	41,120	15,837	15,624	80.7	72.7	53.9	—	21.1	—	22.5	—	2.5
賀茂郡	69,822	27,844	29,849	84.2	81.2	62.7	23.8	—	4.2	8.0	1.3	—
豊田郡	74,494	28,800	32,758	82.9	82.4	53.5	34.9	—	2.6	7.7	1.3	—
御調郡	59,069	23,630	24,568	84.7	78.8	39.3	4.7	9.9	26.2	4.3	—	15.6
世羅郡	25,850	10,852	10,046	86.8	75.2	58.5	9.3	11.6	19.0	0.8	—	0.8
沼隈郡	62,311	23,161	25,274	80.2	75.6	59.0	11.5	12.0	10.9	5.3	—	1.3
深安郡	34,587	14,214	14,564	87.4	79.5	36.5	36.0	11.5	9.2	6.7	—	0.1
芦品郡	47,095	19,231	20,256	87.8	80.4	25.7	5.9	57.0	9.8	1.4	—	0.2
神石郡	18,104	7,447	6,744	84.1	73.0	60.5	11.2	15.8	9.6	2.4	—	0.5
甲奴郡	12,182	5,023	5,019	87.3	78.1	64.1	5.5	19.0	10.0	1.0	—	0.4
双三郡	43,325	18,065	19,229	88.7	83.8	68.7	0.9	20.5	9.3	0.5	—	0.1
比婆郡	45,696	18,751	18,589	86.1	77.5	75.9	1.4	11.0	10.5	1.0	—	0.2

備考　昭和28年4月19日執行

監 査 委 員

監査委員は、自治行政に伴いがちな諸種の欠陥を除去し、行政事務の公正と効率的な運営を保障するために、戦後新しく独立した地位と権限をもつて設けられた機関であつて、本市においては必置機関である。

委員は、市長が市議会の同意を得て、市議会を代表する議員及び学識経験者各々2名が選任される。なお、補助機関として事務局（定員9名）が置かれている。

委　員　三宅峯吉（市議会議員）
委　員　鈴木　　貫（市議会議員）
委　員　上原三衛（学識経験者）
委　員　欠　　員（学識経験者）

監査委員機構

事務取扱件数（昭和28年）

定期監査	随時監査	例月出納検査			臨時出納検査			決算審査			市金庫
		一般特別会計	水道事業会計	計	一般特別会計	水道事業会計	計	一般特別会計	水道事業会計	計	検査立会
件	件	件	件		件	件		件	件		件
33	2	12	12		2	2		1	2		2

公平委員会

職員の給与・勤務時間及びその他の勤務条件に関する措置要求の審査・判定及び職員に対する不利益な処分を審査し、必要な措置を執るために設置された広島市公平委員会は、3人の委員をもつて組織し、委員は市議会の同意を得て市長が選任する。

なお、本年中の事務処理として、7月13日職員の不利益処分に対する審査請求事件について判定をなした。

委員長　田坂戒三（弁護士）
委　員　小坂　　登（会社重役）
委　員　中井万蔵（学園理事長）

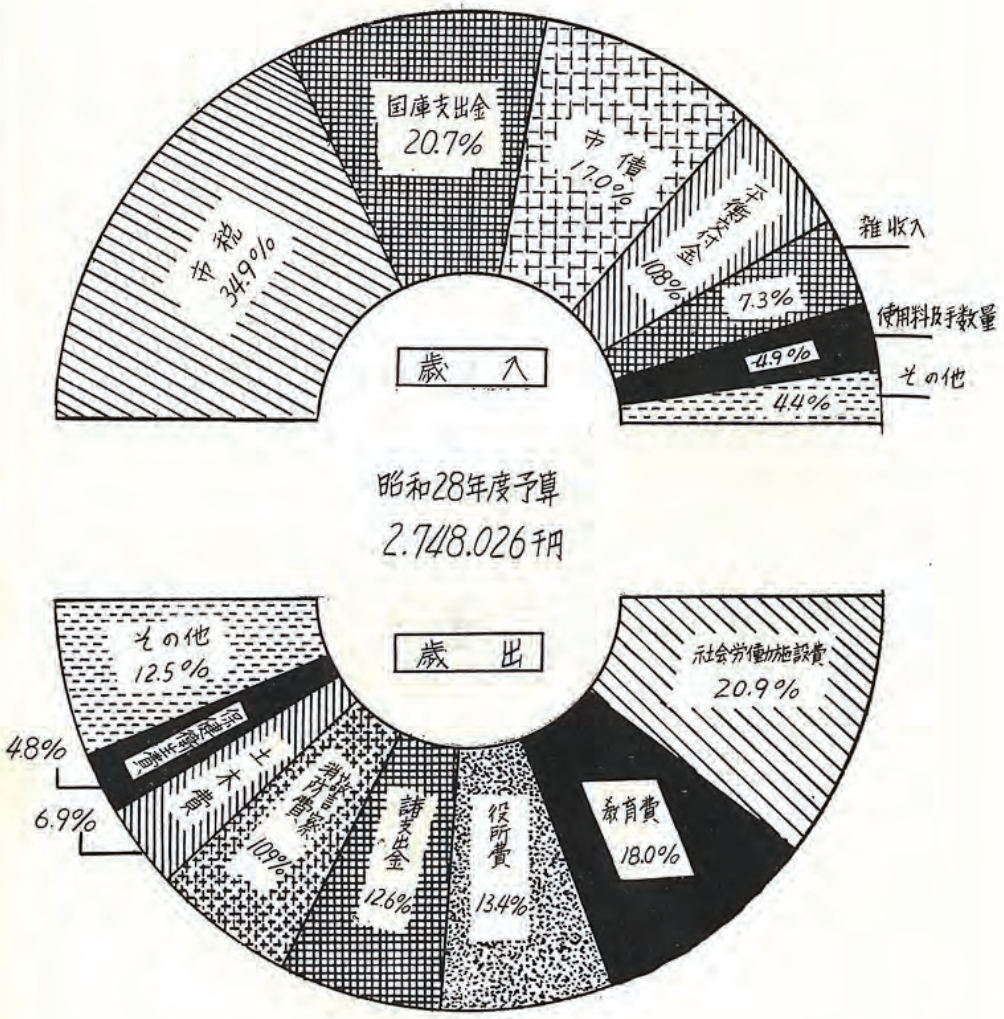
固定資産評価審査委員会（71頁）
公安委員会（87頁）
農業委員会（114頁）
教育委員会（129頁）

第6編 財　　政

優良納税組合表彰

市営競輪

同　車券発売窓口



概　　要

戦後の諸制度改革と、国際情勢を反映した経済事情の変動等により、大部分の都市の財政事情は逐年窮迫の度を深め、各市とも健全財政の確立には異常な努力を傾けている。

わけても戦災により、じん大な被害を受けた本市は格別の困難性を包蔵しており、山積する諸問題の解決に要するぼう大な経費は、財政事情に極めて大きな影響を与えている。

昭和28年度の予算額（水道事業会計を除く）は、総額42億9千5百86万円で、昨年度の予算総額（33億5千2百81万9千円）に較べれば、約9億3千3百万円（27.8%）の増加となつているが、予算編成にあたつては、 1 戦後より生じた赤字の累増を極力おさえ、2 国が樹立した地方財政計画に従い、 3 人件費・物件費・その他義務的諸経費の大幅削減、を実施して健全財政運営の方途を講じた。またその編成内容は、既設事業の充実と行政効果を発揚、すなわち平和都市建設事業の推進・道路・橋りよう・下水道等の維持補強、学校住宅建設の促進、更に産業振興、中小企業に対する融資等に必要な経費を優先し、またその執行にあたつては編成方針に従い、正常な収支の均衡保持に最大の目標をおいた。

予　算・決　算

年度別予算決算（一般会計）

（財務課調）

年度別	予算	決算				
		歳入	対予算	歳出	対予算	差引残金
	円	円	%	円	%	円
明治42年度	—	1,167,269	—	934,410	—	232,859
大正2年度	—	1,079,172	—	778,759	—	300,413
7	—	1,554,333	—	1,435,801	—	118,532
12	—	4,750,541	—	3,084,165	—	1,666,376
昭和2年度	—	6,213,683	—	5,639,946	—	573,737
7	—	5,481,589	—	4,600,343	—	881,246
11	—	7,063,780	—	5,296,490	—	1,767,290
21	86,160,104	85,336,448	99.04	67,703,459	78.57	17,632,989
22	153,405,174	149,603,206	97.52	130,869,643	85.30	18,733,563
23	485,755,116	477,846,292	98.37	422,138,321	86.90	55,707,971
24	818,868,894	691,372,210	84.43	676,989,027	82.67	14,383,183
25	1,098,846,742	944,626,839	85.96	931,909,649	94.80	12,717,190
26	1,653,254,661	1,390,123,141	84.08	1,335,236,548	83.78	54,886,593
27	2,217,947,953	1,913,297,945	86.26	1,913,294,961	86.26	2,984
28	2,748,026,000	—	—	—	—	—
29	2,252,393,000	—	—	—	—	—

備考　昭和28年度は最終予算・昭和29年度は当初予算。

昭和27年度決算

一般会計　　歳入

科目	予算額 当初予算額	予算額 追加予算額	予算額 計	調定額	決算額	対予算	昭和26年度 決算額	昭和26年度 対予算
	円	円	円	円	円	%	円	%
合計	**1,763,634,356**	**454,313,597**	**2,217,947,953**	**2,124,619,557**	**1,913,297,945**	**86.26**	**1,390,123,141**	**84.08**
市税	676,180,541	153,145,246	829,325,787	1,014,648,867	810,261,250	97.70	676,895,417	94.76
地方財政平衡交付金	161,369,732	64,899,696	226,269,428	225,973,000	225,973,000	99.87	209,529,000	64.56
公企業及び財産収入	487,643	1,617,000	2,104,643	3,582,858	3,419,862	162.49	813,001	165.71
分担金及び負担金	250,000	17,200,000	17,450,000	17,200,000	17,200,000	100.00	—	—
使用料及び手数料	107,989,652	8,418,000	116,407,652	103,333,227	99,603,243	85.56	64,407,484	74.60
国庫支出金	447,406,361	△ 25,370,345	422,036,016	374,440,802	374,440,802	88.72	238,260,154	90.43
県支出金	7,651,167	17,083,000	24,734,167	17,846,764	17,846,764	72.15	31,407,150	93.42
寄附金	700,001	8,756,000	9,456,001	8,553,217	8,553,217	90.45	9,017,000	78.52
繰入金	5,000,000	—	5,000,000	—	—	—	4,788,316	100.00
繰越金	1	4,881,000	4,881,001	4,883,872	4,883,872	100.06	12,714,400	100.00
雑収入	33,499,258	185,684,000	219,183,258	172,556,951	169,515,936	77.34	34,991,219	140.71
市債	323,100,000	18,000,000	341,100,000	181,600,000	181,600,000	53.24	107,300,000	60.72

備考　1. 調定額及び決算額は円未満4捨5入。
　　2. △印＝減を示す。

歳出

科目	予算額 当初予算額	予算額 追加予算額	予算額 計	決算額	対予算	昭和26年度 決算額	昭和26年度 対予算
	円	円	円	円	%	円	%
合計	**1,763,634,356**	**454,313,597**	**2,217,947,953**	**1,913,294,961**	**86.26**	**1,385,236,548**	**83.78**
議会費	22,850,801	3,446,000	26,296,801	26,061,247	99.10	22,140,692	96.64
役所費	253,908,776	62,715,000	316,623,776	305,021,502	96.34	242,960,792	96.05
公平委員会費	499,700	—	499,700	203,159	40.66	187,832	32.16
警察消防費	203,206,852	62,340,000	265,546,852	245,345,620	92.39	197,943,646	97.04
土木費	136,652,498	45,635,000	182,287,498	76,050,038	41.72	37,527,819	50.39
教育費	384,814,225	△ 1,346,780	383,467,445	316,493,355	82.53	102,987,285	90.89
社会労働施設費	446,737,117	22,905,265	469,642,382	450,829,610	95.99	305,863,588	90.25
保健衛生費	78,490,486	40,737,475	119,227,961	108,130,872	90.69	53,065,549	60.87
産業経済費	38,560,672	23,824,637	62,385,309	48,574,107	77.86	49,077,921	85.93
財産費	10,966,444	483,000	11,449,444	10,827,030	94.56	8,008,028	85.99
統計調査費	1,752,740	80,000	1,832,740	1,396,851	76.22	1,084,476	79.60
選挙費	9,928,542	6,703,000	16,631,542	15,426,196	92.75	13,951,905	82.26
公債費	36,338,001	3,500,000	39,838,001	40,013,855	100.44	27,254,002	99.96
輸送費	6,400,000	3,000,000	9,400,000	7,512,688	79.92	9,096,094	98.00
監査委員費	1,867,212	469,000	2,336,212	2,345,921	100.42	1,460,507	87.49
災害土木復旧費	—	—	—	—	—	11,475,261	37.40
災害復旧費	25,852,000	45,993,000	71,845,000	53,635,372	74.65	30,380,612	26.93
諸支出金	99,808,290	133,829,000	233,637,290	205,427,538	87.93	270,770,439	93.16
予備費	5,000,000	—	5,000,000	—	—	—	—

備考　1. 決算額は円未満4捨5入。
　　2. △印＝減を示す。

特別会計　　歳入

科目	予算額 当初予算額	予算額 追加予算額	予算額 計	調定額	決算額	対予算	昭和26年度 決算額	昭和26年度 対予算
	円	円	円	円	円	%	円	%
合計	620,465,233	574,405,332	1,134,870,565	739,784,563	739,158,186	65.13	—	—
公益質屋費	26,187,003	△ 16,885,000	9,302,003	6,231,930	6,231,930	67.00	2,784,485	51.58
奨学資金	2,131	—	2,131	1,647	1,647	77.29	1,545	97.78
天満町外部落有財産	4	—	4	—	—	—	—	—
用品調達費	9,360,002	—	9,360,002	9,998,255	9,998,255	106.82	7,384,771	97.20
失業対策事業適格者就職貸付資金	773,500	—	773,500	171,043	171,043	22.11	—	—
建設費	584,142,593	△ 93,783,868	490,358,725	468,243,421	467,999,441	95.44	668,716,399	89.39
競馬事業費	—	60,962,200	60,962,200	25,101,909	25,101,909	41.18	—	—
競輪事業費	—	525,290,000	525,290,000	194,362,655	194,362,655	37.00	—	—
社会保険広島市民病院費	—	38,822,000	38,822,000	35,673,704	35,291,307	90.91	—	—

備考　1. 調定額及び決算額は円未満4捨5入。
2. △印＝減を示す。

歳出

科目	予算額 当初予算額	予算額 追加予算額	予算額 計	決算額	対予算	昭和26年度 決算額	昭和26年度 対予算
	円	円	円	円	%	円	%
合計	620,465,233	574,405,332	1,134,870,565	738,425,852	65.07	—	—
公益質屋費	26,187,003	△ 16,885,000	9,302,003	6,219,940	66.87	2,784,485	51.58
奨学資金	2,131	—	2,131	—	—	840	53.19
天満町外部落有財産	4	—	4	—	—	—	—
用品調達費	9,360,002	—	9,350,002	9,279,557	99.14	7,384,771	97.20
失業対策事業適格者就職貸付資金	773,500	—	773,500	171,043	22.11	—	—
建設費	584,142,593	△ 93,783,868	490,358,725	467,999,441	95.44	668,716,399	89.39
競馬事業費	—	60,962,200	60,962,200	25,101,909	41.18	—	—
競輪事業費	—	525,290,000	525,290,000	194,362,655	37.00	—	—
社会保険広島市民病院費	—	38,822,000	38,822,000	35,291,307	90.91	—	—

備考　1. 決算額は円未満4捨5入。
2. △印＝減を示す。

企業会計（水道事業会計）　収入　（水道局調）

科目	予算額				決算額	対予算
	当初予算額	追加増減額	予備費充用額	計		
	円	円	円	円	円	%
合計	269,208,229	△ 122,122,017	—	147,086,272	135,570,299	92.17
水道事業収入	89,494,694	△ 10,173,158	—	79,321,536	78,649,527	99.15
資本収入	179,713,535	△ 116,948,859	—	62,764,676	47,841,892	76.22
引継棚卸資産	—	5,000,000	—	5,000,000	9,078,880	181.58

支出

科目	予算額				決算額	対予算
	当初予算額	追加増減額	予備費充用額	計		
	円	円	円	円	円	%
合計	269,208,229	△ 122,122,017	—	147,086,272	83,059,521	56.47
水道事業費	74,259,457	1,824,871	166,297	76,250,625	56,827,786	74.53
建設改良費	187,388,953	△ 118,146,888	234,294	69,476,359	25,671,916	36.95
企業債償還金	6,559,819	△ 5,300,000	—	1,259,819	559,819	44.44
予備費	1,000,000	△ 500,000	△ 400,591	99,409	—	—

備考　1．地方公営企業法により本会計は昭和28年1月に新設された。
2．△印＝減を示す。

損益計算書

利益の部		損失の部	
	円		円
合計	79,479,584	合計	79,479,584
営業収益	68,720,480	営業費用	26,861,588
附帯事業収益	7,113,982	附帯事業費	5,787,599
営業外収益	3,585,122	一般管理費	18,762,748
		営業外費用	11,147,556
		当期純利益	15,860,093

備考　昭和28年1月1日～3月31日

貸借対照表

借方		貸方	
	円		円
合計	1,013,175,143.11	合計	1,013,175,143.11
固定資産	913,751,958.00	流動負債	11,733,748.00
有形固定資産	913,751,958.00	未払金	7,207,355.00
流動資産	99,423,185.11	未払費用	1,852,126.00
現金預金	29,556,972.11	前受金	953,832.00
前渡金	6.00	預り金	1,710,425.00
未収入金	27,232,452.00	資本金	983,712,902.11
有価証券	135,000.00	自己資本金	827,430,335.11
貯蔵品	42,498,755.00	借入資本金	156,282,566.00
		剰余金	17,728,493.00
		資本剰余金	868,400.00
		利益剰余金	16,860,093.00

利益剰余金の処分　利益剰余金16,860,093円の内
利益準備金として　850,000円
翌年度繰越利益剰余金として　16,010,093円

備考　昭和28年1月1日～3月31日

昭和28・29年度予算

一般会計　歳入　（財務課調）

科目	昭和28年度 当初予算額	追加更正予算額	計	対合計	昭和29年度 当初予算額	対合計
	千円	千円	千円	%	千円	%
合計	2,058,467	689,565	2,748,026	100.00	2,252,393	100.00
市税	916,116	42,356	958,472	34.87	1,033,631	45.89
地方財政平衡交付金	238,965	57,432	296,397	10.79	226,613	10.06
公企業及び財産収入	879	45,319	46,198	1.68	20,954	0.93
分担金及負担金	500	3,240	3,740	0.14	1	0.00
使用料及手数料	122,200	11,838	134,038	4.88	157,256	6.98
国庫支出金	461,006	106,875	567,881	20.66	490,611	21.78
県支出金	16,760	22,277	39,037	1.42	20,986	0.93
寄附金	1,301	8,644	9,945	0.36	2,001	0.09
繰入金	25,000	—	25,000	0.91	34,184	1.52
繰越金	1	—	1	0.00	1	0.00
雑収入	61,033	138,384	199,417	7.26	68,755	3.05
市債	214,700	253,200	467,900	17.03	197,400	8.77

歳出

科目	昭和28年度 当初予算額	追加更正予算額	計	対合計	昭和29年度 当初予算額	対合計
	千円	千円	千円	%	千円	%
合計	2,058,467	689,565	2,748,026	100.00	2,252,393	100.00
議会費	27,832	2,713	30,545	1.11	30,838	1.37
役所費	318,402	50,868	369,270	13.43	380,238	16.88
公平委員会費	504	—	504	0.02	527	0.02
警察消防費	246,389	53,973	300,362	10.93	281,262	12.49
土木費	131,079	57,428	188,507	6.86	70,807	3.14
教育費	302,066	193,173	495,239	18.02	374,486	16.63
社会労働施設費	542,303	31,929	574,232	20.90	547,269	24.31
保健衛生費	82,070	50,088	132,158	4.81	99,468	4.42
産業経済費	63,459	25,106	88,565	3.22	62,097	2.76
財産費	18,165	693	18,858	0.69	32,056	1.42
統計調査費	3,131	79	3,210	0.12	2,330	0.10
選挙費	10,409	6,645	17,054	0.62	11,849	0.53
公債費	60,052	21,005	81,057	2.95	92,869	4.12
輸送費	4,500	—	4,500	0.16	4,250	0.19
監査委員費	2,645	313	2,958	0.11	3,457	0.15
災害復旧費	69,888	22,410	92,298	3.36	54,818	2.43
諸支出金	172,567	173,142	345,709	12.58	200,772	8.91
予備費	3,000	—	3,000	0.11	3,000	0.13

特別会計

科目	昭和28年度 当初予算額	追加更正予算額	計	昭和29年度 当初予算額
	千円	千円	千円	千円
合計	1,490,271	57,563	1,547,834	1,483,594
建設費	565,807	47,741	613,548	616,682
競輪事業費	850,055	—	850,055	747,366
公益質屋費	13,353	1,500	14,853	19,803
奨学資金	2	—	2	2
天満町外部落有財産	1	—	1	1
用品調達費	11,010	—	11,010	11,145
失業対策事業適格者就職貸付資金	778	—	778	880
社会保険広島市民病院費	49,265	8,322	57,587	87,715

備考　歳入・歳出ともに同金額である。

企業会計（水道事業会計）　収入

（水道局調）

科目			昭和28年度 当初予算額	昭和28年度 追加更正予算額	昭和28年度 計	昭和28年度 対合計	昭和29年度 当初予算額	昭和29年度 対小計
			円	円	円	%	円	%
合計			545,446,820	64,792,317	610,239,137	100.00	—	—
収益的収入	水道事業収入	営業収益	172,885,529	8,279,046	181,164,575	29.69	210,586,000	90.74
		附帯事業収益	32,154,523	—	32,154,523	5.27	18,114,000	7.81
		営業外収益	2,225,368	4,100	2,229,468	0.37	3,367,000	1.45
		小計	207,265,420	8,283,146	215,548,566	35.33	232,067,000	100.00
資本的収入	資本収入	企業債	285,300,000	—	285,300,000	46.75	227,800,000	91.91
		建設改良補助金	31,359,500	4,100	31,363,600	5.14	7,815,000	3.15
		工事負担金	—	18,150,000	18,150,000	2.97	12,240,000	4.94
		財産売却収入	3,141,900	—	3,141,900	0.51	—	—
		減価償却資金受入	18,380,000	—	18,380,000	3.01	—	—
		繰越利益剰余金	—	15,556,148	15,556,148	2.55	—	—
		小計	338,181,400	33,710,248	371,891,648	60.93	247,855,000	100.00
繰越棚卸資産			—	22,798,923	22,798,923	3.74	—	—

支出

科目			昭和28年度 当初予算額	昭和28年度 追加予算額	昭和28年度 計	昭和28年度 対合計	昭和29年度 当初予算額	昭和29年度 対合計
			円	円	円	%	円	%
合計			545,446,820	64,792,317	610,239,137	100.00	539,206,000	100.00
収益的支出	水道事業費	営業費用	97,233,922	7,767,688	105,001,610	17.21	103,096,000	19.12
		附帯事業費	32,139,581	—	32,139,581	5.27	19,386,000	3.60
		一般管理費	55,146,997	7,530,947	62,677,944	10.27	77,818,000	14.43
		営業外費用	12,767,890	3,333,131	16,101,021	2.64	28,832,000	5.35
		予備費	1,000,000	1,000,000	2,000,000	0.33	1,000,000	0.19
		小計	198,288,390	19,631,766	217,920,156	35.72	230,132,000	42.69
資本的支出	資本支出	改良費	20,610,969	4,316,231	24,927,200	4.08	16,130,000	2.99
		施設費	67,430,358	28,344,320	95,774,678	15.69	47,526,000	8.81
		拡張費	254,000,000	—	254,000,000	41.62	220,000,000	40.80
		企業債償還金	5,117,103	12,500,000	17,617,103	2.89	25,418,000	4.71
		小計	347,158,430	45,160,551	392,318,981	64.28	309,074,000	57.31

備考　昭和29年度予算で資本的収入不足額は当年度分損益勘定留保資金　24,117,000円
繰越及び当年度利益剰余金処分額　17,445,000円
その他　19,657,000円
合計　61,219,000円　で補てんする。

市　債

昭和28年末市債現在高は12億8千4百40万円にものぼり、昨年末に較べると3億9千2百40万円（44%）も増加しており、これは市民1人平均3,888円の負債となる。

会計別には、特別会計6億6千70万円（51.5%）一般会計4億5千5百10万円(35.4%)水道事業会計1億6千8百60万円（13.1%）となつている。

年別市債現在高

（財務課調）

年別	当初借入額	既償還額	未償還額
	円	円	円
昭和23年	197,305,678	13,993,590	183,312,087
24	314,806,678	15,968,436	298,918,242
25	440,601,543	37,509,310	403,092,232
26	626,051,200	39,104,544	586,946,655
27	943,685,200	51,699,517	891,985,682
28	1,384,115,900	99,708,050	1,284,407,850

備考　円以下切捨て

昭和28年末会計別市債現在高

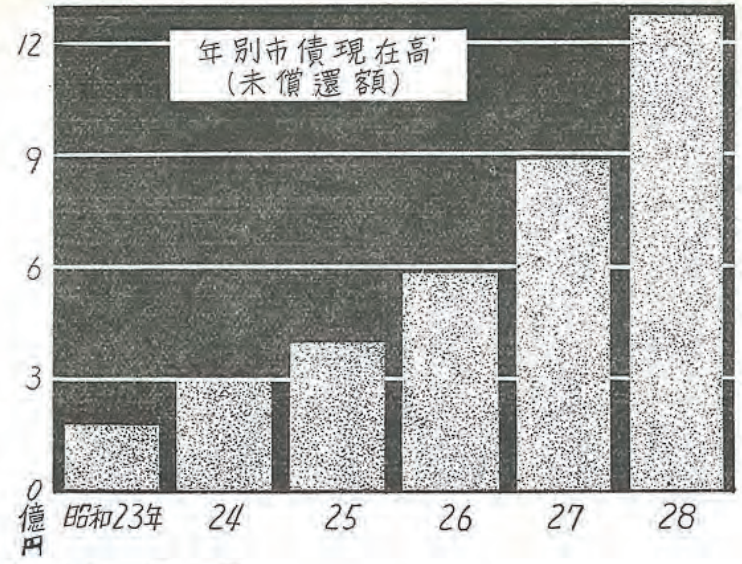
区分＼会計別	総額	一般	特別		水道事業
			建設費	公益質屋費	
	円	円	円	円	円
当初借入額	1,384,115,900	511,865,900	691,294,000	2,000,000	178,956,000
既償還額	99,708,050	56,716,877	32,635,451	—	10,355,722
未償還額	1,284,407,850	455,149,023	658,658,549	2,000,000	168,600,278

費途別主要市債（1件1千万円以上）

費途	借入先	借入年月日	借入額	未償還額	利率	償還年月日
			円	円	分 厘	
合計			1,384,115,900	1,284,407,850		
借入額1千万円以上計			1,098,178,000	1,029,766,000		
戦災復旧費	資金運用部	21.10.7	12,000,000	9,000,000	6・5	35.11.1
戦災復旧国民学校復旧費外5	〃	22.4.5	10,462,000	8,950,000	3・2	41.2.1
戦災復旧住宅建設費外7	〃	23.4.15	26,886,000	25,080,000	7・0	42.3.1
中央卸売市場建設費	〃	24.5.23	35,000,000	15,450,000	6・5	31.3.1
保健所建設費	〃	〃	10,000,000	6,213,000	〃	34.3.1
戦災復興土地区画整理事業費外3	〃	〃	42,800,000	27,200,000	〃	〃
〃　小学校復旧費	〃	〃	17,700,000	15,060,000	〃	39.3.1
〃　庶民住宅建設費	〃	〃	13,800,000	11,650,000	〃	〃
〃　新制中学校建設費	〃	〃	11,780,000	10,033,000	〃	〃
上水道復旧増補応急改良事業費	〃	〃	14,200,000	10,550,000	〃	〃
中央卸売市場建設費	〃	25.3.10	15,000,000	11,000,000	〃	32.2.1
戦災復興区画整理事業費外5	〃	〃	31,800,000	29,820,000	〃	35.2.1
〃　下水道事業費外5	〃	〃	29,700,000	29,700,000	〃	40.2.1
上水道復旧事業費外1	〃	〃	16,000,000	16,000,000	〃	〃
重要幹線街路事業費	〃	25.4.10	25,750,000	24,160,000	〃	35.2.1

中央卸売市場増築事業費	〃	26.3.9	10,000,000	9,100,000	〃	33.2.1
区画整理事業費外3	〃	〃	23,200,000	23,200,000	〃	36.2.1
失業対策事業費外1	〃	〃	16,000,000	16,000,000	〃	〃
六・三制整備事業費外2	〃	〃	38,000,000	38,000,000	〃	41.2.1
庶民住宅建設事業費外1	〃	〃	40,800,000	40,800,000	〃	〃
下水道事業費	〃	〃	10,000,000	10,000,000	〃	〃
水道復旧事業費外1	〃	〃	21,800,000	21,800,000	〃	〃
小学校増築拡張事業費	〃	27.3.18	10,000,000	10,000,000	〃	42.2.1
第四期水道拡張事業費	〃	〃	20,000,000	20,000,000	〃	〃
失業対策事業費	〃	27.3.20	15,000,000	15,000,000	〃	37.2.1
公営住宅建設費	〃	〃	21,000,000	21,000,000	〃	42.2.1
六・三制整備事業費	〃	〃	30,000,000	30,000,000	〃	〃
職町中学校復旧事業費	〃	〃	10,000,000	10,000,000	〃	〃
下水道築造事業費	〃	〃	20,000,000	20,000,000	〃	〃
特別都市建設事業費	〃	〃	87,000,000	87,000,000	〃	〃
中央卸売市場建設費	〃	28.4.30	10,000,000	10,000,000	〃	38.3.1
小学校増築事業費	〃	27.5.16	10,000,000	10,000,000	〃	42.2.1
失業対策事業費	〃	〃	28,000,000	28,000,000	〃	37.2.1
上水道第四期拡張事業費	千代田銀行	28.1.27	15,000,000	13,500,000	日歩 2銭5厘	33.3.31
失業対策事業費	資金運用部	28.3.11	26,000,000	26,000,000	6分5厘	40.3.1

費途	借入先	借入年月日	借入額	未償還額	利率	償還年月日
			円	円	分 厘	
住宅建設事業費	資金運用部	28.3.11	17,000,000	17,000,000	6・5	45.3.1
上水道事業費	〃	28.3.17	45,000,000	45,000,000	〃	48.3.1
六・三制整備事業費	〃	28.3.19	40,000,000	40,000,000	〃	〃
学校災害復旧事業費	〃	28.3.2	11,000,000	11,000,000	〃	45.3.1
河川改修負担金	〃	28.3.25	23,000,000	23,000,000	〃	48.3.1
下水道築造事業費	〃	〃	30,000,000	30,000,000	〃	〃
特別都市建設事業費	〃	28.3.30	100,000,000	100,000,000	〃	45.3.1
上水道第四期拡張事業費	千代田銀行	28.4.30	20,000,000	18,000,000	日歩 2銭5厘	33.3.31
学校施設整備事業費	広島銀行	28.5.1	10,000,000	9,000,000	8分5厘	33.4.30
失業対策事業費	資金運用部	28.5.9	27,500,000	27,500,000	6・5	40.3.1
借入額1千万円以下(115件)計			285,937,090	254,641,850		



市　有　財　産

財産別	種類	財産高
		円
普通財産	預金・現金及び有価証券	2,467,077
	土地	416,014坪　326,923,234
	建物	116,259坪　2,199,136,323
	工作物	162,867,956
	備品	262,340個
基本財産	預金	58,846
	土地	79,653坪　13,122,125
部落有財産	積立金	9,935
	土地	7,498坪　6,217,254

市　税

市税として現在、市民税・固定資産税・自転車税・荷車税・電気ガス税の５税目について課税している。

昭和28年度の市税収入予算額は、総額９億５千８百47万円で(一般会計歳入総額の35%)この内市民税は５億４千８万円（56.3%)、固定資産税は３億１千１百38万円（32.5%）で合わせて総額の約89%を占めている。なおこの収入実績は、昭和29年４月末日現在で99.9%と極めて良好である。

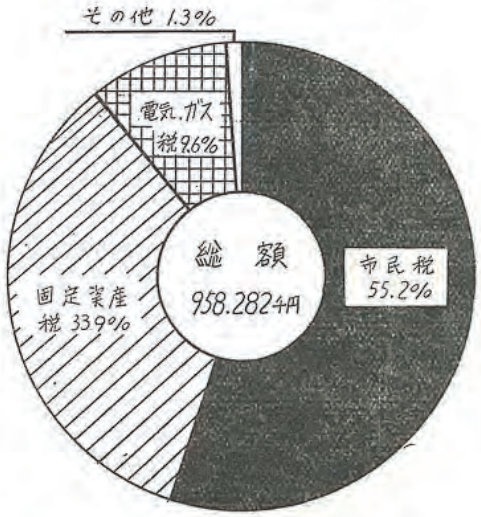
年度別市税収入状況

（市民税課調）

年度	市税 総額	市税 歳入総額(一般会計)に占める割合	内訳 普通税	内訳 国県税附加税	内訳 独立税	内訳 旧法による税
	円	%	円	円	円	円
昭和21年度	4,359,961	5.1	—	2,249,392	2,110,569	—
22	28,027,458	18.7	—	18,246,565	8,589,035	1,191,858
23	190,395,394	39.8	—	151,337,132	31,601,680	7,456,582
24	355,295,505	51.4	—	293,979,379	53,694,549	7,621,577
25	517,045,708	54.7	408,119,455	—	—	108,926,253
26	676,895,416	48.7	635,860,160	—	—	41,035,256
27	810,261,250	42.3	799,308,135	—	—	10,953,115
28	958,282,000	—	954,628,000	—	—	3,654,000
29	1,033,631,000	—	1,028,728,000	—	—	4,903,000

備考　1．昭和28年度分は昭和29年４月末現在であつて決算額ではない。
　　2．昭和29年度分は当初予算額である。

税種別市税収入状況（昭和28年度）



註　昭和29年４月末日現在であつて決算額ではない。

税種別収入状況（昭和26年～28年）

税種別	昭和26年度	昭和27年度	昭和28年度	対予算 昭和26年度	対予算 昭和27年度	対予算 昭和28年度	対市税 昭和26年度	対市税 昭和27年度	対市税 昭和28年度
	円	円	円	%	%	%	%	%	%
市税	676,895,416	810,261,250	958,282,000	94.8	97.7	99.9	100.0	100.0	100.0
1 普通税	635,860,160	799,308,135	954,628,000	102.7	99.7	100.4	93.9	98.6	99.6
市民税	328,290,831	419,732,569	528,961,000	96.9	98.2	97.9	48.5	51.8	55.2
固定資産税	242,420,617	283,650,652	325,128,000	109.9	97.2	104.4	35.8	35.0	33.9
自転車税	5,650,946	6,789,775	7,859,000	89.1	89.5	92.0	0.8	0.8	0.8
荷車税	654,570	623,500	616,000	103.7	81.7	72.2	—	—	—
電気・ガス税	57,239,114	88,065,723	92,064,000	112.1	119.2	101.8	8.5	10.9	9.6
広告税	1,259,282	345,516	—	107.2	92.7	—	0.2	—	—
接客人税	344,800	100,400	—	48.9	102.4	—	—	—	—
2 旧法による税	41,035,256	10,953,115	3,654,000	43.2	40.2	50.7	6.1	1.4	0.4

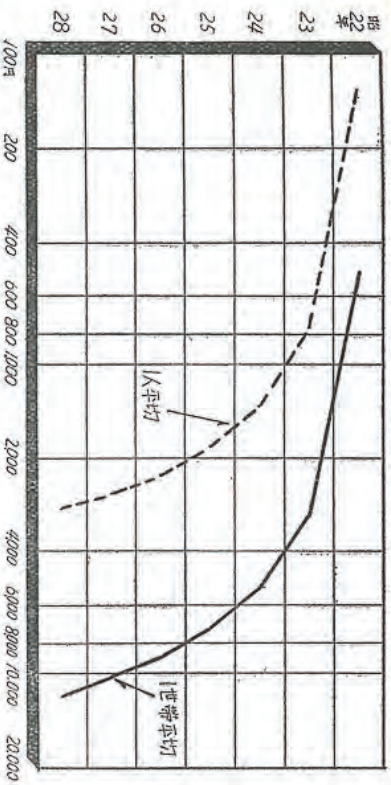
備考　昭和28年度分は昭和29年4月末現在であつて決算額ではない。

年度別市税負担状況

区分＼年度別	昭和21年度	22	23	24	25	26	27	28	29
	円	円	円	円	円	円	円	円	円
市民1人平均	21	129	762	1,332	1,819	2,267	2,609	2,909	3,104
1世帯平均	84	500	3,035	5,326	7,219	8,964	10,242	11,354	11,954

備考　1．昭和28年度分は決算が済んでいないため概数である。
2．昭和29年度分は当初予算額によつて算出している。

年度別市税負担状況



市税に対する課税物件調

種目	昭和27年	昭和28年
市民税納税義務者	85,064人	90,355人
固定資産税 田	4,417反	7,000反
固定資産税 畑	7,000反	27,495人
固定資産税 宅地	4,249,695坪	
固定資産税 その他	6,630反	

種目	昭和27年	昭和28年
固定資産税 家屋資産	1,150,005坪	37,403件
固定資産税 償却資産	4,768件	4,774件
自転車税	40,216台	43,772台
荷車税	4,126台	3,447台
電気・ガス税	2件	62件

固定資産評価審査委員会

本委員会（委員長　荒谷巖雄）は、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服を審査決定するために設置され、委員は市議会の同意を得て市長が選任する。現在本市には土地・家屋・償却資産の各部会に3名あての委員が選任されている。

固定資産評価格（昭和28年1月現在の概要調書による）土地資産（資産税課調）

種別	評価総地積	総評価格	反（坪）当り評価格 最高	最低	平均	昭和27年評価総地積
	坪	円	円	円	円	坪
総数	8,784,828坪	7,079,021,800	—	—	—	9,663,795坪
田	3,920反	102,405,200	91,000	5,850	26,123	4,417反
畑	6,203反	160,887,400	112,000	2,240	25,937	7,000反
宅地	3,712,728坪	6,774,322,200	45,760	92	1,824	4,249,695坪
山林	6,436反	27,677,400	39,000	1,050	4,300	6,091反
原野	90反	125,400	10,800	1,350	1,393	101反
池沼	12反	60,400	9,900	5,400	5,033	22反
雑種地	246反	13,543,800	360,000	1,300	55,056	415反

家　屋　資　産

種別	個数	総床面積	総評価格	1坪平均価格	1個平均価格	昭和27年 個数	昭和27年 総床面積
	個	坪	円	円	円	個	坪
総数	**45,006**	**1,254,417**	**9,131,762,900**	**—**	**—**	**41,858**	**1,150,005**
木造 農家	2,100	83,497	333,094,300	3,989	158,616	2,100	83,497
木造 専用住宅	30,400	617,398	3,281,699,700	5,315	107,951	28,850	561,716
木造 併用住宅	8,222	208,193	1,770,862,400	8,505	215,381	6,929	161,637
木造 店舗	1,817	49,531	560,638,700	11,318	308,552	1,520	43,841
木造 工場	1,193	142,392	719,160,400	5,050	602,817	1,194	143,433
木造 倉庫	519	23,426	123,277,600	5,262	237,529	520	23,432
木造 雑種家屋	556	49,913	404,715,700	8,108	727,924	552	50,102
木造 小計	44,807	1,174,350	7,193,448,800	6,125	160,542	41,665	1,067,658
木造以外 住宅	18	2,656	79,584,200	29,963	1,664,611	14	789
木造以外 店舗	123	22,065	1,128,695,900	51,153	9,176,398	125	23,173
木造以外 工場	16	37,571	551,622,600	14,682	34,476,412	16	36,880
木造以外 倉庫	19	4,675	54,251,600	11,604	2,855,347	19	4,675
木造以外 雑種家屋	23	13,100	124,159,800	9,477	5,398,252	19	16,830
木造以外 小計	199	80,067	1,938,314,100	24,208	9,740,271	193	82,347

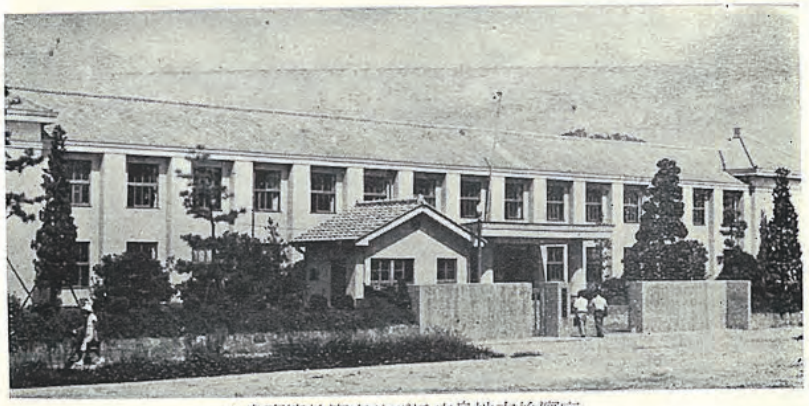
償　却　資　産

種類	総評価格	評価件数	昭和27年 総評価格	昭和27年 評価件数
	円	件	円	件
総数	**3,110,125,700**	**4,955**	**3,743,906,158**	**4,768**
構築物	216,541,900	—	238,600,699	—
機械及び装置	2,266,185,500	—	2,493,579,098	—
船舶	56,413,000	—	464,038,403	—
車輌及び運搬具	13,089,600	—	14,074,458	—
工具・器具及び備品	557,895,700	—	533,613,500	—

第7編 法　　務

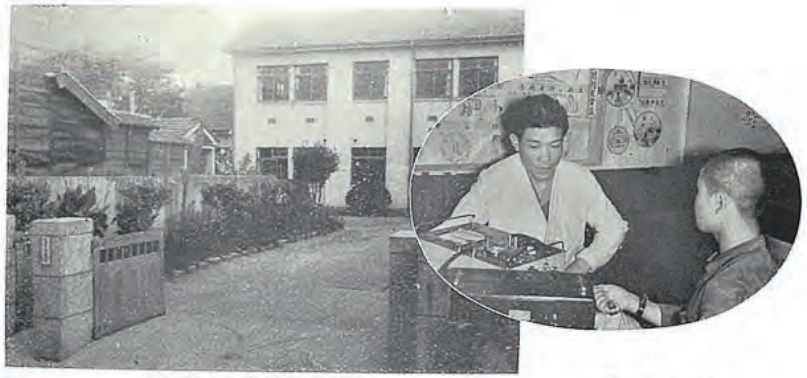
広島家庭裁判所

広島高等裁判所並びに広島地方裁判所



広島高等検察庁並びに広島地方検察庁

広島法務局



広島少年鑑別所　　同鑑別状況

広島刑務所

法務機関

一　最高裁判所関係

広島高等裁判所　広島地方裁判所　広島家庭裁判所　広島簡易裁判所

二　法務省関係

広島法務局　広島高等検察庁　広島地方検察庁　広島区検察庁　中国公安調査局
広島矯正管区　広島少年鑑別所　広島保護観察所　広島刑務所　広島拘置所

検察庁

職員数

区分	総数	検事	副検事	事務官	雇傭人
広島高等検察庁	67	6	—	26	35
広島地方検察庁	142	17	6	62	57

刑事事件処理状況

（広島地方検察庁調）

年度別	受理	起訴	不起訴	中止及び移送
	人	人	人	人
昭和24年度	54,052	17,711	18,398	14,913
25	64,933	17,971	29,870	15,455
26	58,006	15,707	24,290	17,158
27	53,911	15,679	23,101	13,825
28	52,222	13,632	25,661	12,575

刑事控訴事件公判並びに処理状況

（広島高等検察庁調）

区分	受理			既済	未済
	旧受	新受	計		
	人	人	人	人	人
総数	326	1,204	1,530	1,134	396
新法	324	1,202	1,526	1,131	395
旧法	2	2	4	3	1

裁判所

職員数

裁判所名	総数	判事	所判事簡易裁判	判事補	書記官	書記官補	家調査官	家調査官補	少調査官	少調査官補	事務官	技官	雇傭人
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
広島高等裁判所	102	12	一	一	5	5	一	一	一	一	30	1	49
広島地方裁判所	161	11	—	5	8	22	—	—	—	—	25	—	90
広島家庭裁判所	42	4	—	3	1	6	2	5	4	5	12	—	—
広島簡易裁判所	30	—	4	—	1	9	—	—	—	—	2	—	14

民事事件（その1）

（広島高等裁判所調）

区分	総数	第一審 行政訴訟	控訴審 通常訴訟	控訴審 行政訴訟	上告審 通常訴訟	上告審 行政訴訟	再審	抗告	その他
	件	件	件	件	件	件	件	件	件
新受	334	一	239	9	12	一	1	39	34
既済	358	一	230	16	20	一	1	54	37
未済	305	一	265	11	10	一	1	16	2

（その2）

（広島地方裁判所調）

事件種別		受理 旧受	受理 新受	受理 計	既済	未済
		件	件	件	件	件
総数		797	4,288	5,085	4,087	998
第一審	通常訴訟	553	939	1,492	741	751
第一審	行政訴訟	38	26	64	16	48
控訴審通常訴訟		10	21	31	15	16
抗告		2	12	14	7	7
その他の事件	民事非訟	—	25	25	25	—
その他の事件	商事非訟	—	41	41	40	1
その他の事件	仮差押・仮処分	6	707	713	695	18
その他の事件	強制執行	20	298	318	313	5
その他の事件	競売法による競売	117	199	316	313	3
その他の事件	破産	10	18	28	12	16
その他の事件	会社更生	—	11	11	8	3
その他の事件	過料	—	36	36	35	1
その他の事件	共助	1	7	8	7	1
その他の事件	その他	34	1,906	1,940	1,828	112
調停事件	一般	5	15	20	12	8
調停事件	宅地建物	—	8	8	5	3
調停事件	農事	1	19	20	15	5

（その3）

（広島簡易裁判所調）

事件種別		受理 旧受	受理 新受	受理 計	既済	未済
		件	件	件	件	件
総数		749	3,663	3,812	3,635	177
通常訴訟		33	229	262	227	35
和解		—	252	252	251	1
督促		—	875	875	872	3
その他の事件	公示催告	16	26	42	25	17
その他の事件	仮差押・仮処分	—	58	58	58	—
その他の事件	過料	—	522	522	522	—
その他の事件	共助	3	30	33	30	3
その他の事件	その他	3	1,271	1,274	1,273	1
調停事件	一般	40	169	209	162	47
調停事件	宅地建物	52	228	280	211	69
調停事件	農事	—	1	1	1	—
調停事件	商事	2	2	4	3	1

刑事事件（その1）

（広島高等裁判所調）

区分	総数	控訴審 刑法犯	控訴審 特別法犯	上告審 刑法犯	上告審 特別法犯	再審	抗告	その他の事件
	件	件	件	件	件	件	件	件
新受	1,787	793	412	—	—	—	11	571
既済	1,749	840	291	—	—	1	17	600
未済	406	204	196	—	—	—	—	6

（その２）　　（広島地方裁判所調）

事件別		受理			既済	未済
		旧受	新受	計		
		人	人	人	人	人
総数		627	9,765	10,392	9,852	540
第一審	刑法犯	388	1,006	1,394	1,041	353
	特別法犯	181	267	448	288	160
その他の事件		58	8,492	8,550	8,523	27

（その３）　　（広島簡易裁判所調）

事件別			受理			既済	未済
			旧受	新受	計		
			人	人	人	人	人
総数			198	4,094	4,292	4,101	191
第一審	通常事件	刑法犯	54	365	419	370	49
		特別法犯	44	68	112	83	29
	略式事件	刑法犯	27	520	547	513	34
		特別法犯	73	2,416	2,489	2,410	79
その他の事件			—	725	725	725	—

新受訴訟事件　　（広島地方裁判所・広島簡易裁判所調）

事件の種類			広島地方裁判所		広島簡易裁判所
			控訴審	第一審	第一審
			件	件	件
総数			27	965	229
通常訴訟	人事関係	離婚	—	8	—
		離縁	—	1	—
	金銭関係	売掛代金(売買代金を含む)	2	122	75
		貸金	6	139	63
		損害賠償金(慰藉料を含む)	1	34	8
		手形金(小切手金を含む)	1	220	34
		その他	4	138	35

通常訴訟	建物関係	建物登記	—	21	—
		建物明渡	1	34	3
		建物所有権	1	13	—
		建物収去	2	34	1
		その他	—	3	1
	土地関係	土地所有権	—	13	—
		土地登記	1	8	—
		土地明渡	—	27	2
		借地権	—	2	—
		その他	2	3	2
	物品関係	物品引渡	—	14	1
		その他	—	2	—
	その他	債務不存在確認	—	4	1
		株券	—	1	—
		株主総会決議無効取消	—	1	—
		請求異議	—	21	2
		強制執行異議	—	58	1
		仮差押・仮処分異議取消	—	5	—
		その他	—	13	—
行政訴訟	選挙		—	1	—
	地方自治		—	1	—
	租税		—	11	—
	農地		—	6	—
	その他一般行政		—	7	—

刑事第一審有罪被告人の科刑

科刑	総数	刑法犯																			特別法犯												
		総数	放火	住居侵入	とばく	公務執行妨害	殺人	傷害暴行	窃盗	強盗	詐欺	恐かつ	横領	ぞう物に関する罪	わいせつ及びかん	その他	計	食糧管理法	公職選挙法	各種税法関係	銃砲刀剣類等所持取締令	麻薬関係法令	外国人登録法	道路交通関係法令	その他	計
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
総数		1,388	2	3	9	8	22	85	518	26	131	41	89	92	14	45	1,085	28	67	49	14	34	8	10	93	303
死刑		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
懲役または禁錮	無期	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10年以下	4	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	1	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7年〃	8	—	—	—	—	6	—	—	2	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5年〃	37	—	—	—	—	9	1	11	11	—	1	—	—	4	—	37	—	—	—	—	—	—	—	4	4
	3年〃	359	1	—	—	—	5	14	208	9	40	7	29	19	7	8	347	1	2	1	3	—	—	—	4	12
	1年〃	557	—	2	2	—	—	19	274	3	80	25	51	67	2	17	542	1	2	5	2	—	—	—	10	25
	6ヵ月〃	230	—	1	3	8	—	37	25	—	11	8	9	6	—	6	114	—	—	24	17	6	2	2	34	116
罰金	10万円以上	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—	2
	5万円〃	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3
	1万円〃	42	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	4	6	1	11	8	2	5	1	—	8	36
	5千円〃	49	—	—	1	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	7	14	2	13	6	2	2	—	2	8	35
	5千円未満	83	—	—	3	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	3	12	6	25	3	5	—	1	6	24	71
拘留・科料		2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2

備考　広島地方裁判所・広島簡易裁判所を合わせたものである。

家事調停事件

（広島家庭裁判所調）

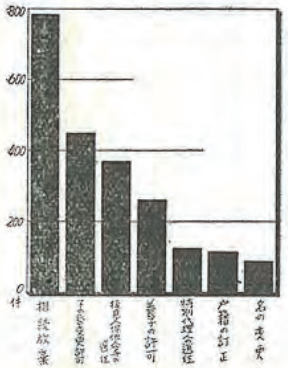
事件の種類	旧受	新受				既済	未済
		男から	女から	双方から	計		
	件	件	件	件	件	件	件
総数	66	143	282	3	428	401	93
夫婦同居及び協力扶助	4	6	15	—	21	19	6
財産の分与に関する処分	—	—	5	1	6	5	1
権利の承継者の指定	—	—	1	—	1	1	—
親権者の指定または変更	3	5	12	—	17	19	1
扶養に関する処分	1	5	8	—	13	9	5
遺産の分割に関する処分	4	8	8	—	16	12	8
離婚	20	26	104	—	130	124	26
婚姻予約（内縁）に関するもの	9	9	35	—	44	41	12
離縁	1	4	6	—	10	10	1
家事審判法23条の事項	5	29	18	1	48	48	5
その他	19	51	70	1	122	113	28

家事審判事件

事件の種類	旧受	新受				既済	未済
		男から	女から	双方から	計		
	件	件	件	件	件	件	件
総数	65	1,062	1,171	169	2,402	2,258	209
禁治産の宣告及び取消	2	2	—	—	2	4	—
準禁治産に関する処分	—	2	5	—	7	7	—
不在者の財産の管理処分	—	3	3	—	6	6	—
失踪の宣告及び取消	7	15	4	—	19	15	11
子の氏の変更許可	10	230	219	2	451	448	13
養子の許可	7	50	48	162	260	261	6
離縁の許可	2	23	8	—	31	27	6
特別代理人の選任	5	56	67	2	125	126	4
財産管理者選任その他	—	1	1	—	2	2	—
親権管理者の喪失	2	2	7	—	9	10	1

親権管理者の辞任または回復	—	3	19	—	22	18	4
後見人・保佐人・後見監督人の選任	11	243	127	—	370	312	69
〃 〃 の解任	—	—	1	—	1	—	1
相続の承認・放棄の期間の伸長	—	21	8	—	29	29	—
相続財産の管理人の選任	—	1	—	—	1	1	—
相続放棄	9	242	542	—	784	725	68
遺言の確認	1	6	2	—	8	9	—
遺言書の検認	—	6	4	—	10	8	2
遺言執行者の選任	—	1	1	—	2	2	—
遺留分の放棄について	—	3	4	—	7	4	3
権利の承継者の指定	—	—	1	—	1	1	—
親権者の指定または変更	—	6	14	—	20	17	3
扶養に関する処分	—	3	—	—	3	1	2
推定相続人の廃除及び取消	—	—	—	1	1	1	—
遺産分割に関する処分	—	1	—	1	2	1	1
氏の変更(戸籍法)	2	8	1	1	10	12	—
名の変更(〃)	3	64	25	—	89	82	10
就籍について	—	5	6	—	11	10	1
戸籍の訂正	4	65	52	—	117	117	4
戸籍届出の委託確認	—	—	2	—	2	2	—

家事審判事件々数



雑事件

家事相談件数	3,516	事実の調査または証拠調の嘱託	50

少年保護事件

区分	受理 男	受理 女	受理 計
犯罪(ぐ犯を含む)	2,412	163	2,575
	既済		
	2,439	156	2,595
	未済		
	342	40	382

備考　受理には旧受を含まない。

少年の福祉を害する成人の刑事事件

区分	受理	既済	未済
総数	57	51	30
第一審	—	—	—
再審	—	—	—
その他	57	51	30

備考　受理には旧受を含まない。

法務局職員数

総数	検事	事務官	雇傭人	その他
人 250	人 2	人 122	人 106	人 20

訟務事件

(広島法務局調)

区分		受理 旧受	受理 新受	受理 計	既済	未済
総数		件 37	件 86	件 123	件 69	件 54
民事事件	第一審	9	54	63	41	22
	第二審	—	1	1	—	1
一般行政及び税務争訟事件	第一審	27	24	51	28	23
	第二審	1	7	8	—	8

登記事務

総数	不動産及び船舶登記	農業用動産抵当登記	商業登記	その他の登記	謄抄本交付及び閲覧
件 35,688	件 31,218	件 5	件 3,447	件 1,018	件 97,167

帰化申請事件

年別	処理状況 受理	許可	不許可	その他	審理中	国籍別申請 朝鮮	中国	米国	無国籍
昭和26年	人 1	1	—	—	—	—	—	1	—
27	12	6	4	2	—	7	2	2	1
28	89	34	25	—	30	83	—	—	6

人権侵犯事件（その1）

事件別	受理 旧受	受理 新受	受理 計	処理 第1種事件 勧告	和解	不問	非該当	中止	示・その他移送・指	計	処理 第2種事件 指示	非該当	その他移送	計	未済
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
総数	17	533	550	2	49	11	15	9	8	94	390	24	38	452	4
人身売買	1	3	4	—	—	1	—	1	—	2	—	—	2	2	—
酷使虐待	—	6	6	—	—	—	—	—	—	—	1	—	5	6	—
人身の自由に対する侵犯	1	—	1	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
村八分	1	4	5	1	2	—	—	—	—	3	—	2	—	2	—
私的制裁	—	2	2	—	1	—	—	—	—	1	—	—	1	1	—
差別待遇	2	5	7	—	2	—	—	1	—	3	2	1	1	4	—
参政権に対する侵犯	1	1	2	—	—	—	1	—	1	2	—	—	—	—	—
名誉・信用に対する侵犯	2	30	32	—	7	4	3	—	—	14	7	5	6	18	—
労働権に対する侵犯	1	7	8	—	1	—	—	1	1	3	3	2	—	5	—
住居の安全に対する侵犯	—	51	51	—	5	—	4	2	2	13	31	3	4	38	—
強制圧迫	—	34	34	1	4	—	2	—	—	7	19	3	5	27	—
その他	8	390	398	—	27	5	5	4	4	45	327	8	14	349	4

（その2）（公務員によるもの）

事件別	受理 旧受	受理 新受	受理 計	処理 第1種事件 勧告	和解	不問	非該当	中止	示・その他移送・指	計	処理 第2種事件 指示	非該当	その他移送	計	未済
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
総数	5	38	43	2	1	3	6	2	4	11	6	5	40	3	
特別公務員による暴行に関するもの 逮捕拘留に関するもの	1	2	3	—	—	—	—	1	—	—	2	—	3	—	
特別公務員による暴行に関するもの 捜索押収に関するもの	2	3	5	—	—	—	—	—	2	1	2	—	5	—	
特別公務員による暴行に関するもの 自白強要に関するもの	—	3	3	1	—	—	1	—	—	1	—	—	3	—	
特別公務員による暴行に関するもの 虐行に関するもの	—	4	4	1	—	—	2	—	—	—	1	—	4	—	
特別公務員による暴行に関するもの 武器使用に関するもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
特別公務員による暴行に関するもの その他	—	6	6	—	—	—	—	—	—	1	1	2	4	2	
特別公務員による暴行に関するもの 計	3	18	21	2	—	—	3	1	2	3	6	2	19	2	
教育職員による侵犯に関する刑に税務職員による侵犯に関する刑に	—	2	2	—	—	—	—	—	—	1	—	1	2	—	
教育職員による侵犯に関する刑に税務職員による侵犯に関する刑に	—	2	2	—	—	1	—	1	—	—	—	—	2	—	
教育職員による侵犯に関する刑に税務職員による侵犯に関する刑に	1	1	2	—	—	1	—	—	—	1	—	—	2	—	
教育職員による侵犯に関する刑にその他の公務員による侵犯	1	15	16	—	1	1	3	—	2	6	—	2	15	1	

保護観察所

保護観察対象者

総数	家庭裁判所決定(保護処分)	仮出獄	仮退院	刑執行猶予
人	人	人	人	人
537	336	118	83	—

備考　家庭裁判所決定及び仮退院には20才未満の者のみで仮出獄及び刑執行猶予には成人を含む。

保護処分少年の犯罪動機（昭和27年9月末）

動機＼犯罪行為	総数	窃盗	強盗	恐かつ	強かん	暴行	傷害	殺人	放火	横領	詐欺	と博	ぞう物	偽造	ぐ犯	銃砲火薬取締法	煙草専売法	外国人登録法	経済法
総数	229	157	5	4	4	2	10	1	1	4	5	1	4	1	17	5	2	3	3
誘惑	20	15	—	—	—	—	1	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	1	—
出来心	60	38	—	2	—	—	4	1	—	1	2	—	3	1	5	1	—	1	1
虚栄	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
憤怒	7	2	1	—	—	2	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
怠惰放縦	25	17	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	1	—	—	1
利慾	64	51	3	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	1	3	2	1	1
盗癖	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
性慾	5	2	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

食慾	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
買食	14	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
遊とう	7	4	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
浮浪	10	4	1	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	3	—	—	—
過失	3	1	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
えん恨	4	1	—	—	—	—	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—

備考　家庭裁判所において決定されたもの。

少年鑑別所

犯罪別収容員

（広島少年鑑別所調）

犯罪別	総数	男	女	犯罪別	総数	男	女	犯罪別	総数	男	女
総数	732	664	68	傷害	20	20	—	恐喝未遂	3	3	—
傷害致死	3	3	—	窃盗	426	392	34	銃刀法違反	4	4	—
殺人未遂	5	3	2	窃盗未遂	3	3	—	覚醒剤取締違反	32	24	8
強盗	10	10	—	詐欺	47	38	9	決闘罪	5	5	—
強かん	9	9	—	ぞう物故売	5	5	—	と博	1	1	—
強かん未遂	8	8	—	軽犯違反	4	4	—	性病予防法違反	2	—	2
強盗傷人	5	5	—	横領	25	23	2	住居侵入	7	7	—
放火	3	2	1	公務執行妨害	1	1	—	出入国管理法違反	3	3	—
強盗未遂	5	5	—	児童福祉法違反	1	1	—	過失傷害	2	2	—
恐喝	23	23	—	郵便法違反	1	1	—	器物き棄	1	1	—
暴行	19	18	1	詐欺横領	3	3	—	往来危険	1	1	—
外人登録令違反	1	1	—	強制わいせつ	1	1	—	汽車ぐ犯	43	34	9

刑務所・拘置所

職員数

区分＼職別	総数	事務官	看守長	副看守長	看守部長	看守	技官	教官	雇傭人
広島刑務所	298	5	14	11	38	184	18	1	27
広島拘置所	110	2	5	4	16	70	2	—	11

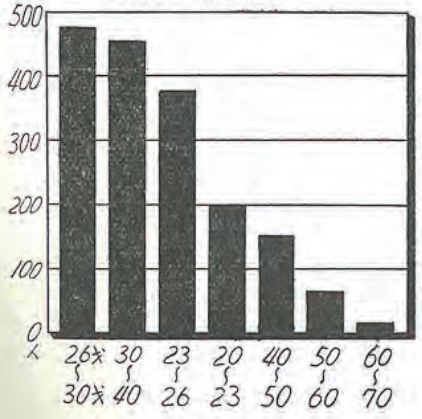
入出監者数（昭和28年中）

区分＼状態		総数	受刑者	死刑確定者	被告人	被疑者	労役場留置者
広島刑務所	昭和27年末在監者	1,468	1,465	—	—	—	3
	入監者	1,647	1,531	—	—	—	116
	出監者	1,337	1,226	—	—	—	111
	昭和28年末在監者	1,778	1,770	—	—	—	8
広島拘置所	昭和27年末在監者	305	90	3	212	—	—
	入監者	1	—	1	—	—	—
	出監者	6	—	—	6	—	—
	昭和28年末在監者	300	90	4	206	—	—

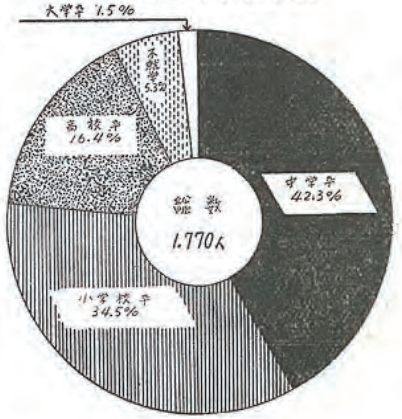
罪名別受刑者数

区分＼罪名別	総数	刑法犯 窃盗	強盗	殺人	詐欺	恐かつ	横領	傷害	わいせつ・かんいん・重婚ぞう物に関する罪	放火	略取・誘かい	公務執行妨害	証こいん滅逃走犯人隠とく	住居を犯す罪	文書・印章・有価証券偽造	通貨偽造	偽証・ぶ告	その他	計	特別法犯 銃砲・火薬取締法	暴力行為等処罰規程	その他	計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
広島刑務所	1,770	872	331	179	129	50	49	44	25	19	15	4	3	3	2	2	1	10	1,739	9	3	19	31
広島拘置所	90	42	3	5	15	1	5	1	3	—	2	—	2	1	1	4	—	—	85	—	—	5	5

年令別受刑者数



教育程度別受刑者数



全国新受刑者数

（日本統計年鑑）

年次	罪名														
	総計	刑法犯												特別法犯	連合国軍事占領裁判
		計	窃盗	強盗	詐欺及び恐喝	横領	ぞう物	賭博及び富くじ	傷害	殺人	放火	住居侵入	その他		
昭和1年	29,583	23,180	11,035	480	3,397	1,201	251	2,186	1,540	703	470	231	1,686	6,403	—
5	33,790	26,415	14,807	673	3,867	1,308	303	1,444	1,460	490	444	298	1,321	6,775	—
10	41,093	34,456	18,848	731	6,172	1,925	418	1,838	1,494	642	701	249	1,438	6,637	—
15	29,017	26,823	16,008	372	3,605	1,278	499	2,252	859	398	221	431	900	2,188	—
16	27,588	25,142	14,556	394	3,320	1,194	547	2,554	734	406	182	312	943	2,446	—
17	27,387	24,582	14,349	360	3,276	1,159	576	2,189	593	320	195	533	1,032	2,805	—
18	32,779	28,460	16,316	387	3,593	1,187	829	3,069	643	294	198	845	1,099	4,319	—
19	40,463	32,927	19,837	376	3,742	1,199	1,286	3,200	658	259	174	975	1,221	7,536	—
20	33,906	28,557	20,887	278	2,377	798	697	1,555	392	213	86	561	713	5,349	—
21	66,094	60,148	47,425	2,038	5,807	920	1,440	763	481	305	99	249	621	5,946	—
22	66,002	56,649	40,778	6,107	5,799	822	768	575	557	432	112	295	404	2,830	6,523
23	70,727	65,545	47,094	6,170	6,947	1,064	1,421	483	987	390	95	401	493	3,622	1,560
24	58,595	55,256	38,676	4,480	6,110	1,265	1,459	448	1,197	451	130	437	603	2,135	1,204
25	60,148	56,175	36,287	4,260	7,866	1,742	1,776	401	1,779	472	175	423	994	2,785	1,188
26	54,081	51,193	33,216	3,373	6,733	1,885	1,539	242	1,998	652	182	379	994	2,529	359

第8編 公安

広島市警察本部

消防局望楼

パトロールカー

新鋭消防車

広島市消防局庁舎

消　防　訓　練

第六管区海上保安本部

巡　視　艇（むらちどり）

公安委員会

昭和23年警察法の制定によつて、新しく自治体警察の民主的運営管理を担当するために、公安委員会が誕生し早くも5年を経過しているが、現在は次の3人により広島市公安委員会が組織されている。

委員長　波多野　要　蔵（会社重役）
委　員　西　本　寿　一（会社社長）
委　員　角　　和　雄（農協理事）

市　警　察

広島市公安委員会の管理運営の下に、自治体警察である広島市警察がある。この機構は3部・6課・3警察署よりなり、本部長以下646名の職員を配している。

本年は限定された陣容装備をもつて警備力の強化向上を図るために、特に捜査関係の人事異動を行い、また機動力を充実させるためにラジオカー1台を増加した。

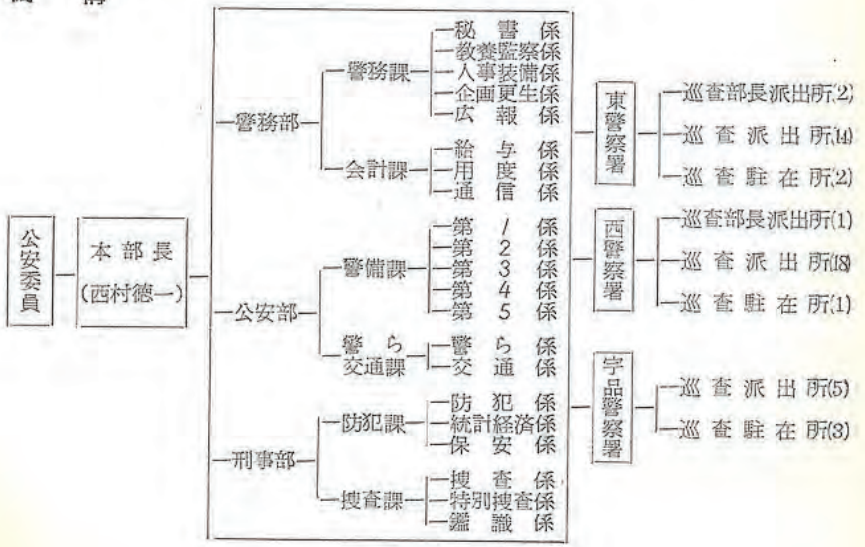
本年中の犯罪発生状況は、刑法犯発生総数12,767件で、昨年の14,601件に較べると1,834件（12・6%）の減少を示している。

これを犯罪種類別に見ると、窃盗がその74・8%を占め、次いで詐欺（9・4%）横領（2・9%）の順になつており、特に注目しなければならないのは、凶悪犯罪の内殺人・殺人未遂が激増していることである。

一方検挙状況は、捜査体制の改善により年々上昇を続けている。

次に交通事故の状況を見ると、人口増加に伴い自動車類もおびただしく増加して、交通秩序確保の懸命なる努力にもかかわらず事故件数は毎年増加し、本年は1日平均事故発生1・8件・死傷者1・3名を示し、物件損害額は3万2千円となつている。

機　構



市警察職員

（市警察本部調）

警察署別	総数	警察長	警視	警部	警部補	巡査部長	巡査	計	職員 主事	書記	技手	事務員	技術員	現業員	計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
総数	646	1	8	14	38	98	417	576	2	8	2	28	23	7	70
本部	125	1	5	8	19	34	15	82	2	8	2	19	10	2	43
東警察署	219	—	1	2	7	26	173	209	—	—	—	4	4	2	10
西〃	219	—	1	2	7	26	174	210	—	—	—	3	4	2	9
宇品〃	83	—	1	2	5	12	55	75	—	—	—	2	5	1	8

備考　12月22日現在の実人員（定員648人）

派出（駐在）所

派出(駐在)所名		総数	巡査部長	巡査	派出(駐在)所名		総数	巡査部長	巡査
		人	人	人			人	人	人
東警察署管内	駅前	16	2	14	西警察署管内	十日市町	6	1	6
	荒神町	6	—	6		横川町	11	2	9
	青崎	8	2	6		楠木町	6	1	6
	大洲町	6	—	6		己斐町	8	1	8
	東雲町	6	—	6		福島町	8	2	6
	愛宕町	6	—	6		天満町	6	1	6
	尾長町	6	—	6		草津町	8	2	6
	比治山本町	8	2	6		古田町	6	1	6
	段原東	6	—	6		観音町	6	1	6
	南段原町	6	—	6		南観音町	6	1	6
	下流川町	10	2	8		舟入	6	1	6
	猿猴生町	8	—	8		神崎	8	2	6
	宝町	6	—	6		江波町	6	1	6
	東白島町	6	—	6		小網町	6	1	6
	牛田町	6	—	6		午庚	1	1	1
	戸坂町	7	1	7	宇品警察署管内	築港	10	2	8
	本浦	1	1	1		本通町	6	1	6
	海田市	1	1	1		皆実	10	2	8
	基町	10	2	8		大河町	6	1	6
	草屋町	6	1	6		翠町	4	1	4
	鷹野橋	6	1	6		元宇品町	1	1	1
	千田町	6	1	6		似島	1	1	1
	中島	6	—	6		楠那	1	—	1

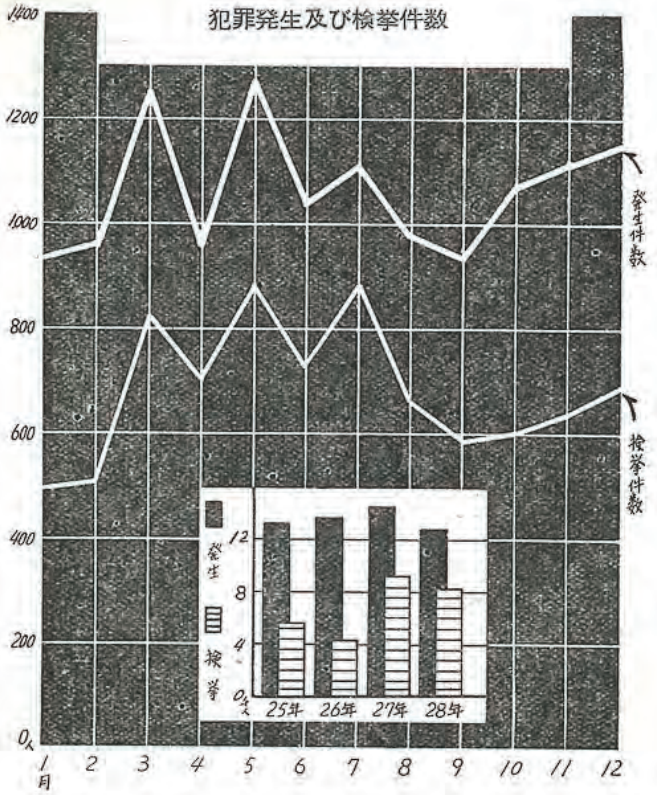
主要犯罪発生及び検挙件数

犯罪別		昭和25年	26	27	28	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総数	件	13,200	13,627	14,607	12,767	929	963	1,260	959	1,270	1,042	1,111	975	928	1,071	1,109	1,150
	人	5,858	6,519	9,192	8,165	492	503	820	705	877	725	878	658	586	600	637	690
殺人	件	4	8	4	11	1	2	1	—	—	2	1	1	—	1	1	1
	人	4	9	4	9	—	2	2	—	—	2	1	1	—	1	—	—
殺人未遂	件	17	23	17	23	2	6	1	2	—	1	2	3	2	—	3	1
	人	17	22	15	25	2	6	1	2	—	1	2	4	2	1	3	1
強盗	件	29	33	33	32	2	3	2	2	3	2	1	2	4	4	5	2
	人	23	32	29	28	1	2	2	2	3	2	1	2	4	3	5	1
強盗殺人	件	1	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	人	2	2	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
強盗傷人	件	10	14	5	12	—	—	1	1	—	2	2	1	1	—	1	2
	人	10	13	5	11	—	—	1	1	—	2	2	1	1	—	1	2
強か.人	件	6	26	33	21	1	1	1	3	1	—	2	4	5	1	1	1
	人	4	25	32	21	1	1	1	3	1	—	2	4	5	1	1	1
放火	件	10	3	8	6	1	—	—	—	3	—	—	—	—	2	—	—
	人	10	3	7	6	1	—	—	—	3	—	—	—	—	2	—	—
窃盗	件	10,195	11,120	10,748	9,549	783	690	898	672	970	776	815	724	621	790	884	926
	人	2,904	4,055	5,401	4,969	348	236	457	418	578	459	583	406	281	322	410	471
詐欺	件	1,102	847	1,385	1,199	50	103	132	87	120	99	107	87	134	119	97	64
	人	1,065	806	1,332	1,185	50	100	131	87	119	99	107	87	134	116	94	61
横領	件	421	270	280	365	15	23	38	36	31	39	24	32	37	28	28	34
	人	419	282	279	365	15	23	39	36	31	39	24	32	36	28	28	34

暴行	118	133	133	172	7	20	9	16	18	4	33	13	18	9	16	9
	115	133	133	172	7	20	9	16	18	4	33	13	18	9	16	9
傷害	285	276	301	296	16	20	32	21	29	27	29	22	18	29	18	35
	284	276	301	295	16	20	32	21	29	27	28	22	18	29	18	35
脅迫	60	48	43	45	6	7	2	1	6	8	3	3	4	—	2	3
	60	47	43	45	6	7	2	1	6	8	3	3	4	—	2	3
恐かつ	187	110	133	127	4	8	23	11	7	7	27	12	11	7	6	4
	187	110	132	126	4	7	23	11	7	7	27	12	11	7	6	4
と博	16	13	20	13	—	—	1	4	3	1	2	—	—	1	1	—
	16	13	20	13	—	—	1	4	3	1	2	—	—	1	1	—
その他刑法犯	739	701	1,457	895	41	79	119	103	79	74	63	71	73	80	46	67
	738	691	1,457	894	41	79	119	103	79	74	63	71	72	80	46	67

備考　上段＝発生　下段＝検挙

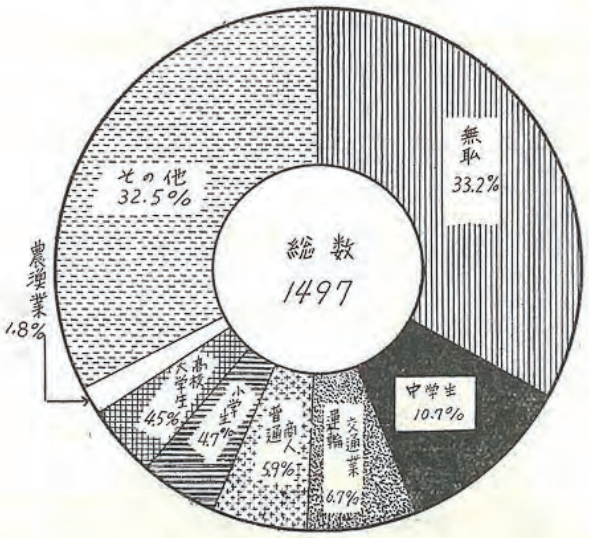
犯罪発生及び検挙件数



青少年犯罪検挙件数

犯罪別	昭和27年	昭和28年 総数	14才未満	14才～18才	18才～20才
	件	件	件	件	件
総数	1,116	1,497	120	649	728
殺人	—	3	—	—	3
放火	3	3	1	1	1
強盗	16	20	1	5	14
強かん	7	7	—	1	6
傷害	41	40	—	17	23
恐かつ	17	17	2	3	12
詐欺	25	33	1	10	22
窃盗	680	618	111	301	206
横領	15	16	—	4	12
脅迫	3	1	—	—	1
と博	8	1	—	—	1
わいせつ	—	—	—	—	—
その他刑法犯	29	41	—	14	27
その他特別法犯	272	697	4	293	400

職業別青少年犯罪発生件数



原因別家出人（昭和28年中）

総数	家庭不和	浮浪癖盗癖のため	出し自家の金品を持	しつ責父兄その他より	恋愛関係のため	あこがれ大都市の生活に	悪友に誘惑され	性行不良のため	雇主よりしつ責虐待	離婚結婚を悲観して	放いん楽蕩のため	病弱その他により悲観	負債の償却納税を苦にして	精神異状のため	営業失敗のため	俳優その他楽団にあこがれ	業務に失敗失業	その他
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
477	51	43	39	37	34	24	24	21	18	16	16	14	14	13	12	11	10	80

経済違反取締状況（検挙人員）

昭和25年	26	27	28
1,834人	996人	391人	123人

各種営業許可件数

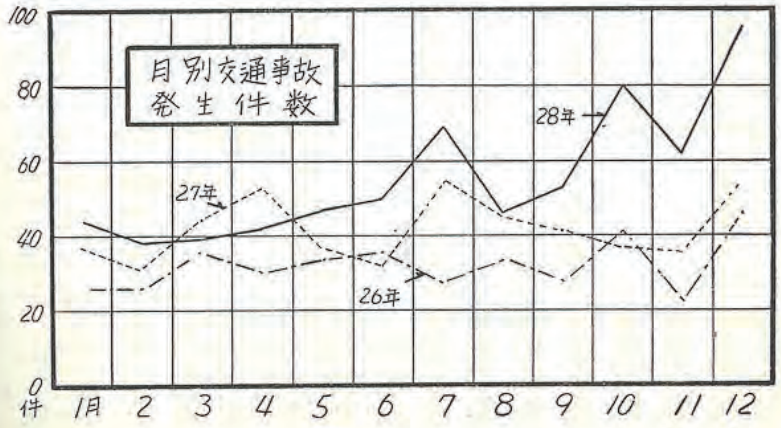
業種別	昭和27年末	昭和28年許可件数	昭和28年末
	件	件	件
総数	2,100	497	1,907
古物商	1,322	140	1,148
質屋	206	70	217
風俗営業	572	287	536

交通事故発生件数

年月別	発生件数	死者	傷者	物的損害額
	件	人	人	千円
昭和25年	363	30	238	4,659
26	387	38	258	5,440
27	503	34	327	6,574
28	**666**	**45**	**472**	**11,798**
1月	44	4	25	735
2	38	6	18	679
3	39	4	25	1,396
4	42	2	22	1,601
5	47	5	32	633
6	50	4	32	533
7	69	4	50	641
8	46	2	28	437
9	53	8	29	841
10	80	3	47	2,298
11	62	2	44	1,095
12	96	1	60	909

交通機関別による事故発生件数

交通機関別	昭和27年	昭和28年		
		発生件数	死者	傷者
	件	件	人	人
総数	**503**	**666**	**45**	**472**
乗用自動車	138	88	—	30
貨物自動車	188	136	9	62
乗合自動車	28	56	2	26
その他の自動車	3	20	—	13
原動機付自転車	—	6	—	6
電車	26	43	4	27
汽車	7	11	6	7
自転車	52	95	2	78
荷牛馬車	7	14	4	7
その他	54	197	18	156

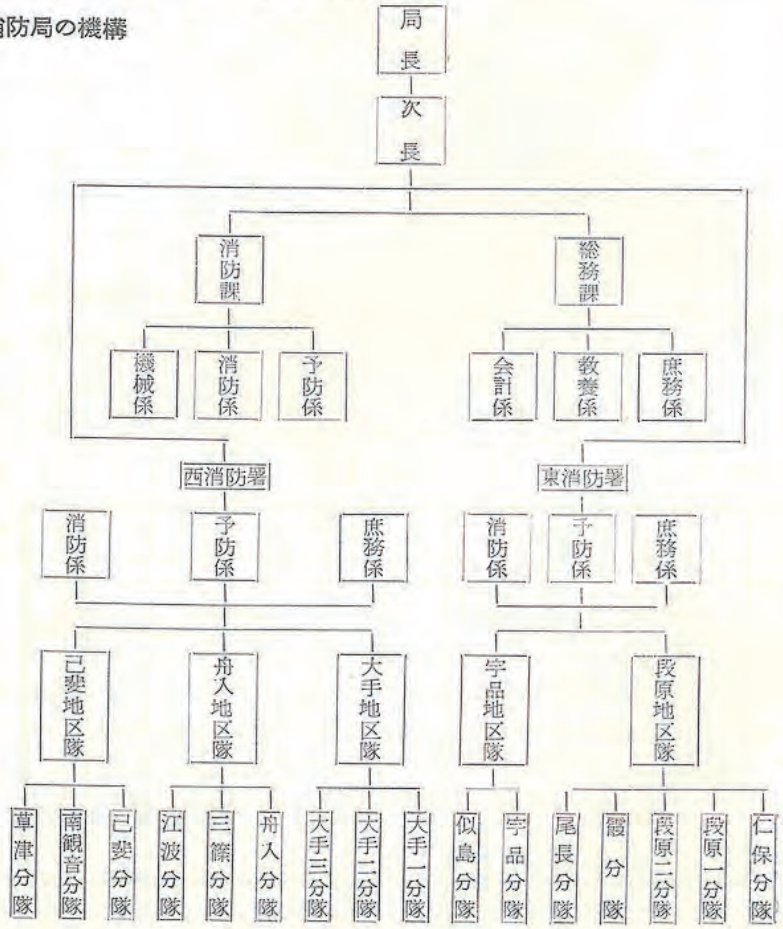


消　　防

従来警察行政の一部門としての消防業務は、昭和22年消防組織法の公布に伴い警察行政より分離独立し、自治体消防としての広島市消防局が翌23年3月に設置された。そして消防業務を遂行するために現在消防本部（消防局）の下に2署・5地区隊・16分隊を配し、局長以下301名の職員をもつて業務を運用している。またこの外に、補助隊としての消防団（3支部31分団1,396名）が組織され、その本部を消防局内に設け火災防止或は消火活動に協力し多大な成果を挙げている。

なお、昭和28年中の火災発生件数は182件で昨年に較べ約80件（73・3%）の増加を示しているが、被害額は最近3カ年は年々減少し、本年は昨年より4,225千円（4・1%）減少しており、この成果は日常訓練された職員及び整備された機械器具並びに機敏な消火によるところが非常に多いものと思われる。

消防局の機構



消防装備及び職員配置

（消防局調）

所属別	装備 総数	自動車	ポンプ	タンク車	化学車	はしご車	その他	職員 総数	消防長	司令長	司令	司令補	士長	消防士	その他職員
総数	30	16	4	1	1	8		301	1	3	4	17	57	213	12
消防局	4	—	—	—	—	4		48	1	1	2	6	10	20	8
東消防署	12	7	2	—	—	3		105	—	1	1	5	17	79	2
内勤	—	—	—	—	—	—		16	—	1	1	3	4	5	2
段原1・2分隊	5	2	1	—	—	2		32	—	—	—	1	4	27	—
仁保分隊	2	2	—	—	—	—		12	—	—	—	—	2	10	—
霞分隊	1	1	—	—	—	—		12	—	—	—	—	2	10	—
尾長分隊	2	1	1	—	—	—		12	—	—	—	—	2	10	—
宇品分隊	1	1	—	—	—	—		13	—	—	—	1	2	10	—
似島分隊	1	—	—	—	—	1		8	—	—	—	—	1	7	—
西消防署	14	9	2	1	1	1		148	—	1	1	6	24	114	2
内勤	—	—	—	—	—	—		22	—	1	1	3	6	9	2
大手1・2・3分隊	5	2	1	1	—	1		44	—	—	—	1	6	37	—
舟入分隊	1	1	—	—	—	—		15	—	—	—	1	2	12	—
三篠分隊	1	1	—	—	—	—		14	—	—	—	—	2	12	—
江波分隊	2	2	—	—	—	—		12	—	—	—	—	2	10	—
己斐分隊	2	1	1	—	—	—		15	—	—	—	1	2	12	—
南観音分隊	2	1	—	—	1	—		14	—	—	—	—	2	12	—
草津分隊	1	1	—	—	—	—		12	—	—	—	—	2	10	—

原因別火災発生件数

年次＼原因別	総数	たき火	かのまど火	七輪	こたつ	煙突	たばこ	電気関係	油類引火	放火	ろう火	こんろ石油	その他	調査中不明及び
昭和25年	166	7	19	?	16	35	8	16	18	10	4	?	20	13
26	144	3	1	?	11	23	8	9	6	3	3	?	59	18
27	105	1	7	?	7	22	5	7	8	3	1	?	39	5
28	182	12	6	7	12	29	14	14	26	11	12	12	20	7

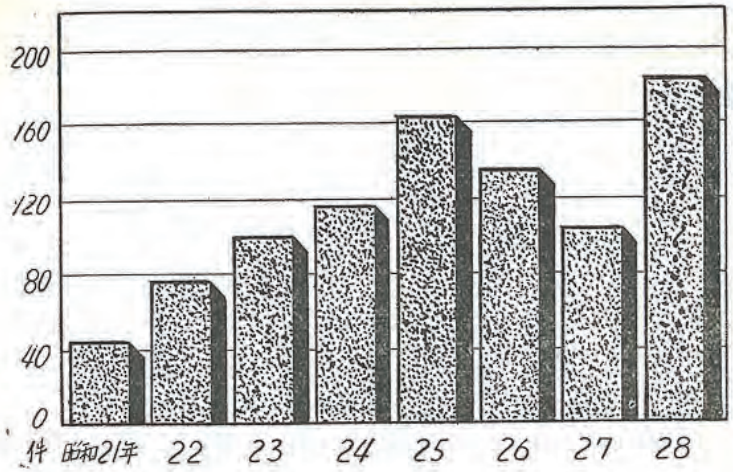
建物別及びその他の火災被害状況

年月別	総数		建築物										船舶		車輌		その他	
			一般住宅		会社工場		店舗		官公庁学校・病院									
	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額			件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
昭和		千円		千円		千円		千円		千円				千円		千円		千円
21年	46	5,430	-	—	-	—	-	—	-	—			-	—	-	—	-	—
22	76	67,237	-	—	-	—	-	—	-	—			-	—	-	—	-	—
23	99	170,074	-	—	-	—	-	—	-	—			-	—	-	—	-	—
24	114	279,897	-	—	-	—	-	—	-	—			-	—	-	—	-	—
25	166	132,364	65	3,123	32	52,849	-	—	7	28,311			4	135	-	—	58	47,946
26	144	179,421	53	9,123	39	26,150	33	14,391	11	127,620			3	2,011	5	126	-	—
27	105	102,576	28	3,116	31	79,448	19	14,494	5	1,283			1	5	6	400	15	3,831
28	**182**	**98,352**	**64**	**25,478**	**26**	**24,267**	**34**	**6,302**	**10**	**35,164**			**2**	**112**	**13**	**1,473**	**33**	**5,556**
1月	19	5,685	6	304	5	1,292	3	172	2	3,798			-	—	-	—	3	119
2	18	2,927	8	605	4	1,842	2	221	-	—			-	—	1	3	3	256
3	15	1,982	5	541	-	—	5	1,116	1	—			1	102	1	5	2	218
4	22	6,898	8	2,222	2	8	5	2,700	1	2			-	—	1	4	5	1,962
5	9	1,901	1	262	1	554	4	435	-	—			-	—	1	11	2	639
6	3	113	-	—	-	—	-	—	1	10			-	—	1	100	1	3
7	16	9,755	6	2,993	2	297	3	24	2	5,424			-	—	1	50	2	967
8	9	344	3	4	1	195	1	1	1	2			-	—	2	126	1	16
9	10	30,334	4	45	1	4,867	2	16	1	25,254			-	—	2	152	-	—
10	19	19,310	7	16,328	2	2,035	4	818	-	—			-	—	1	20	5	109
11	20	3,677	9	1,344	3	671	-	—	1	674			1	10	1	2	5	976
12	22	15,426	7	830	5	12,506	5	799	-	—			-	—	1	1,000	4	291

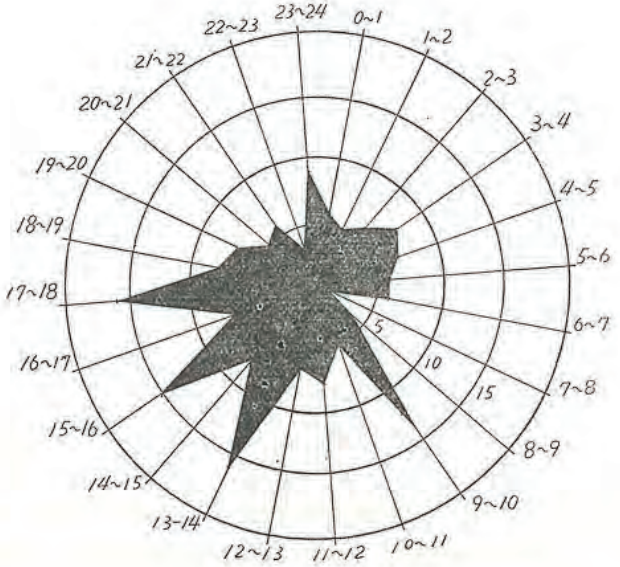
消防水利の設置状況

署別	総数	消火栓	貯水槽	河川	海水	濠水	池水	井水	下水	プール	マホールシ	運河	溜水	溝水	貯水池
総数	**2,956**	**2,257**	**275**	**137**	**47**	**4**	**16**	**32**	**99**	**11**	**44**	**2**	**8**	**8**	**16**
東署	1,228	880	150	28	35	—	6	16	82	3	21	—	2	5	—
西署	1,728	1,377	125	109	12	4	10	16	17	8	23	2	6	3	16

年別火災発生件数



時間別火災発生件数

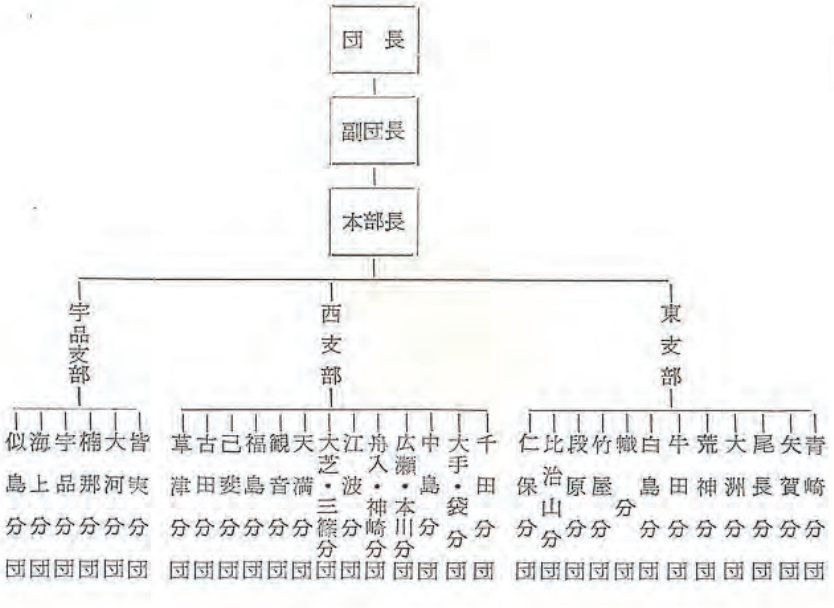


全国火災発生及び被害状況

（日本統計年鑑）

年別	件数		損害見積額		焼失坪数		罹災世帯数		死傷者数	
	総件数	(内)山林原野	総額	(内)山林原野	建物	山林原野	全焼	半焼	死亡	負傷
	件	件	千円	千円	坪	坪	世帯	世帯	人	人
昭和10年	19,075	—	53,912	—	—	—	—	—	408	2,781
15	17,069	—	210,138	—	—	—	—	—	680	2,278
21	14,460	—	3,333,057	—	1,070,886	—	—	—	420	1,695
22	18,806	2,918	10,864,194	202,730	1,179,238	39,562	30,162	4,121	485	2,695
23	17,022	1,923	13,323,769	280,845	773,239	92,881	18,664	3,897	407	2,046
24	18,484	1,334	26,997,306	198,128	918,899	67,658	21,597	4,311	425	4,333
25	19,243	1,161	21,812,185	343,609	692,952	98,963	16,694	3,895	423	4,269
26	21,223	1,582	22,228,151	152,172	717,752	49,528	16,121	4,113	678	6,475

消防団の組織



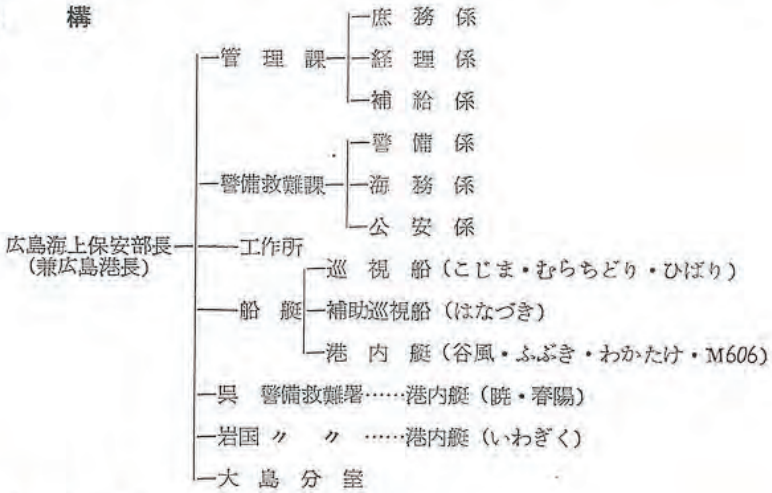
消防団装備並びに編成人員

支部別	装備						編成人員						
	総数	三輪車	ポンプ	中型自動車ポンプ	手引ガソリンポンプ	可搬式動力ポンプ	総数	支部長	副支部長	分団長	副分団長	班長	消防員
総数	37	11	9	11	6		1,396	3	5	31	34	158	1,165
東支部	14	4	5	4	1		512	1	2	12	13	57	427
西〃	12	4	4	3	—		601	1	2	13	14	70	501
宇品〃	11	3	—	4	5		283	1	1	6	7	31	237

海上保安

広島・山口・愛媛の3県にわたる内海々上治安の維持及び広島港々長として、港内全般の取締業務を担当する広島海上保安部は、昭和25年10月第6管区海上保安本部の下部組織として設置され、現在保安部長（広島港長）以下177名の職員を配し、次の機構によりその業務を運営している。

機構



職員数

総数	海上保安官	事務官	海上保安官補	雇員
177人	126人	1人	34人	16人

警備救難業務

昭和28年中の海上犯罪の検挙件数は、566件で昨年に比べると約1.8倍となつており、この内の半数以上は海事関係法令違反（311件）で、次いで漁業関係法令違反（161件）となつている。なお、近時は内外諸情勢の推移に伴ない、海上犯罪も特に密航・密輸及び密漁或は密引揚等が多く、益々巧妙複雑を極め兇暴化してきている。海難事故は年々減少しているが、本年の発生件数は35件（昭和27年は65件）を数え、相当の人的・物的被害を出した。

これに対し当局としては、海上犯罪の撲滅並びに海難事故の未然防止のために、各関係機関・各関係業者との協力を図り、また職員の訓練を強化する等万全の方策を講じている。

港　湾　業　務

広島港内における船舶交通の安全及び秩序を維持するための主要な港湾管理業務は次の通りである。

○入出港の届出
○錨地の指定
○危険物の積卸
○水路の安全
○港内の工事許可

註　広島港における主要統計は港湾編（211頁～220頁）に記述。

海上犯罪検挙件数

年次	総数	海事関係法令違反	漁業関係法令違反	経済統制法令違反	火薬類取締法違反	運輸省令違反	刑法犯	不法出入国	密貿易	その他
昭和27年	324	151	89	7	26	44	5	—	—	2
28	566	311	161	15	16	42	8	4	5	4

海難事故発生件数

年次	総数	汽船	機帆船	その他
昭和27年	65	4	39	22
28	35	7	19	9

第9編　産　　業

広島商工会議所

広島本通り

胡町通り（胡子講）

八丁堀（福屋附近）

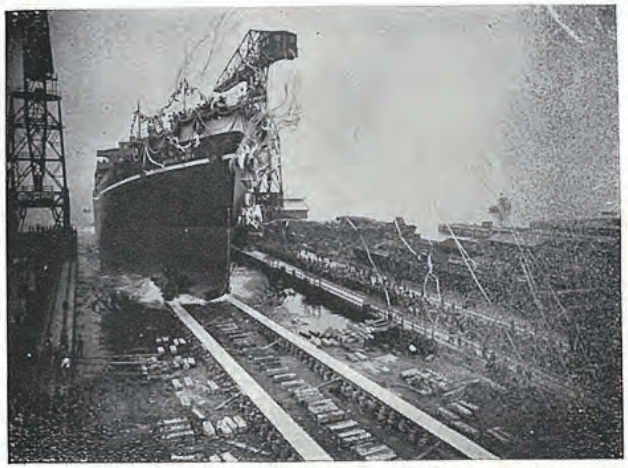
金座街

ゴム工業

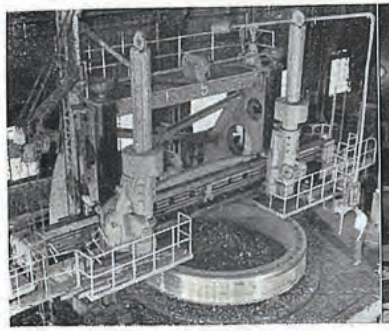
和傘製造（毎日新聞社提供）

製針業（フラワーピン）
（毎日新聞社提供）

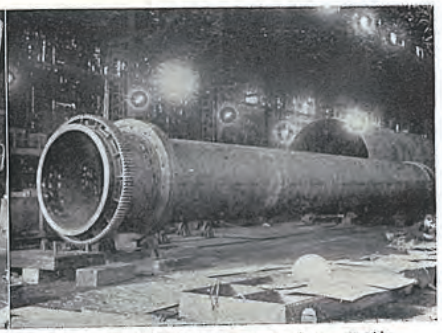
三菱造船株式会社広島造船所工場構内



N.Y.K.まにら丸の進水（12,746重量トン・19.5ノット）



大型ターニングマシン



ソーダー焙焼炉用カルサイナー胴体

蓮根栽培

無花果畑

筏式かき養殖

計　量　検　査

広　島　競　輪

商　　業

古く城下町時代から発展してきた本市の商業は、明治時代の半ばから今次の戦争前までは軍都としての都市的性格の影響を受け、極めていん盛であり、その商業圏は県内はもちろん、遠く山陰・四国・九州方面にまで拡がつていたが、戦災による破壊に会いその機能は全面的に一時停止した。しかし、その後年とともに市街地の復興につれ人口も急激に増加して本市の商業界は再び活発化して商業都市の性格いよいよ濃く、商店街の整とん、にぎわいはすでに戦前以上の状態にまで立ち直つて来ている。しかし国内の景気は、朝鮮動乱の終結前後から停滞ないし後退に踏み入れており、こんにちの諸情勢下では商業界今後の長期的不況が憂慮されている。

昭和27年9月1日現在、本市の商店数は8,563店舗(広島県総数に対し25%)あり、この内最も多いのは飲食料品小売業2,859店舗(32.4%)、次いで一般卸売業1,382店舗（16.1%)、飲食店1,147店舗（13.4%)、呉服衣服及び身廻品小売業1,032店舗（12.1%) ……の順となつている。なお、この内には東京・中京・京阪神並びに北九州地区の大商社及び卸問屋等の支店・出張所が340店舗ある。

店舗数・従業者数及び売上額

（調査課調）

業態別		店舗数	従業者数	1カ月間売上額 総額	卸売	小売	手数料
		店	人	千円	千円	千円	千円
総数	昭26年	8,394	25,487	4,792,626	3,710,771	1,064,050	17,805
	27	8,563	25,150	4,420,031	3,198,018	1,217,032	4,981
一般卸売業	26	1,266	8,083	3,688,058	3,557,841	120,096	10,121
	27	1,384	8,536	3,252,881	3,159,715	92,747	419
貿易業	26	5	53	103,227	103,027	—	200
	27	3	12	2,596	2,596	—	—
代理商及び仲立業	26	38	195	17,014	14,343	597	2,074
	27	4	8	290	—	—	290
各種商品小売業	26	1	310	32,352	—	32,352	—
	27	13	448	71,048	—	71,048	—
専門品小売業	26	5,674	12,779	847,584	34,562	807,611	5,410
	27	5,680	12,368	969,770	34,433	931,835	3,502
製造品小売業	26	280	729	19,984	997	18,987	—
	27	324	665	21,914	979	20,182	753
飲食店	26	1,130	3,332	84,407	—	84,407	—
	27	1,155	3,113	101,532	295	101,220	17

備考　1．本市の独自集計による概数である。
2．売上額千円未満は4捨5入のため必ずしも総数に一致しない。
3．売上額は昭和26年は10月中、27年は8月中の各1カ月間である。

全国主要都市別商店数及び売上額

都市名	店舗数	従業員数	売上額（含む手数料）
		人	千円
札幌	5,646	17,943	778,427
函館	4,167	11,892	2,176,175
仙台	7,270	23,443	4,598,510
千葉	2,685	7,589	894,609
東京	144,723	495,662	153,886,126
横浜	?	?	?
川崎	5,579	14,994	13,783,981
横須賀	4,184	14,144	13,090,015
新潟	1,371	10,355	3,053,511
金沢	6,290	19,147	68,100,000
岐阜	6,168	16,566	698,409
静岡	5,288	14,085	1,806,169
名古屋	30,714	105,808	46,199,114
京都	27,768	79,173	15,937,995
大阪	67,396	271,118	179,123,464
堺	4,449	8,872	8,646,043
神戸	19,549	55,969	14,216,270
尼崎	4,878	11,076	706,647
姫路	4,594	12,816	17,294,146
和歌山	4,561	10,575	?
松江	1,917	6,487	1,007,999
岡山	5,250	15,379	3,259,650
倉敷	1,938	4,755	444,066
広島	8,563	25,150	4,420,031
下関	3,911	12,149	3,068,645
福岡	9,762	38,841	66,983,706
八幡	3,904	49,073	17,496,873
長崎	5,217	16,399	27,740,705
熊本	7,036	21,757	37,388,352
鹿児島	5,995	20,227	2,675,846

卸売業者実態調査

卸売業が本市商業界に占める地位は極めて重要であり、今後一層商業界の振興発展を図るためには卸売業者の育成助長こそ当面の急務である。そのため本市では業界の実態を詳細には握して、その対策を講ずる目的をもつて、本年8月1日現在により1,427店舗（調査票を回収したのは836店舗）を対象に「卸売業者実態調査」を施した。その結果の一部は次の通りであつて、中小企業の様態を現わしている。

組織別業者数

（商工課調）

総数	個人	合名会社	合資会社	有限会社	株式会社	組合	その他
店舗 836	323	12	11	114	360	15	1
% 100.0	38.6	1.4	1.3	13.6	43.2	1.8	0.1

資本金

総数	50万円未満	50～100	100～300	300～500	500～1,000	1,000以上
店舗 836	311	201	227	47	24	26
% 100.0	37.2	24.0	27.2	5.6	2.9	3.1

創業時期

総数	明治以前及び明治時代	大正時代	昭和1年～16年	17年～20年8月	20年8月以降	不詳
店舗 836	79	91	95	38	520	13
% 100.0	9.4	10.9	11.4	4.5	62.2	1.6

現在地営業年数

総数	3年未満	3～5	5～10	10～15	15～20	20～30	30年以上	不詳
店舗 836	124	208	331	23	23	36	82	9
% 100.0	14.8	24.9	39.5	2.8	2.8	4.3	9.8	1.1

従業者数

総数	5人未満	5～10	10～15	15～20	20～25	25～30	不詳
店舗 836	382	273	86	37	24	31	3
% 100.0	45.6	32.7	10.3	4.4	2.9	3.7	0.4

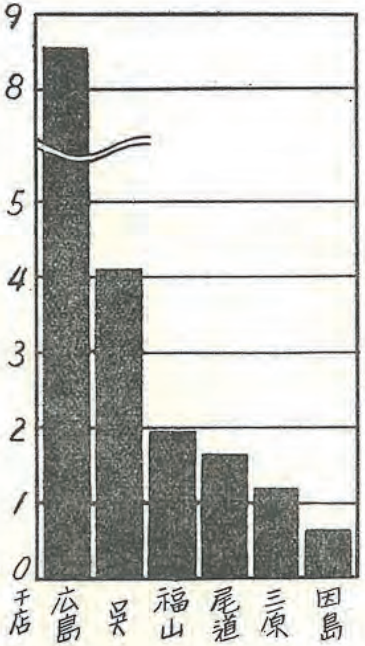
年間仕入・販売額

総数	1,000万円未満	1,000～3,000	3,000～5,000	5,000～7,000	7,000～10,000	10,000～20,000	20,000～30,000	30,000以上	不詳
店舗 836	335 (316)	255 (264)	101 (106)	41 (44)	40 (35)	37 (40)	11 (15)	12 (12)	4 (4)
% 100.0	40.1 (37.7)	30.5 (31.6)	12.1 (12.7)	4.9 (5.3)	4.8 (4.2)	4.4 (4.8)	1.3 (1.8)	1.4 (1.4)	0.5 (0.5)

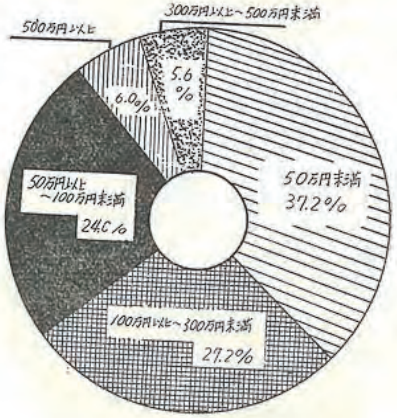
備考　（　）内は販売額を示す。

広島県都市別商店数

（昭.27.9）



資本金別店舗数



資本金別諸経費割合

経費別 ＼ 資本金別	100万円未満	100～500	500以上
総数	% 100.0	% 100.0	% 100.0
人件費	38.9	42.8	38.5
租税	23.6	21.2	14.4
広告宣伝費	4.8	5.1	6.9
その他	32.7	30.9	40.2

平均利幅

総数	2%未満	2～4	4～6	6～8	8～10	10～15	15～20	20以上	不詳
店舗 836	57	78	161	162	176	122	55	22	3
% 100.0	6.8	9.3	19.3	19.4	21.0	14.6	6.6	2.6	0.4

工　業

本市の工業企業は、商業界の場合と同様に大部分は中小企業より成つている。

昭和28年末現在において行われた工業調査の結果をみると、事業所総数 1,800の内従業者3人以下の事業所は全体の45.2%を占める813で4人以上9人以下が449（24.9%）、10人以上100人以下は502（27.9%）で、従つて 100人未満の中小企業が事業所総数の98.0%に当る1,764を占めている。

次にこれを産業別に分類すると最も多いのは食料品の 476（26.4%）、次いで家具 281（15.6%）、木材237（13.2%）、機械器具137（7.6%）、金属製品117（6.5%）…… の順になつている。

従業者数は、総数26,425人（男19,754人、女6,671人）で前年に比較して5.7%の増加を示している。

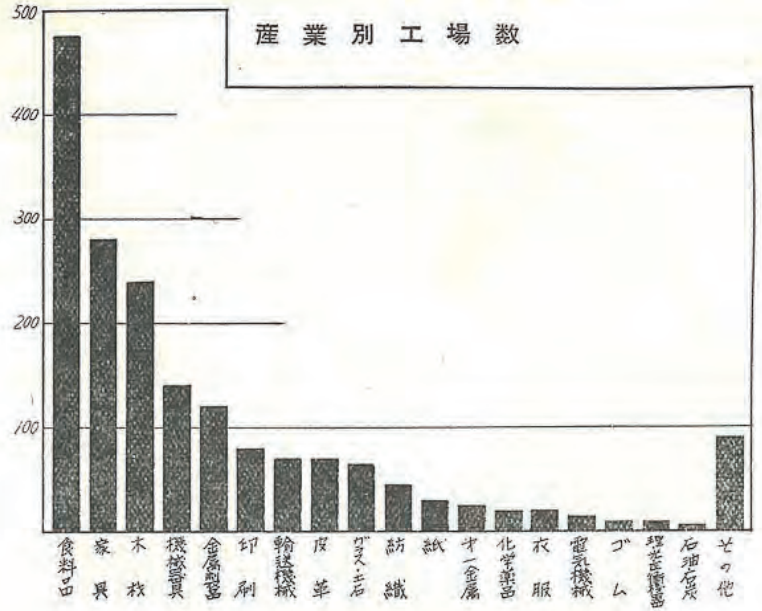
製造品出荷額は、総額約225億円（前年の19.1%増）で、産業別には食料品の 48億6千万円（総額の21.6%）、機械器具26億2千万円（11.6%）、木材17億4千万円（7.7%）、金属製品14億円（6.2%）……の順になつている。

産業別事業所数・従業者数並びに生産額

（調査課調）

産業別	事業所数	従業者数 総数	常用労働者 計	常用労働者 男	常用労働者 女	個人業主及び家族従業者 計	個人業主及び家族従業者 男	個人業主及び家族従業者 女	製造品出荷額等 総額	製造品出荷額等 製造品出荷額	製造品出荷額等 加工賃料修理等収入
		人	人	人	人	人	人	人	百万円	百万円	百万円
昭和24年	1,371	21,865	20,454	16,070	4,384	1,411	—	—	7,104	6,364	740
25	1,691	22,414	20,610	15,912	4,698	1,804	—	—	9,934	9,435	499
26	2,014	24,109	21,885	16,633	5,252	2,224	—	—	15,086	14,487	599
27	1,929	25,009	22,946	17,448	5,498	2,063	1,676	387	18,918	18,174	744
28	1,800	26,425	24,624	18,323	6,301	1,801	1,431	370	22,620	21,542	1,078
食料	476	4,313	3,642	2,008	1,634	671	433	238	4,933	4,900	33
紡織	43	696	657	246	411	39	28	11	1,044	963	81
衣服	19	255	243	89	154	12	9	3	195	165	30
木材	237	1,881	1,669	1,367	302	212	179	33	1,737	1,708	29
家具	281	1,691	1,402	1,299	103	289	274	15	683	647	36
紙	30	565	531	286	245	34	24	10	424	422	2
印刷	77	2,002	1,958	1,600	358	44	36	8	1,446	1,420	26
化学薬品	20	434	426	323	103	8	5	3	730	730	—
石油石炭	7	128	123	75	48	5	4	1	79	79	—
ゴム	11	1,040	1,038	394	644	2	2	—	565	564	1
皮革	71	344	274	154	120	70	65	5	193	170	23
ガラス土石	64	924	862	665	197	62	50	12	790	785	5
第一金属	26	630	624	569	55	6	6	—	576	571	4
金属製品	117	1,727	1,625	1,266	359	102	97	5	1,401	1,318	83
機械器具	137	3,905	3,816	3,446	370	89	81	8	2,619	2,466	153
電気機器	13	671	666	464	202	5	5	—	767	428	339
輸送機器	72	3,553	3,497	3,291	206	56	55	1	3,673	3,456	217
理・光・医衡機器	10	136	125	83	42	11	10	1	94	88	6
その他	89	1,530	1,446	698	748	84	68	16	671	659	12

備考　製造品出荷額等は、100万円未満を4捨5入しているので総額に一致しない。

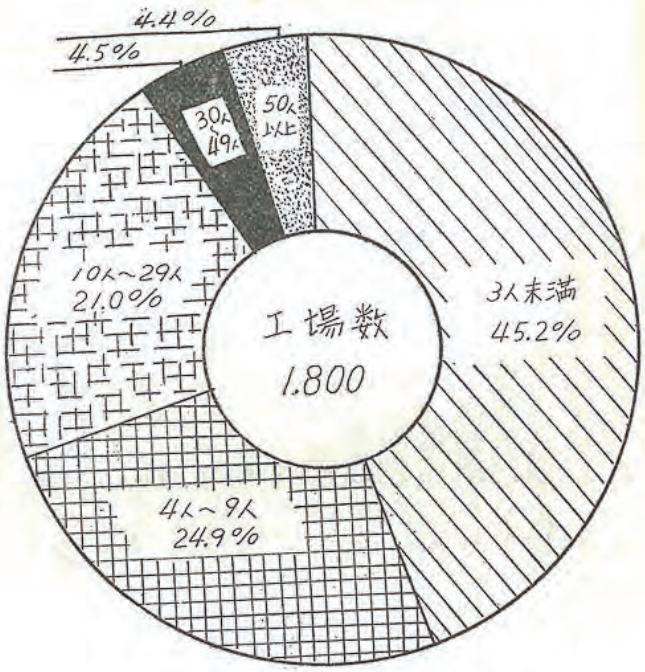


規模別事業所数・従業者数並びに生産額

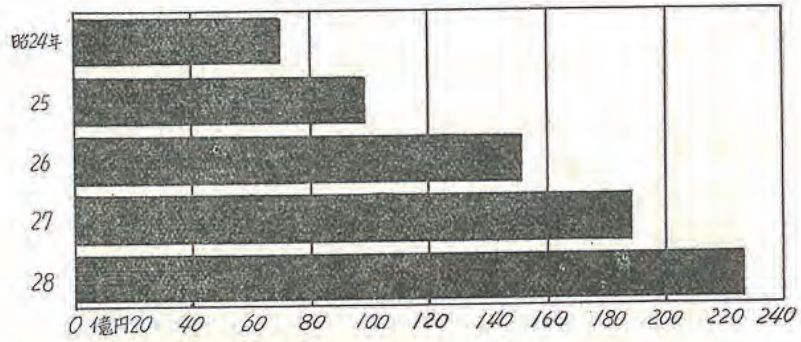
区分	総数	3人未満	4～9	10～29	30～49	50～99	100以上
事業所数	1,800	813	449	378	81	43	36
	(100.0)	(45.2)	(24.9)	(21.0)	(4.5)	(2.4)	(2.0)
従業者数（人）	26,425	1,693	2,870	6,123	2,985	2,785	9,969
	(100.0)	(6.4)	(10.9)	(23.2)	(11.3)	(10.5)	(37.7)
製造品出荷額等（百万円）	22,620	741	1,866	4,812	2,115	2,619	10,468
	(100.0)	(3.3)	(8.2)	(21.3)	(9.4)	(11.5)	(46.3)

備考　製造品出荷額は100万円未満を4捨5入しているので総額に一致しない。

規模別工場数（昭和28年末現在）



年別生産額



工芸指導所

昭和26年度をもつて戦災の復旧を完了した本所は、27年4月からは業界の期待に応えて名称も従来の工業指導所を現名称に改称し、また内部機構を整備して本格的に業務を開始し、昭和27年度には高周波加熱機外8台の最新木工機械と、鋳物砂用通気試験機を新設した。更に本年に入つてアリ取機械・万能木工刃物研磨機・噴霧塗装機械を新設（また、燃研式熱量計・鋳物砂分別装置も現在設備中）する等、次第に設備内容の充実を図かり、一方これに並行して試験・研究も長足の進歩を遂げた。また行事として講習会・展示会等を開催して本市業界の発展向上に貢献している。

種類別利用状況

（工芸指導所調）

種類別		総数	試作と試験	相談と指導	設備の利用
		件	件	件	件
総数		1,786	1,335	432	19
木材工芸	家具類	193	120	58	15
	玩具類	43	18	25	—
	塗装	57	25	32	—
	その他	18	9	5	4
金属工業	鋳造	313	78	235	—
	分析	311	280	31	—
	材料試験	851	805	46	—

機械器具設備数量

種別	機械器具の種類	数量
	種	点
総数	90	100
木工機械器具類	20	21
材料試験機・工作機械・分析装置類	33	35
熔鉄炉・鋳物試験機類	20	20
精密測定器具類	11	17
調質炉・熔接機類	6	7

商工相談所

商工相談所は昭和24年に開設されて以来中小企業者の良き相談相手としてそれぞれの問題を究明解決し、業界の育成助長につとめている。本年の相談件数は、総数 2,972件で金融問題に関する相談が相変らず最高で本年も 1,374件（43.2%）を数えている。

種類別相談件数　（商工相談所調）

総数	金融	法規	経営	取引	税務	特許	技術	経理	資材	労働	貿易	意匠	その他
件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
2,972	1,374	68	471	164	30	24	18	191	2	1	5	2	622

商工業の振興対策

工場設置条例

この条例は、本市産業の興隆を図るために、市において必要と認める事業経営者（投資額5百万円以上、または常時使用する工員数50人以上）が、新たに工場を設置または増設しようとする場合に、奨励金（固定資産税及び市民税相当額）の交付（3ヵ年）、或はその他の援助（設置に必要な上下水道・道路等諸施設の整備）により事業の育成助長をするもので、昭和26年8月に制定されて以来、こんにちまで次の3工場がその適用を受け、更に1工場（広島瓦斯(株)）が申請中で、これも近く適用を受ける予定である。

適用事業所名　（商工課調）

事業所名	所在地	製造品目	条例適用年度	奨励金交付額 総額	第1年度	第2年度
				円	円	円
日本針工業(株)	楠木町3丁目	ミシン針	27	122,546	62,916	59,630
広島硝子工業(株)	南千田町	ガラス壜	〃	2,987,958	1,508,458	1,479,500
辰栄工業(株)	吉島本町	内燃機消防ポンプ	28	218,560	218,560	—

企業診断

本市の基幹産業である中小商工業界の振興を推進することは、市の発展を図る上において欠くことの出来ない極めて重要な条件である。従つて市においては、その施策の1方策として前年に引き続き、大阪府立産業能率研究所から講師を招き、商店街及び商店経営の診断並びに広島県産業振興会、或いは広島電力協議会などの協力を得て、工場経営診断・電力使用合理化診断・熱管理診断を実施してそれぞれ多大の成果を収めた。

金融対策

産業界の景気の後退の上に、政府の金融引締政策が中小企業界に及ぼしている影響はは

なはだ深刻で、今後ますますその度を深めようとしている。このような現状からして、本市には業界の金融難を柔らげ、円滑な経営を促進させるために、現在次のような融資制度が設けられている。

1 広島市中小企業協同組合融資制度

この制度は、商工組合中央金庫に5百万円預託して、広島市中小企業協同組合を通じ、組合員（中小商工業者）に最高30万円、期限3ヵ月以内の短期運転資金の融資を行つている。本年の融資状況は次の通りである。

金額別貸出状況

区分	総数	1万円～5万円	6～10	11～15	16～20	21～30
貸出件数 (件)	280	10	62	37	76	95
貸出金額 (万円)	5,452	50	580	553	1,520	2,749

2 広島市中小企業小口融資制度

前記制度に並行して、広島信用金庫に6百万円、広島商工信用金庫に2百万円をそれぞれ預託して、両金庫を通じて最高20万円、期限3ヵ月以内において短期運転資金の融資を行つている。本年の融資実績は次表の通りである。

貸出状況

区分	申込累計 件数	申込累計 金額	貸出累計 件数	貸出累計 金額	残高 件数	残高 金額
	件	千円	件	千円	件	千円
総額	986	32,206	626	52,874	237	22,372
広島信用金庫	652	6,710	426	40,395	163	16,857
広島商工信用金庫	334	25,496	200	12,479	74	5,515

3 広島市中小企業設備近代化融資制度

業者の現有施設を改善して、企業の合理化を図るため、商工組合中央金庫に1千万円預託して、組合には3百万円、組合員には2百万円、期限3ヵ年以内の長期資金の融資を行う。しかし本制度は、この年の11月に始められたもので、本年内には次の通り申込はあつたが融資はしていない。

申込件数　19件
申込金額　27,630千円

4 信用保証協会

市では、この信用保証協会（昭.23.10設立）に対して、現在まで4百万円（広島県は

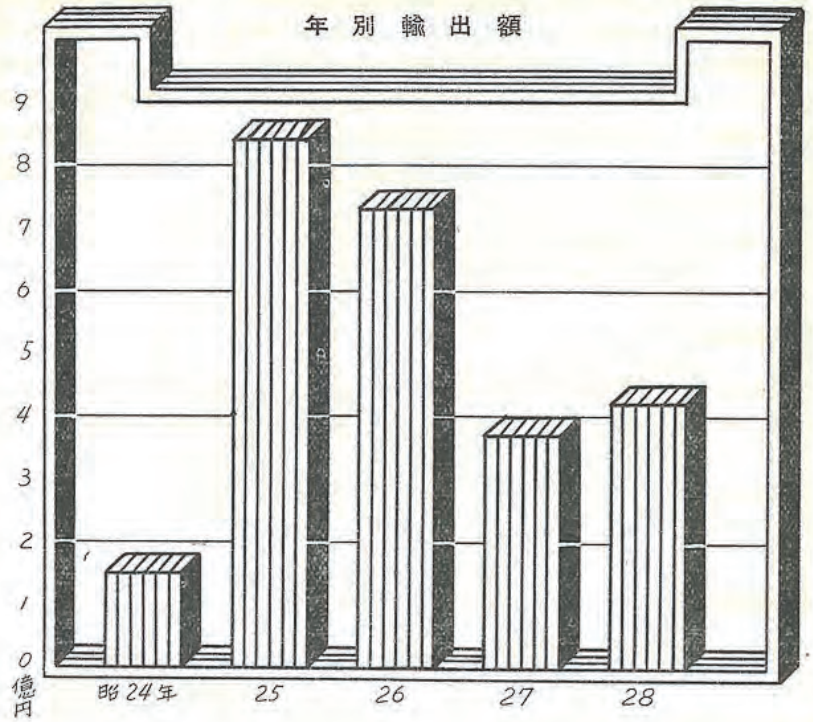
4千万円）を寄附して、信用度の薄弱な中小企業者の保証を行ない、金融機関の貸出促進を図つた。

貿　　易

昭和28年中における本市生産品の輸出実績は、総額約4億2千万円で、前年に較べると14.7%の増であつた。しかし戦後最高の輸出実績は、昭和25年の約8億3千6百万円で、26年はその12.5%減、27年には更に56.3%減と½以下に下降しており、従つて本年の増加はその輸出内容からみても、必ずしも好転を意味するものでなく、むしろ大勢は悲観的な方向にあり、この傾向は本市に限らず全国的な傾向で、我が国貿易界の暗さを反映している。

広島市生産品輸出実績　　（商工課調）

年別	金額	仕向地
	千円	
昭和24年	153,694	
25	835,720	
26	731,236	
27	365,307	
28	419,023	
グルタミンサンソーダ	190,389	スイス・香港・フランス・バンコック・英国・ハワイ・シンガポール
縫針	113,474	米国・パキスタン・ビルマ・メキシコ・韓国・アフリカ・台湾・イタリア・南阿・南米
ゴム製品	26,040	ハワイ・米国・ベルギー・C.P.O
缶詰	17,583	ハワイ・台湾・C.P.O
フラワピン	16,051	米国
農機具	14,557	パキスタン・韓国・米国
船舶部品	10,019	台湾
ミシン針	9,157	南米・サイゴン・沖縄
繊維機械	8,662	韓国・台湾
菓子	5,022	ハワイ
テンパルスイッチ	4,005	米国
特殊針	1,075	米国・台湾・南米
人形	1,000	米国・メキシコ
蓄針	879	メキシコ・ペルー
和傘	572	ハワイ
薬品	538	ハワイ



計　　量

計量器検査状況　　（商工課調）

区分	総数	長さ計	体積計	はかり 天びん	はかり 棒はかり	はかり 等比皿はかり	はかり 不等比皿はかり	はかり 台手動はかり	はかり 指示はかり	はかり 併用はかり	はかり 小計	はかり 分銅おもり
検査件数	25,360	454	1,943	115	673	407	1,178	751	2,704	2	5,830	17,133
(内)不合格件数	797	32	93	5	48	36	150	114	199	—	552	120

農　　業

市内耕作地面積は、都市の発展につれて益々狭あいな面積に圧縮されている。

昭和27年8月現在、本市の耕作地面積は607町歩、農家戸数は3,224戸（土地を耕作しない農家27戸を除く）で1戸平均の耕作地面積は全国平均の10.7反及び広島県平均の4.6反

に比べ、わずかに 1.8反と言う零細なものであり、この規模によつて農家経済の確立を図ることは、極めて困難なことである。従つて、市並びに市農協としては、この現状に即応する対策の一端として、高度の集約栽培（温室栽培）を奨励し、これにより現下の苦境を乗り切り、更に将来の農業経営を安定させるために、昭和27年来より農業生産施設再建事業に、総額1千3百万円を出資して、温室建設に低利融資を行つている。そして現在までに約1千50万円を貸付けこれによつて29棟、960坪が建設されて、それぞれ菜・花類が栽培され相当の成果を挙げている。

また、栽培技術・品種改良にも意を用い、特に水稲の病虫害予防対策については、防除本部を設けて万全を期する等、農業経営の改善に大いに努めた。

農業委員会

農業委員会は、農業生産の発展及び農業経営の合理化を図り、農民の地位向上に寄与するために、昭和26年3月31日従来の農地委員会、農業改良委員会及び農業調整委員会を併合して新しく発足したものである。

現在委員会（委員長　前　理一）は、20名の委員（内5名は市長の選任による）により構成されている。

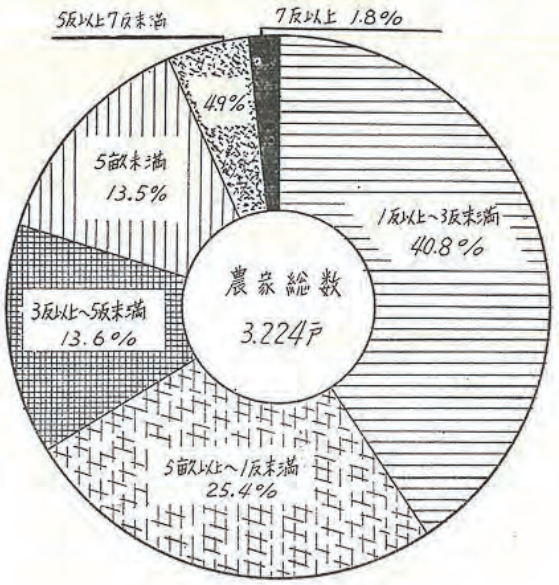
経営耕地面積

農家数・従事者数並びに経営耕地面積

（調査課調）

耕地面積別	農家戸数			従事者数			経営耕地面積		
	計	専業	兼業	計	専業	兼業	計	所有地	借入地
	戸	戸	戸	人	人	人	反畝	反畝	反畝
昭.25.2.1	3,858	1,189	2,669	?	?	?	6,515.4	4,361.3	2,154.1
26.3.1	3,972	?	?	?	?	?	6,364.2	4,264.0	2,100.2
27.8.1	**3,251**	**898**	**2,353**	**6,930**	**1,908**	**5,022**	**6,071.5**	**4,572.9**	**1,498.6**
5畝未満	434	32	402	689	39	650	156.4	113.0	43.4
5畝～1反	818	107	711	1,411	140	1,271	568.2	408.1	160.1
1反～3反	1,316	360	956	2,876	670	2,206	2,240.4	1,634.0	606.4
3～5	438	241	197	1,177	580	597	1,656.8	1,198.4	458.4
5～7	158	103	55	490	306	184	911.5	743.0	168.5
7～10	45	32	13	168	115	53	358.8	316.6	42.2
10～15	14	10	4	50	31	19	162.9	151.3	11.6
15～20	1	1	—	2	2	—	16.5	8.5	8.0
土地を耕作しない農家	27	12	15	67	25	42	—	—	—

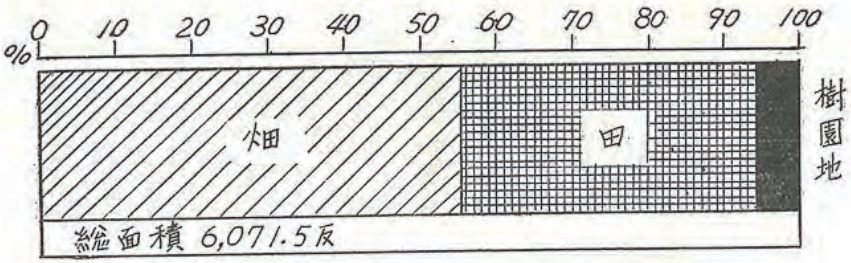
経営耕地面積別農家数（昭.27.8.1）



種類別経営耕地面積

耕地面積別	経営耕地面積			
	総面積	田	畑	樹園地
	反畝	反畝	反畝	反畝
昭.25.2.1	6,515.4	2,616.1	3,628.7	270.6
26.3.1	6,364.2	2,519.1	3,507.9	337.2
27.8.1	**6,071.5**	**2,377.6**	**3,367.0**	**326.9**
5畝未満	156.4	13.2	140.8	2.4
5畝～1反	568.2	111.7	442.2	14.3
1反～3反	2,240.4	821.6	1,342.4	76.4
3～5	1,656.8	709.5	853.8	93.5
5～7	911.5	493.9	391.8	25.8
7～10	358.8	188.8	124.7	45.3
10～15	162.9	23.9	69.8	69.2
15～20	16.5	15.0	1.5	—

種類別経営耕地面積（昭.27.8.1）



収　獲　高

主要農産物の作付面積及び収穫高　（農水産課調）

年度別	米		麦		甘しよ		ばれいしよ	
	作付面積	収穫高	作付面積	収穫高	作付面積	収穫高	作付面積	収穫高
	反	石	反	石	反	貫	反	貫
昭和23年度	2,299	5,056	3,089	3,451	1,403	525,876	545	149,191
24	2,299	5,080	2,607	3,569	1,381	527,000	552	158,817
25	2,299	4,614	2,620	4,340	829	207,250	248	99,200
26	2,341	4,342	2,637	4,117	800	240,000	350	140,000
27	1,949	4,281	1,390	2,360	650	445,000	580	348,000
28	1,647	3,313	1,400	2,170	650	487,000	730	398,000

特産農産物の収穫高

農産物	作付面積	収獲高
	反	千貫
ねぎ	270	224
蓮根	600	480
いちご	300	75
いちぢく	200	80

畜　産　業

家畜導入による農業経営の合理化は漸次促進されつつあり、市としてもこれがなお一段の促進を期するために、昨年より家畜人工授精事業を始めて家畜の改良増殖を図るとともに、飼育管理並びに疾病防止等の指導に重点をおいて畜産振興を図つた。

また、本年10月7日より1週間基町（旧西練兵場跡）において、第6回中国連合畜産（主催広島県）並びに第1回全国和牛（主催全国和牛登録協会）の2大共進会が開催され、盛会裡に終了した。そしてこれを機会に、有畜化の必要性がさらに認識され、飼育意慾を推進することが出来た。

家畜飼育状況　（農水産課調）

牛			馬		めん羊		豚		鶏	
飼育者	乳牛頭数	役牛頭数	飼育者	頭数	飼育者	頭数	飼育者	頭数	飼育者	頭数
人	頭	頭	人	頭	人	頭	人	頭	人	羽
195	204	155	246	289	46	54	202	1,064	7,742	33,228

牛乳生産量

昭和27年	28	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
石													
3,102	3,432	233	222	261	270	338	309	334	289	307	296	287	284

備考　石未満は4捨5入しているので総数に一致しない。

漁　　業

本市の漁業には、遠洋漁業のような大掛りな設備を有するものは全くなく、すべて内海に属する小規模の海面漁業と、内海の地理的自然条件を生かして行われる「のり・かき」等の浅海養殖業である。しかし海面漁業は古来より概して不振で、漁業設備・方式等も旧態依然として、改善進歩の跡はあまり見受けられず、従つてこんにちの経済情勢下においては、生計を漁業のみに依存することははなはだ困難を伴なうため、漁家の約7割程度までが他の産業を兼営しており、この内もつとも多いのが農業で、いわゆる半農半漁の形態が多い。一方の養殖業界特に海外にまでその名を知られている広島湾内の「かき」養殖は、従前の抗打垂下方法を筏式垂下方法に切替え、また設備数も年々増加する等積極的な増殖計画が実施されたためにその飛躍は目覚しいものがあり、こんにちでは生産量、及び質ともに全国の最高位にある。さらに現在は試殖の域を出ていないが、真珠の養殖も行われており、その結果は業界の注視の的になつている。

なお、この年11月に実施された第二次漁業センサスの結果よりみた漁業界の概況は次の通りである。

漁業世帯数

（調査課調）

状態別	総数	A	B	C	D	E
	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯
世帯数	1,793	739	212	11	143	88

備考　A　海面漁業における個人経営世帯
B　雇用されて30日以上漁業に従事したものがいる世帯
C　共同で漁業を経営しそれに参加している世帯
D　内水面において漁業を経営する世帯
E　漁業に従事するが年間30日未満の世帯

漁業の種類別世帯数（A個人経営世帯）

総世帯数	一般海面漁業										浅海養殖業		
	小型機船底びき網	その他の底びき網	イワシあぐり巾着網	その他の刺網	その他の釣延縄	小型定置網	地びき網	船びき網	採貝採藻	その他の漁業	かき養殖	のり養殖	その他の浅海養殖
世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯
739	18	9	2	29	132	1	1	5	43	88	180	226	5

漁撈方式別の従事者数（A個人経営者世帯）

総数	無動力船	有動力船					定置	地びき網	浅海養殖
		1トン未満	1トン～3トン	3～5	5～10	10～20	小型定置		
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
1,928	308	71	238	23	90	15	4	4	1,175

漁船数（A個人経営世帯）

区分	総隻数	無動力船隻数	有動力船隻数
総数	946	611	335
無動力	198	198	—
有動力 1トン未満	39	2	37
有動力 1トン～3トン	116	28	88
有動力 3～5	8	3	5
有動力 5～10	15	9	6
有動力 10～20	5	4	1
小型定置	1	—	1
地びき	2	1	1
浅海養殖	562	366	196

漁獲数量及び金額（A個人経営世帯）

区分	総額	海面漁業		浅海養殖
		数量	金額	金額
	千円	貫	千円	千円
総額	162,779	294,749	72,603	90,176
無動力のみ	27,461	80,900	25,659	1,803
有動力 1トン未満	4,718	14,429	4,328	390
有動力 1トン～3トン	28,857	87,338	25,832	3,024
有動力 3～5	1,464	3,235	1,284	180
有動力 5～10	8,290	69,500	8,290	—
有動力 10～20	1,190	8,090	1,085	105
小型定置	450	980	450	—
地びき	212	423	212	—
浅海養殖	90,138	29,854	5,464	84,674

備考　1．昭和年月日～月日までの1年間の漁獲高である。
2．金額は千円未満を4捨5入している。

広島競輪

昭和27年2月に総工費約4千3百万円をもつて、宇品町に新設された広島競輪場は、総面積15,600坪、競輪バンクは1周400米、幅員8米（出発点附近は10米）で、8千人の収容設備を有している。

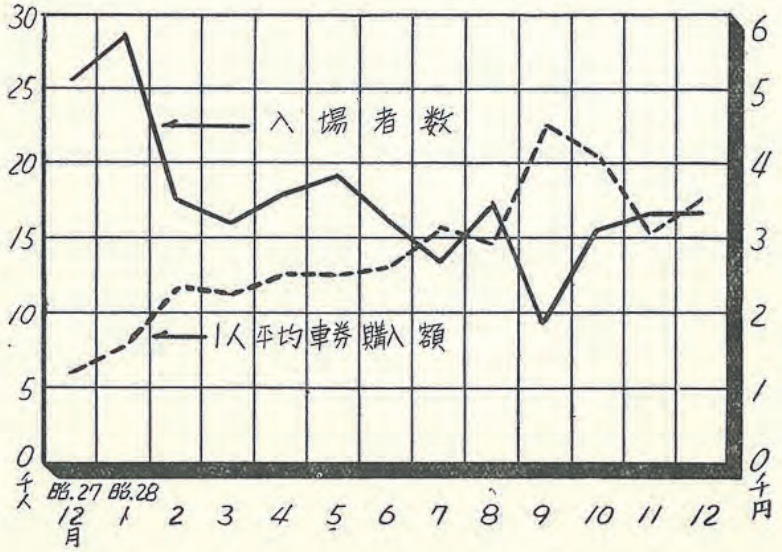
第1回競輪を同年2月中旬に開催して以来、その後も毎月1回（6日間）開催し、本年末までに13回開催したが、現在までの入場者総数は約23万人、車券の売上総額は約5億8千6百万円で、1回平均にすると入場人員は約1万8千人、車券の売上額は4千5百万円となり、売上額は目標額に対して若干下廻つているが、本市の実績は次表に示す通り、季節の変化等によつて多少の高低はあるが徐々に向上しつつある。なお、今までの最高配当金額をみると69,999円となつている。

広島競輪の実績

（競輪事務局調）

回数	開催年月	入場者数	車券売上 総額	単勝式	複勝式	連勝式	1人当り1車購入券額
		人	円	円	円	円	円
昭和27年第1回	昭和27年12月	25,521	30,369,000	818,600	2,652,800	26,897,600	1,190
昭和28年第1回	昭和28年1月	28,715	45,052,500	1,188,100	4,234,200	39,630,200	1,569
2	2	17,524	40,803,600	535,100	2,411,500	37,857,000	2,328
3	3	16,207	36,646,500	617,200	2,460,800	33,568,500	2,261
昭28年度第1回	4	18,110	45,426,900	486,200	2,026,200	42,914,500	2,508
2	5	19,240	48,161,400	508,600	1,734,200	45,918,600	2,503
3	6	16,365	43,080,900	332,400	1,075,900	41,672,600	2,633
4	7	13,505	42,298,200	230,300	913,800	41,154,100	3,132
5	8	17,245	50,712,800	300,700	929,100	49,483,000	2,941
6	9	9,488	42,876,200	162,900	833,700	41,879,600	4,519
7	10	15,620	48,635,100	253,100	977,900	47,404,100	4,114
8	11	16,865	52,176,400	297,900	1,030,700	50,847,800	3,094
9	12	16,775	60,040,200	—	1,176,700	58,863,500	3,579

競輪の成績



第10編 金　　融

日本銀行広島支店

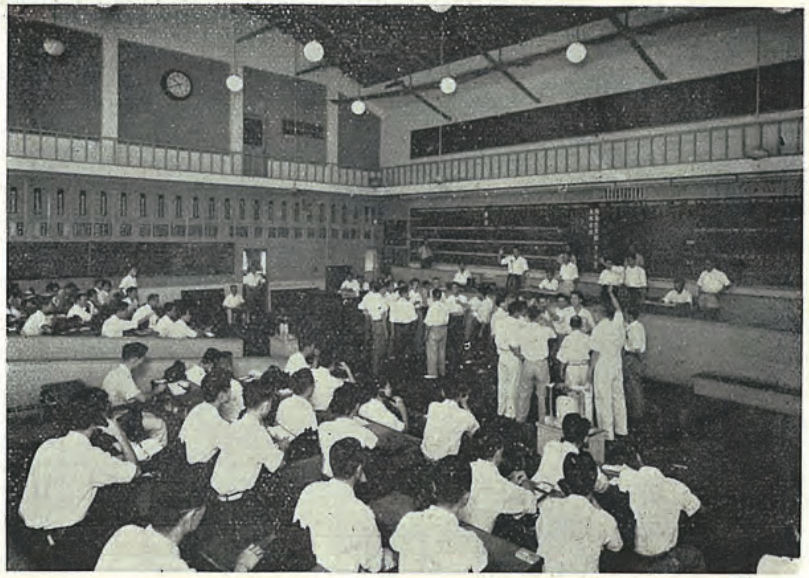
広島銀行本店

広島信用金庫本店

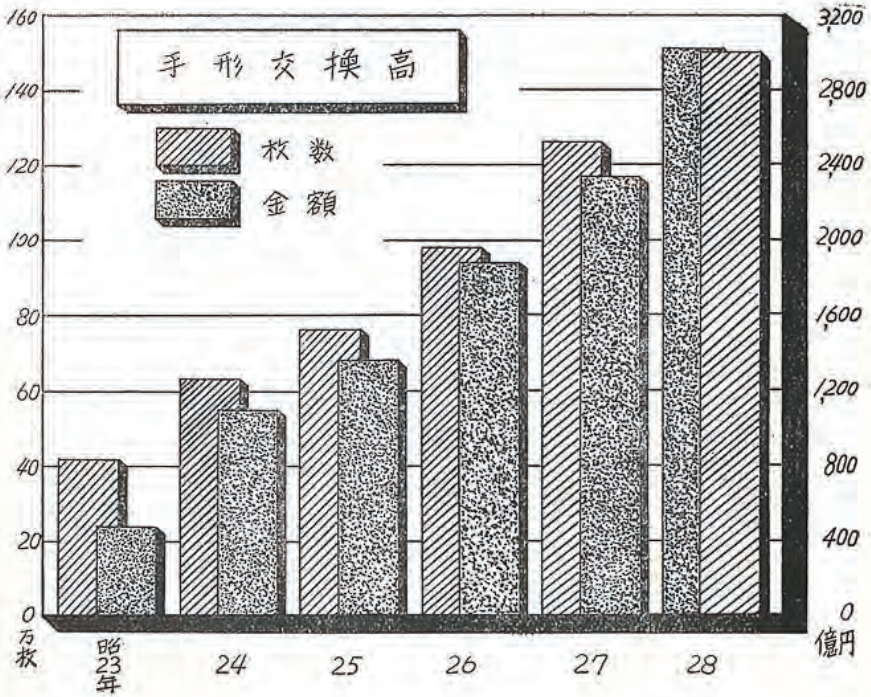
広島相互銀行本店

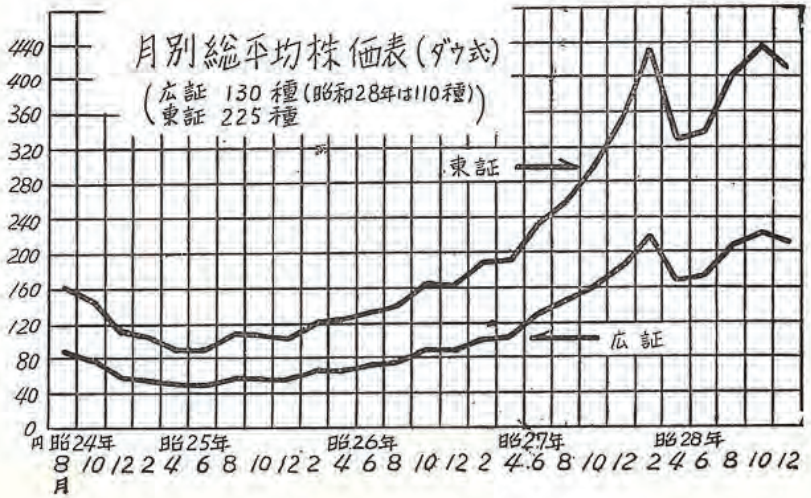
広島地方貯金局

広島証券取引所



同　売買立会場





銀 行・信 託

市内には地元の広島銀行を始め全国主要銀行等の支店・支所合わせて30有余の金融機関が置かれており、中国地方における金融の中心をなしている。

本年末における普通銀行のみの預金及び貸出状況をみると、預金高は総額 252億3千4百万円余りでこの1年間に約67億3千万円（36.4%）も増加した。この内預金高の最も伸びた種類は定期預金（約24億円）、次いで当座預金（14億7千万円）で、また、増加率の最も高いのは当座預金の49.3%が目立つている。

貸出額は総額236億6千6百万円で、1年間に67億8千万円（40.2%）増加しており、またこの1年間の預金高よりは約5千万円の貸出超過となつている。

種類別預金高（12月末）

総額	定期預金	通知預金	普通預金	当座預金	その他
千円	千円	千円	千円	千円	千円
25,233,940	8,963,950	4,842,076	4,706,436	4,438,238	2,283,240
(100.0%)	(35.5%)	(19.2%)	(18.7%)	(17.6%)	(9.0%)

種類別貸出高（12月末）

総額	手形貸付	割引手形	証書貸付	当座貸越
千円	千円	千円	千円	千円
23,666,430	13,957,672	5,359,039	4,167,876	181,843
(100.0%)	(59.0%)	(22.6%)	(17.6%)	(0.8%)

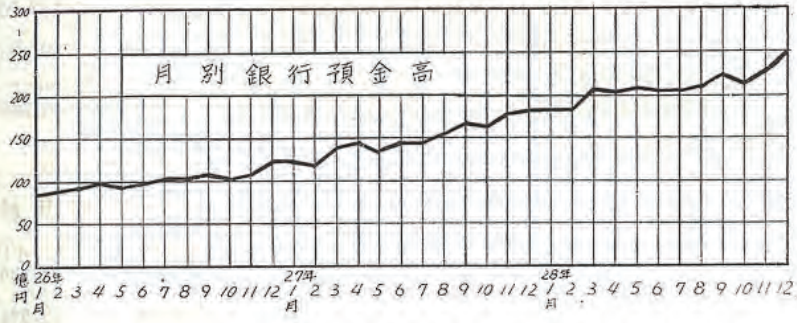
銀行預金及び貸出高

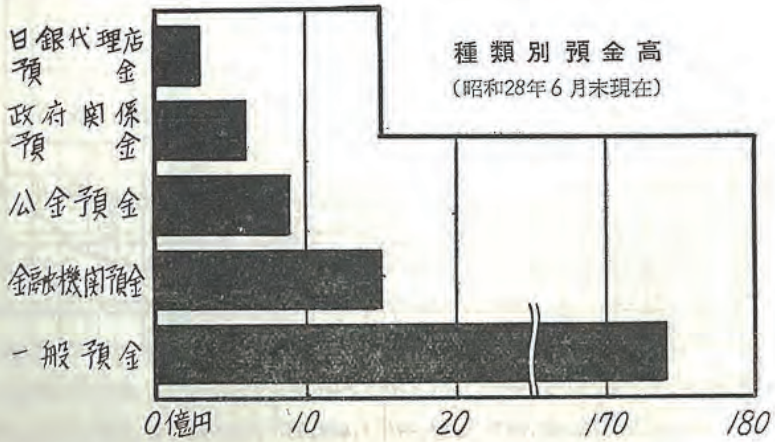
（広島銀行協会調）

年月別	預金高	預金内容					貸出高
		一般預金	公金預金	金融機関預金	日銀代理店預金	政府関係預金	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
昭.25.末	7,879,854	6,120,685	577,814	814,295	41,550	325,510	7,047,479
26	12,502,891	9,837,507	1,165,901	1,150,828	182,333	166,322	12,603,986
27	18,269,464	15,008,069	1,074,133	1,727,518	229,022	230,722	16,796,963
28.1.末	18,501,536	15,714,985	901,120	1,548,316	156,064	181,051	16,885,767
2	18,428,705	15,847,097	861,991	1,448,037	149,990	121,590	17,366,356

3	21,269,865	17,947,408	1,263,599	1,658,434	141,026	259,398	18,022,227
4	20,667,974	17,003,445	1,812,476	1,466,016	131,254	254,783	17,924,531
5	20,922,656	18,036,649	796,839	1,388,542	394,975	305,651	18,938,302
6	20,654,610	17,407,305	943,256	1,461,700	288,383	553,966	19,626,962
7	20,621,088	17,688,008	—	—	—	553,351	20,420,353
8	20,921,565	18,338,745	—	—	—	558,445	20,813,455
9	22,482,655	19,337,057	—	—	—	482,873	21,605,603
10	21,696,817	19,081,573	—	—	—	260,388	21,588,652
11	23,149,828	19,460,202	—	—	—	64,257	22,385,021
12	25,233,940	20,785,445	—	—	—	72,831	23,666,430

備考　7月以降における預金内容の内公金預金・金融機関預金・日銀代理店預金の各項は不明である。





各種金融機関（普通銀行を除く）の預金及び貸出高

（各金融機関調）

月別	金庫・公庫		信用金庫		農業協同組合		相互銀行業務		銀行		相互銀行業務			
	預金	貸付	預金	貸付	預金	貸付	貸付	預金	預金	貸付	貸付	契約高	掛金高	給付金
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
昭.28.1.末	460,320	854,981	1,653,906	1,158,700	249,136	137,555	764,706	888,798	9,613,514	1,183,277	826,673			
2	417,560	790,498	1,671,604	1,188,063	249,003	144,298	736,665	924,824	9,886,312	1,221,678	824,954			
3	476,688	862,166	1,856,848	1,271,946	259,931	141,373	779,152	996,433	10,100,466	1,273,175	816,868			
4	459,453	870,480	1,834,171	1,269,971	260,225	140,339	741,057	1,040,807	10,948,972	1,364,534	869,276			
5	479,867	899,223	1,912,249	1,328,349	273,155	142,941	757,859	1,106,315	11,151,786	1,439,834	887,857			
6	491,228	888,518	1,979,214	1,397,450	285,100	139,653	811,087	1,204,263	11,352,697	1,495,073	902,484			
7	517,126	926,993	2,051,559	1,434,270	297,158	144,633	832,219	1,415,045	11,691,944	1,568,998	925,015			
8	529,873	920,691	2,139,367	1,499,652	311,818	148,589	853,644	1,381,638	11,811,411	1,630,981	944,129			
9	529,248	934,363	2,122,944	1,547,092	304,359	154,319	957,509	1,440,433	12,182,226	1,702,689	964,448			
10	562,327	1,018,286	2,139,900	1,587,349	303,690	164,479	917,952	1,540,759	12,368,286	1,762,499	962,558			
11	567,763	1,112,055	2,174,927	1,648,490	301,053	172,898	952,403	1,624,048	12,652,943	1,798,610	956,459			
12	609,089	1,230,220	2,449,493	1,829,048	325,457	183,862	1,076,108	1,773,762	12,998,934	1,868,613	1,011,857			

備考　金庫公庫＝商工中央・労働。　信用金庫＝広島信用・広島商工信用。　農業協同組合＝広島市農協・広島市西部農協。　相互銀行＝3行の合計である。

手形交換高

（広島銀行協会調）

年月別	交換 枚数	交換 金額	不渡 枚数	不渡 金額
	枚	千円	枚	千円
昭和 23 年	424,557	48,793,830	—	—
24	635,862	109,767,231	—	—
25	760,353	136,801,651	—	—
26	977,419	187,904,515	325	16,479
27	1,264,459	233,294,866	409	26,735
28	**1,502,739**	**302,135,713**	**582**	**35,577**
1月	95,287	20,144,479	56	2,546
2	106,282	21,786,282	42	2,510
3	118,684	24,393,422	43	2,632
4	118,213	25,995,299	47	3,919
5	122,052	22,995,201	35	2,224
6	139,659	25,338,530	49	2,961
7	129,994	24,036,180	55	3,210
8	129,672	23,916,830	61	4,372
9	128,462	26,947,293	50	2,783
10	131,569	28,587,749	53	3,060
11	126,674	28,394,532	54	3,070
12	156,191	29,599,916	37	2,290

郵便貯金

郵便貯金取扱状況

（郵政局調）

年月別	郵便貯金 預入高	郵便貯金 払もどし高	郵便貯金 残高
	千円	千円	千円
昭和25年	1,469,525	1,586,528	808,389
26	1,874,480	1,676,171	956,698
27	2,407,624	2,178,426	1,185,896

28	**2,615,103**	**2,396,041**	**1,404,958**
1月	221,519	152,454	1,254,961
2	191,408	184,940	1,261,429
3	211,667	225,281	1,247,815
4	220,878	196,070	1,272,623
5	207,083	196,843	1,282,863
6	216,918	183,936	1,315,845
7	202,387	196,672	1,321,560
8	219,147	183,305	1,357,402
9	215,836	209,120	1,364,118
10	220,602	216,779	1,367,941
11	190,439	206,235	1,352,145
12	297,219	244,406	1,404,958

郵便為替貯金取扱状況

年月別	振出 口数	振出 金額	払渡 口数	払渡 金額
	口	千円	口	千円
昭和 27 年	106,569	537,191	113,861	819,387
28	**78,167**	**589,784**	**88,272**	**587,348**
1月	5,786	33,638	6,065	40,483
2	8,162	42,804	9,814	45,990
3	7,839	53,038	8,994	50,439
4	6,632	52,356	7,509	47,254
5	6,358	46,541	7,316	48,409
6	6,322	47,859	6,851	44,358
7	6,459	53,607	6,962	43,536
8	6,581	45,535	6,964	43,128
9	5,363	45,568	6,043	45,643
10	5,948	52,467	6,470	49,232
11	4,923	45,054	5,938	49,560
12	7,794	71,317	9,346	79,316

備考　外国為替を含む。

証　券

好調の中に始まつた本年の株価は、間もなく春の大暴落を喫し、続く夏相場に若干の展開を見たが、金融引締政策を反映した秋以降の漸落を経て暮を閉じた。すなわち、本年当初の株価（110種月別総平均、ダウ式による）は208.33円、2月217.99円と200円台に上昇したが、3月186.64円、4月168.03円と暴落し、以後は一時下落したこともあるが順調な経過をたどつた。しかし、秋以降は再び漸落の傾向にあり、本年末現在でその株価は210.45円となり、1月に比較するとわずか1.0%の高値で終つた。

広島証券取引所におけるこの年の出来高は、総数8千90万2千株で、前年の8千348万9千株よりは約3.1%下廻つたが、一方その約定代金は前年の286億1千万円に比べると、約18.9%増の340億1千万円であつた。これは株価水準の上昇、並びに株価の基盤が堅調であつたことを示すものである。

証券取引所出来高及び平均株価

（広島証券取引所調）

年月別	立会日数	出来高	約定代金	1日平均出来高	約定代金による総平均株価	110種平均株価（ダウ式）
	日	株	円	株	円	円
昭和24年	151	2,510,239	365,018,981	16,624	143.81	—
25	300	10,587,780	1,332,910,860	35,293	109.23	—
26	300	21,747,784	3,349,443,844	72,493	147.70	—
27	300	83,488,590	28,611,495,134	278,295	321.67	—
28	**298**	**80,902,518**	**34,098,405,660**	**271,485**	**427.47**	—
1月	23	6,124,230	2,377,733,722	266,271	388.25	208.38
2	23	6,395,713	2,471,937,582	277,074	386.53	217.99
3	25	7,427,715	2,984,686,138	297,109	401.83	186.64
4	25	7,226,903	3,033,565,520	289,076	419.62	168.03
5	25	7,145,288	3,903,884,913	285,811	546.35	178.66
6	26	4,895,191	2,303,464,560	188,276	470.55	174.39
7	27	5,687,324	2,482,747,885	210,641	436.54	185.06
8	25	8,406,206	3,197,909,007	336,248	380.42	205.54
9	25	8,959,167	3,591,103,821	358,367	400.83	219.90
10	27	6,731,598	2,933,683,212	249,318	435.80	221.37
11	23	5,701,461	2,425,852,222	247,889	425.48	210.72
12	24	6,201,722	2,391,837,078	258,405	385.67	210.45

国民金融公庫貸付状況

（国民金融公庫調）

区分		総数	普通貸付	国債担保貸付	遺族貸付	母子家庭貸付	共同募金貸付	中小企業引揚貸付
		件						
申込	件数	6,079	4,424	785		785		85
	金額	千円 1,416,793	1,342,255	34,167		35,616		4,155
貸付	件数	3,857	2,471	757		547		82
	金額	千円 583,434	532,725	32,974		14,460		3,275
回収	件数	1,422	1,405	16		1		—
	金額	千円 410,198	407,873	2,128		196		1
残高	件数	4,243	2,857	758		546		82
	金額	千円 387,804	338,685	31,584		14,262		3,273

備考　残高件数及び金額は昭和28年末を示し、前年よりの繰越総件数及び総額である。

保　険

生命保険契約状況

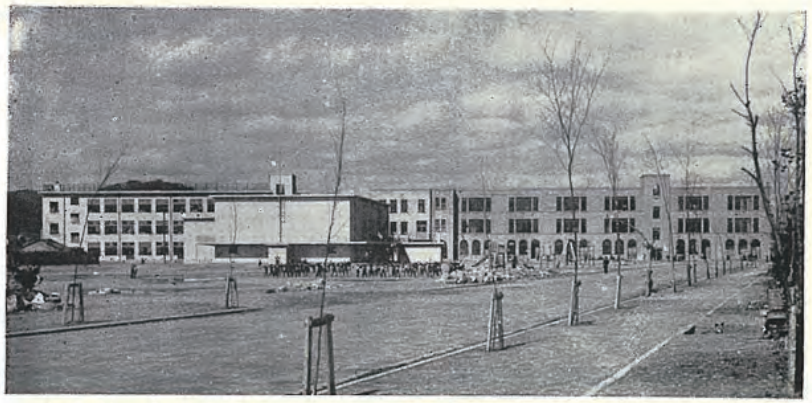
（生命保険協会調）

年月別	新規契約高		収入保険料
	件数	金額	初回
	件	千円	千円
昭和26年	37,788	4,926,749	145,415
27	44,272	7,402,427	183,381
28	**44,931**	**9,485,820**	**273,366**
1月	3,268	656,580	15,098
2	3,155	632,040	15,576
3	3,960	830,840	20,620
4	2,946	549,460	12,518
5	3,469	723,660	17,427
6	3,850	787,330	16,234
7	3,517	753,150	15,932
8	3,557	803,200	18,973
9	3,983	832,480	19,024
10	3,541	789,820	17,491
11	5,207	1,204,030	25,455
12	4,458	923,230	19,018

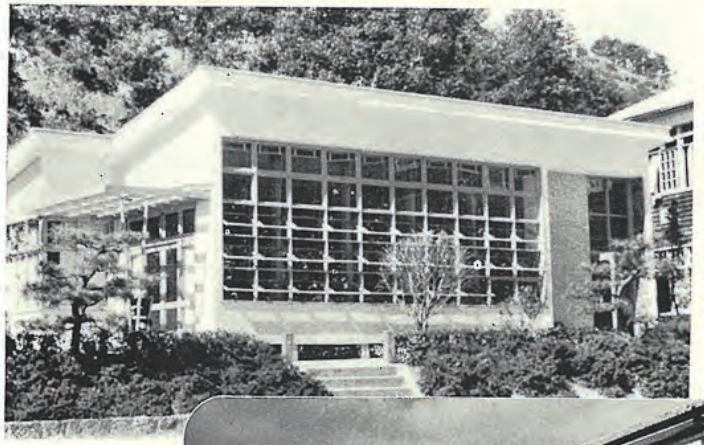
簡易保険取扱状況　　（郵政局調）

年月別	新規契約高		収入保険料			支払保険金	
	件数	金額	総額	初回	2回後	件数	保険金
	件	千円	円	円	円	件	円
昭和25年	20,847	717,095	141,411,592	6,351,265	135,060,327	24,765	10,218,558
26	16,695	767,820	179,926,594	4,445,342	174,481,251	11,150	11,792,195
27	20,935	1,052,575	215,133,123	6,646,339	208,486,784	5,811	12,296,402
28	**16,774**	**927,625**	**269,769,294**	**6,494,622**	**263,274,672**	**3,038**	**14,262,760**
1月	1,496	78,650	19,876,469	558,124	19,318,345	169	1,111,049
2	1,785	91,320	19,494,945	659,719	18,835,226	292	1,196,321
3	2,055	106,905	22,987,926	780,398	22,207,528	288	1,218,090
4	1,750	94,670	19,488,387	695,355	18,793,032	284	1,252,957
5	1,733	94,660	23,115,493	688,521	22,426,972	261	652,935
6	1,579	87,010	21,419,917	595,457	20,824,460	235	1,147,002
7	1,673	105,725	24,543,540	714,296	23,829,244	263	875,844
8	1,611	86,565	23,391,446	617,974	22,773,472	226	1,817,752
9	1,179	65,220	22,203,297	435,277	21,768,020	254	959,756
10	1,108	64,080	24,559,203	418,167	24,141,036	255	1,288,237
11	665	38,780	21,067,466	249,115	20,818,351	244	747,655
12	140	8,040	27,521,205	82,219	27,538,986	267	1,548,981

第11編 学校教育



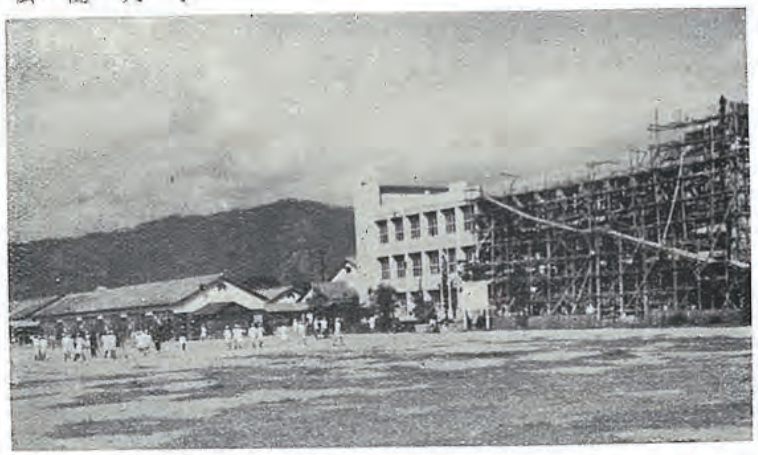
広島市立本川小学校



広島市立己斐小学校図書館

広島市立幟町中学校

広　島　大　学



増築中の広島県広島基町高等学校

ノートルダム女子清心高・中学校

教育委員会

本市の教育行政機関である教育委員会は、教育委員会法に基いて各都道府県及び５大都市に次いで昭和25年/2月/日より発足した。

教育委員会は、従来市長の権限に属していた教育・学術及び文化に関する事項（但し原則として大学及び私立学校は所管外）を管理運営し、地方の実情に即した教育行政を行い、教育の民主化を図ることがその主要任務である。

本市の教育委員会は、誕生以来３ヵ年を経過したが、この間種々の重要施策を審議決定し、地方教育行政に関しては堅実な運営が推進されており、今後の発展が期待されている折から、一部には委員会制度廃止の動きが見られるので、本市教育委員会としてはこの動静に対し、教育の民主化引いては我が国の民主化の成否にかかわる重要問題として、あくまでその存続発展につとめる方針である。

教育委員

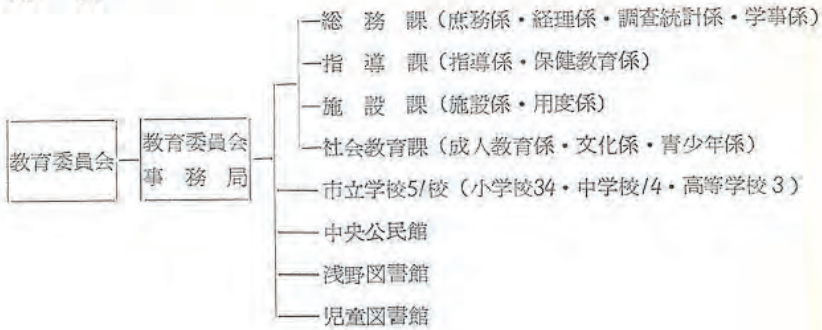
本市の教育委員会は、現在次の５名により構成されている。

委員長	吉中良雄	（市会選出）
副委員長	勝亦大平	（公　選）
委　員	新延新一	（〃）
委　員	今田庫吉	（〃）
委　員	土谷蔵郎	（〃）

補助機関（事務局）

教育委員会の権限に属する一切の事務を処理するために、補助機関として事務局が置かれ教育長以下61名の職員を配し次の機構により構成されている。

機　構



学校教育の概要

教育委員会発足と同時に、３ヵ年計画として立てられた教育３大目標（1 道徳教育の振興　2 保健教育の徹底　3 生産教育の推進）については、昭和28年度は最後の完成年度と

して、教育内容の充実に一段の努力が傾注され多大な成果を収めた。更に昭和29年度においては、次の4努力点を強力に推進する計画が立てられている。

1　教科指導の充実
2　教科外活動・特別教育活動の推進
3　生活指導計画の適正
4　健康管理の強化

従つて市内小・中・高の各学校においては、この4努力点を中心に相互の連絡を密にし、研修組織の態勢を整えると同時に、各校の地域及び学校の実態に即した具体的計画を立て目標達成につとめることになつた。

教育施設の整備は、現下特に緊急重要課題であるが財政事情の窮迫している現状では種々困難を伴つている。しかし、各方面の協力を得て昭和28年中には別表のごとく、建坪延5,955坪、工事費約1億7千8百万円（教室168・講堂1・図書室その他）で施設が整備された。

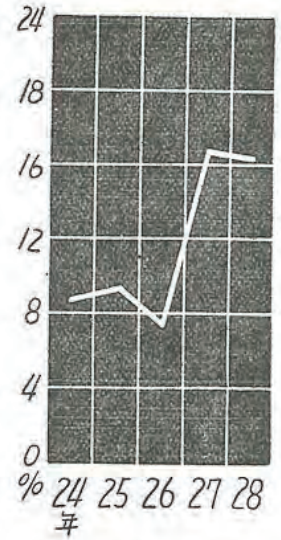
なお、本年1月下旬仁保小学校は不審火により29坪（被害額379万円）を焼失した。

現在本市にある学校教育施設は、大学院1・大学5・高等学校20・中学校26・小学校36・特殊学校2　計90校を数え、学生生徒及び児童数は約77,500名（広島大学の内市外所在学部学生数840名を除く）に達している。

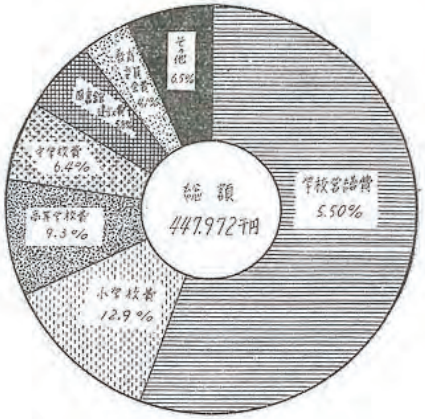
教育関係予算

科目	昭和27年度 予算額	昭和27年度 決算額	昭和27年度 百分比	昭和28年度 予算額	昭和28年度 百分比
	円	円	%	千円	%
教育費	383,467,445	376,493,355	100.0	447,972	100.0
教育委員会費	15,940,384	15,711,032	5.0	18,343	4.1
小学校費	50,381,341	46,519,154	14.7	57,923	12.9
中学校費	21,340,749	19,114,821	6.0	28,690	6.4
高等学校費	33,495,670	32,798,720	10.4	41,502	9.3
図書館費	10,566,828	8,203,404	2.6	6,508	1.4
公民館費	1,982,117	1,647,173	0.5	2,186	0.5
社会教育費	2,314,178	1,911,104	0.6	3,042	0.7
研究諸費	3,265,640	3,112,697	1.0	3,001	0.7
学校営繕費	239,557,000	182,990,568	57.8	246,419	55.0
諸費	4,623,538	4,484,682	1.4	4,942	1.1
図書館建設費	—	—	—	26,176	5.8
災害学校復旧費	—	—	—	9,240	2.1

予算に占める教育費の割合



教育関係予算



学校別児童・生徒及び教職員数

小学校

学校名	児童数	教員数	職員その他	学校名	児童数	教員数	職員その他	学校名	児童数	教員数	職員その他
	人	人	人		人	人	人		人	人	人
総数	39,826	962	239	千田	1,445	34	6	本川	1,021	28	7
市立計	38,839	922	230	袋町	1,677	37	8	中島	1,130	28	6
牛田	1,217	27	10	竹屋	1,161	27	5	天満	1,270	33	7
幟町	2,048	44	6	宇品	2,612	56	10	観音	1,188	26	7
白島	1,590	35	7	元宇品	166	9	5	南観音	1,511	34	8
皆実	2,013	44	7	青崎	1,486	34	9	草津	1,332	30	5
大河	828	21	5	似島	304	11	4	古田	764	22	6
楠那	339	12	5	似島学園	80	6	10	已斐	1,255	28	7
比治山	2,100	44	6	三篠	1,197	28	7	官立計	987	40	9
段原	1,351	30	8	大芝	1,177	27	6				
仁保	712	19	6	広瀬	487	14	7	広島大学附属東千田	511	22	7
矢賀	337	10	6	江波	1,100	25	8	〃 東雲	476	18	2
尾長	1,177	30	8	舟入	911	21	6				
荒神町	1,066	25	7	神崎	787	22	5				

備考　市立小学校は昭.28.5.1/官立小学校は同12.末日現在である。

中学校

学校名	生徒数	教員数	職員その他	学校名	生徒数	教員数	職員その他
	人	人	人		人	人	人
総数	**18,001**	**554**	**115**	庚午	854	27	5
市立計	**12,491**	**383**	**72**	**私立計**	**4,756**	**137**	**36**
幟町	1,575	45	6	修道	1,059	24	8
翠町	933	30	7	崇徳	224	11	—
段原	1,284	40	5	山陽	324	6	3
二葉	829	29	5	松本商業	87	6	2
国泰寺	2,114	54	5	進徳	54	8	1
宇品	850	26	5	安田	173	4	8
青崎	517	18	5	比治山	512	14	6
似島	143	7	4	女学院	647	25	5
似島学園	52	5	7	女子商業	1,194	25	—
中広	781	25	5	ノートルダム清心	482	14	3
江波	1,058	30	5	**官立計**	**754**	**34**	**7**
大手町	211	10	3	広島大学附属東千田	500	22	3
観音	1,290	37	5	〃 東雲	254	12	4

備考 1. 市・私立中学校は昭.28.5./官立中学校は同/2.末日現在である。
2. 教員数は本務者のみである。

高等学校

学校名	生徒数		教員数		職員その他	
	全	定	全	定	全	定
	人	人	人	人	人	人
総数	**14,947**	**2,805**	**582**	**83**	**150**	**28**
市立計	**1,716**	**1,082**	**80**	**36**	**31**	**14**
基町(普・家・商)	979	300	42	8	17	2
舟入(普・家)	737	—	38	—	14	—
千田(工)	—	782	—	28	—	12
県立計	**4,713**	**789**	**193**	**30**	**63**	**9**
皆実(普・家)	764	—	34	—	10	—

国泰寺(普・家)	1,031	599	36	23	14	6
観音(普・家・商)	903	190	34	7	10	3
工業(工)	1,415	—	89	—	29	—
私立計	**8,623**	**934**	**283**	**17**	**53**	**5**
修道(普・商)	1,150	163	36	4	6	2
崇徳(〃・〃)	814	—	32	—	8	—
広陵(〃・〃)	573	84	19	—	—	—
山陽(〃・〃)	1,105	510	23	7	10	3
松本商業(商)	553	131	17	3	—	—
進徳(普・家・商)	431	—	26	—	2	—
安田(普・家)	974	—	31	—	7	—
比治山(普)	892	—	23	—	4	—
女学院(普・英)	704	—	31	—	7	—
女子商業(商)	1,109	46	27	3	7	—
ノートルダム清心(普)	146	—	3	—	—	—
音楽(音)	172	—	15	—	2	—
官立計	**495**	—	**26**	—	**3**	—
広島大学附属東千田	495	—	26	—	3	—

備考 1. 市・私立高等学校は昭.28.5./官立高等学校は昭.28./2.末日現在である。
2. 教員数は本務者のみである。

特殊学校

学校別	小学部			中学部			高等部		
	児童数	教員数	職員その他	生徒数	教員数	職員その他	生徒数	教員数	職員その他
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
盲(県立)	65	11	25	26	5	兼務	77	19	兼務
ろう(〃)	197	32	29	55	5	〃	19	4	〃

備考 昭.28./2.末日現在

幼稚園（私立）

幼稚園名	所在地	園児	幼稚園名	所在地	園児
		人			人
広島中央幼稚園	国泰寺町	200	めぐみ幼稚園	庚午北町	84
微妙〃	南段原〃	120	二葉〃	二葉の里	102
日本キリスト教団東部教会附属的場〃	的場〃	294	三篠〃	三篠本町	147
広島唯信寺〃	舟入川口〃	200	大洲〃	大洲〃	86
専宗〃	出汐〃	150	聖マリア〃	千田〃	122
親和〃	皆実〃	180	あやめ〃	牛田〃	62
愛児〃	中広〃	110	洋光〃	仁保町向洋	264
流川〃	上流川〃	156	アライアンス〃	白島西中町	157
安芸女子高等学校附属〃	比治山本〃	171	栄光〃	江波〃	113
慈光〃	吉島本〃	80	たちばな〃	木挽〃	80
聖母〃	幟〃	148	安田〃	白島中〃	123
永照〃	堀川〃	152	三育〃	南竹屋〃	74

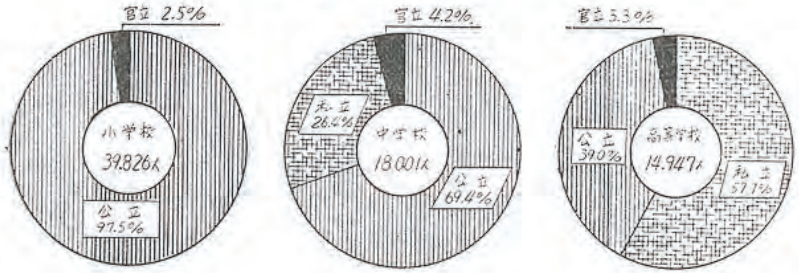
備考　昭.28.5./現在

各種学校

総数		洋裁		編物		英語		看護婦		珠算・簿記・タイピスト		その他	
学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数
	人		人		人		人		人		人		人
39	6,907	22	3,904	3	643	2	220	3	212	5	1,425	4	503

備考　昭.28.5./現在

学校別生徒数



身体検査測値平均（昭和27年度）

校種	年令別	区分：国県市別	性別	身長(糎)		体重(瓩)		胸囲(糎)		座高(糎)	
				男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	6	全国		109.3	108.6	18.6	18.1	56.4	54.8	62.4	62.0
		広島県		108.9	108.2	18.4	18.1	56.3	55.1	62.3	62.0
		広島市		109.6	108.6	18.5	18.1	56.4	55.2	62.4	61.9
	7	全		114.2	113.6	20.6	20.0	58.3	56.6	64.8	64.3
		県		114.1	113.2	20.4	19.8	58.2	56.6	64.9	64.2
		市		114.8	114.1	20.5	20.1	58.0	56.5	65.1	64.6
	8	全		119.2	118.3	22.6	22.0	60.1	58.3	67.0	66.6
		県		118.7	118.2	22.4	21.9	60.0	58.4	67.0	66.6
		市		119.3	119.0	22.5	22.0	59.9	58.1	67.4	66.5
	9	全		123.9	123.3	24.7	24.1	61.8	60.2	69.0	68.8
		県		123.5	122.8	24.5	23.9	61.9	59.9	69.2	68.9
		市		123.6	123.0	24.8	24.2	61.7	60.0	69.1	68.7
	10	全		128.3	128.0	26.9	26.6	63.6	62.1	71.0	70.9
		県		127.7	127.7	26.6	26.3	63.4	62.2	70.8	70.8
		市		128.4	128.1	26.9	26.7	63.6	62.3	71.0	71.0
	11	全		132.5	133.1	29.2	29.6	65.6	64.5	72.7	73.2
		県		132.2	132.5	28.9	29.1	65.4	64.6	72.7	73.3
		市		132.6	133.0	29.2	29.4	65.3	64.3	72.7	73.3
中学校	12	全		137.4	138.4	32.0	33.5	67.6	67.6	74.8	76.0
		県		136.5	137.6	31.5	32.6	67.3	67.2	74.5	75.6
		市		137.4	138.2	31.8	33.0	67.1	67.0	75.1	75.3
	13	全		142.9	143.8	36.1	38.0	70.0	71.1	77.5	78.8
		県		142.0	143.2	35.3	37.4	70.0	70.9	77.1	78.5
		市		143.0	143.3	34.8	36.6	70.0	70.6	77.8	78.2
	14	全		148.8	147.7	41.1	42.1	73.8	74.5	80.7	81.1
		県		148.8	147.0	40.1	41.6	73.3	73.9	80.6	81.0
		市		148.8	147.5	40.2	41.3	73.0	73.3	80.9	81.1

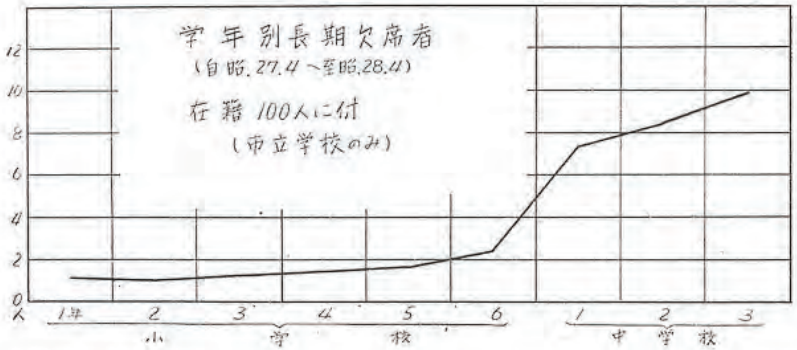
備考　市立学校のみである。

長期欠席児童及び生徒

校種	小学校							中学校			
学年	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
在籍者	36,929	5,441	6,080	6,624	6,482	6,517	5,785	10,396	3,845	3,154	3,397
長欠者	532	62	59	78	92	103	138	886	282	266	338

備考　1．長期欠席者の範囲は昭和27年4月～昭和28年3月までの間に連続または断続的に50日以上欠席したもの。

2．市立学校のみである。



卒業後の状況

中学校

卒業者総数		進学者		就職者		その他			
						計		無業者	不詳
人	%	人	%	人	%	人	%	人	人
3,373	100.0	2,181	64.7	937	27.8	255	7.5	189	66

備考　昭和27年度卒業者で市立中学校の生徒のみである。

高等学校

課程別		卒業者総数		進学者		就職者		その他			
								計		無業者	不詳
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	人
全	総数	1,683	100.0	381	22.6	787	46.8	515	30.6	421	94
	普通科	890	100.0	320	35.9	217	24.4	353	39.7	272	81
日制	工業科	359	100.0	36	10.0	304	84.7	19	5.3	15	4
	商業〃	269	100.0	22	8.2	211	78.4	36	13.4	35	1
	家庭〃	165	100.0	3	1.8	55	33.3	107	64.9	99	8
定時制	総数	261	100.0	27	10.3	227	87.0	7	2.7	6	1
	普通科	118	100.0	22	18.6	94	79.7	2	1.7	1	1
	工業〃	110	100.0	4	3.6	103	93.7	3	2.7	3	—
	商業〃	33	100.0	1	3.0	30	90.9	2	6.1	2	—

備考　昭和27年度卒業者で公立高等学校の生徒のみである。

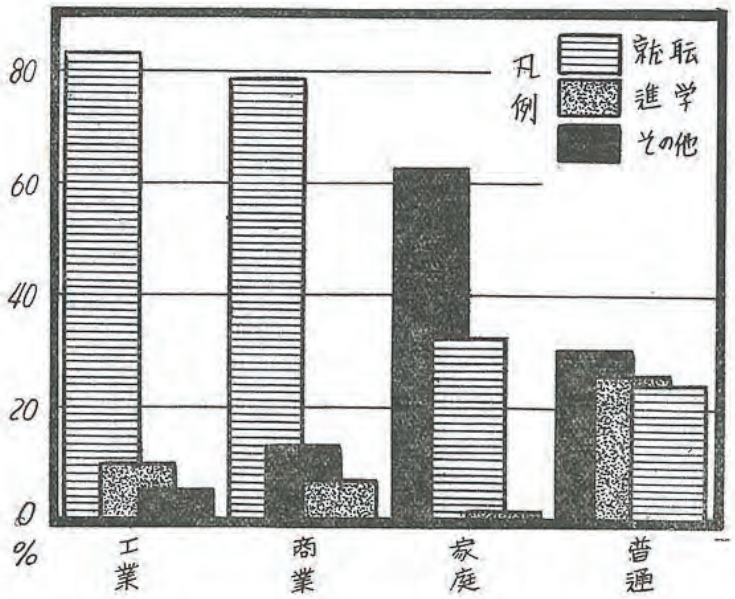
学校給食

実施校	12月末参加児童	給食日数	延人員	経費総額	1人当り経費	1食平均	
						たん白	熱量
校	人	日	人	円			
35	34,450	123	3,999,082	54,430,824	14円50銭	24.5瓦	627カロリー

備考　昭和28年4月～12月までの期間。

高等学校卒業生(全日制)の進学及び就職状況

(昭和27年卒業者)



教育施設整備状況（昭和28年中）

学校名	構造	工事概要	数坪	工事費
			坪	千円
荒神町小学校	木造2階建	2教室	71	1,190
矢賀 〃	〃	〃	61	1,349
段原 〃	鉄筋コンクリート3階建	9教室・便所	344	18,558
皆実 〃	木造2階建	4教室	126	2,505
千田 〃	鉄筋コンクリート3階建	9教室・便所	335	18,652
中島 〃	〃	〃・〃・渡廊下	360	18,802
観音 〃	木造平屋建	4教室	105	1,918
三篠 〃	木造平屋及び2階建	8教室・便所	283	6,190
似島学園 〃	木造2階建	2教室	63	1,449
白島 〃	〃	6教室・便所	213	4,364
宇品 〃	〃	〃・給食室	206	4,240
青崎 〃	〃	4教室	143	3,080
幟町 〃	〃	6教室・便所・倉庫	155	3,161
竹屋 〃	〃	〃・〃	157	3,304
神崎 〃	木造平屋建	7教室・〃	206	3,658
江波 〃	木造2階建	10教室	311	6,445
天満 〃	鉄筋木造平屋建	講堂	150	4,925
大芝 〃	木造2階建	2教室	55	1,443
古田 〃	〃	4教室・便所	134	3,043
己斐 〃	木造平屋建	図書室	30	726
尾長 〃	〃	〃	8	285
庚午中学校	〃	〃・便所	120	2,593
幟町 〃	木造2階建	6教室・〃	190	4,000
江波 〃	〃	8教室	259	5,293
中広 〃	木造平屋建	4教室・便所	135	3,081
二葉 〃	木造2階建	8教室・〃	263	6,880
大手町 〃	鉄筋コンクリート3階建	6教室・〃・宿直室	315	11,863
段原 〃	木造2階建	4教室	132	2,112

観音 〃	〃	8教室	260	5,190
青崎 〃	〃	2教室	65	1,400
宇品 〃	〃	8教室	260	5,950
舟入高等学校	木造平屋建 鉄筋コンクリート3階建	〃	382	18,145
基町 〃	鉄筋ブロック平屋建	2教室	58	1,904

備考　市立学校のみである。

広島大学

（本部　広島市東千田町・学長　森戸辰男）

昭和24年5月31日国立大学設置法により広島文理科大学・広島高等学校・広島工業専門学校・広島高等師範学校・広島女子高等師範学校・広島師範学校・広島青年師範学校を包括し、また広島市立工業専門学校を併合して文学・教育学・政経学・理学・工学・水畜産学の6学部よりなる綜合大学として発足、その後において次の学部等が新らしく設置された。

1　昭.25.3　政経学部第二部
2　昭.25.9　通信教育部
3　昭.27.4　工業教員養成課程
4　昭.28.4　大学院（文学・教育学・理学の各研究科）
5　昭.28.8　医学部（広島県立医科大学併合）

学生及び教職員数（昭.28./1./現在）

区分	学生数 総数 計	総数 男	総数 女	昭和24年度入学 計	昭和24年度入学 男	昭和24年度入学 女	昭和25年度入学 計	昭和25年度入学 男	昭和25年度入学 女	昭和26年度入学 計	昭和26年度入学 男	昭和26年度入学 女	昭和27年度入学 計	昭和27年度入学 男	昭和27年度入学 女	昭和28年度入学 計	昭和28年度入学 男	昭和28年度入学 女	教職員数 計	教職員数 教員	教職員数 職員
総数	4,958	4,268	690	80	80	—	982	920	62	1,091	1,005	86	1,408	1,162	246	1,397	1,101	296	1,374	740	634
学長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
事務局	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110	—	110
補導部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	—	30
文学部	491	415	76	15	15	—	106	93	13	135	111	24	120	101	19	115	95	20	80	58	22
教育学部	1,976	1,403	573	22	22	—	307	264	43	345	291	54	655	444	211	647	382	265	507	328	179
学芸学部	948	852	86	22	22	—	236	217	19	245	223	22	230	206	24	215	194	21	164	110	54
東雲分校	370	219	151	—	—	—	—	—	—	15	14	1	182	123	59	173	82	91	103	62	41
三原分校	308	133	175	—	—	—	1	1	—	3	2	1	152	75	77	152	55	97	94	59	35
福山分校	350	189	161	—	—	—	70	46	24	82	52	30	91	40	51	107	51	56	146	97	49
政経学部	819	811	8	8	8	—	203	203	—	212	209	3	200	198	2	196	193	3	55	26	30
理学部	284	264	20	8	8	—	77	71	6	75	70	5	67	62	5	57	53	4	154	102	52
医学部	40	38	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	38	2	59	33	26
工学部	1,065	1,063	2	22	22	—	254	254	—	272	272	—	271	269	2	246	246	—	138	72	66
水畜産学部	182	182	—	5	5	—	35	35	—	49	49	—	46	46	—	47	47	—	81	35	46
医学部進学課程	101	92	9	—	—	—	—	—	—	3	3	—	49	42	7	49	47	2	—	—	—
皆実分校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	132	78	54
理論物理学研究所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	7	5
附属図書館	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	—	14

広島大学大学院学生数（昭.28./1./現在）

総数	78	文学研究科	28	教育学研究科	16	理学研究科	34

広島文理科大学研究科学生数（昭.28./1./現在）

総数	108	史学科	15	物理学科	7	地学科	3
教育学科	18	文学科	18	化学科	8		
哲学科	18	数学科	8	生物学科	13		

修道短期大学

（広島市南千田町・学長　山尾政治）

本学は商科2年課程（夜間）として、昭和27年3月5日設立を認可され、将来は昼間短期大学更には4年制大学への移行が計画されている。

学生及び教職員数

学生数 計	学生数 1年	学生数 2年	教職員数 計	教職員数 専任	教職員数 兼任
人	人	人	人	人	人
333	179	154	41	22	19

広島女子短期大学

（広島市宇品町・学長　山根邦夫）

過去20年間広島女子専門学校として歩んできた本学は、学校教育法の規定により昭和25年3月短期大学として発足した。

学生及び教職員数

学年	学生数 計	国文科	社会科	理数科	家政科	教職員数 計	教員	職員その他
	人	人	人	人	人	人	人	人
総数	492	85	79	64	264	72	38	34
1年	253	43	39	35	136	—	—	—
2年	239	42	40	29	128	—	—	—

広島女学院大学

（広島市牛田町・学長　広瀬ハマコ）

キリスト教主義に基づいた教育を施す広島女学院は、明治19年12月創立以来高等女学校・専門学校等を経営し昭和24年4月に英文学部、次いで25年4月に短期大学部を増設した。

学生及び教職員数

学部別	学生数					教職員数		
	計	1年	2年	3年	4年	計	教員数	職員数
	人	人	人	人	人	人	人	人
総数	351	145	126	43	37	60	45	15
英文学部	189	62	47	43	37	39	26	13
短期大学部	162	83	79	—	—	21	19	2

エリザベツト音楽短期大学

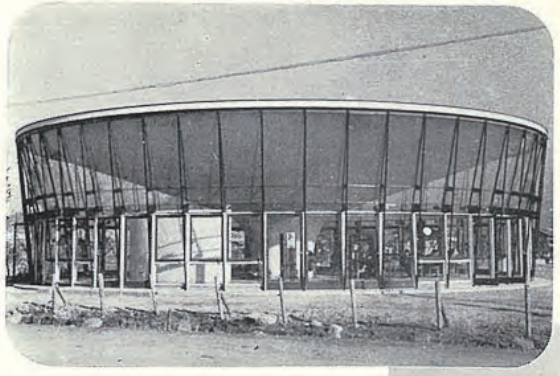
（広島市幟町・学長　エルネスト・ゴーセンス）

昭和22年音楽教室として発足した本学は、翌23年広島音楽学校として公認され、将来は音楽大学の設立も計画されているが、その前段階として昭和27年3月音楽短期大学が設置された。

学生及び教職員数

学生数			教職員数		
計	男	女	計	教員	職員
人	人	人	人	人	人
74	26	48	49	39	10

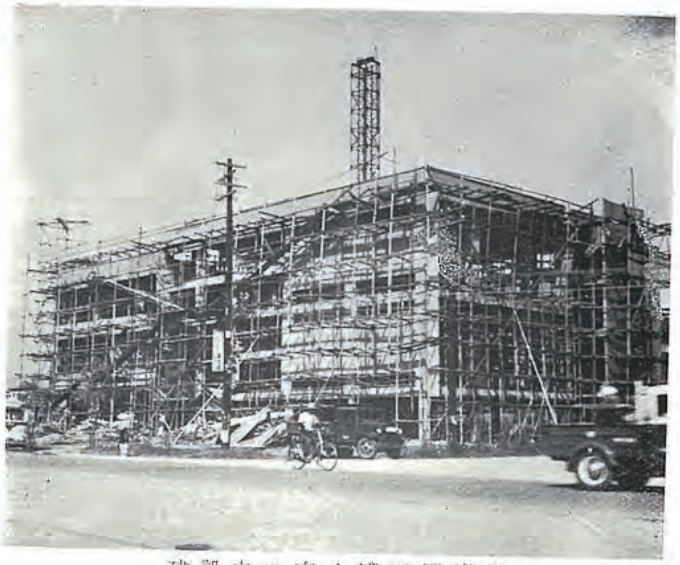
第12編 社会教育



市立児童図書館

児童センター

県立児童図書館



建設中の市立浅野図書館

広島県スポーツ会館（毎日新聞社提供）

概　要

本市の社会教育活動は戦後においては昭和24年６月社会教育法が制定されて以来その趣旨に沿つて進み、更に教育委員会発足（昭和25年/2月）後は、その管理運営の下に社会教育委員（現在/7名議長山根邦夫）を中心として、極力社会教育活動の推進、或は社会教育振興施設の充実に努めてきた。しかし、現状ではその規模・内容共に急速に発展しつつある学校教育に比べると、はなはだしい開きがあるが、社会情勢の推移に伴つて、公民館活動・視聴覚教育をはじめとし、ようやく各部門共活発な動きが見えてきた。

社会教育の現況

本年中における社会教育の主なる動静は次の通りである。

施　設

/ 在米同胞をはじめ各方面の協力と援助により児童図書館附属舎の完成。

2 浅野図書館の移転新築の決定。

新築場所　国泰寺町(市庁舎南側)　階数　2階建　延坪　422 坪

総工費　2,194 万円　完成予定年月日　昭和29年９月５日

指　導

/ 地域婦人会の講習・日本ボーイスカウト中国ブロック大会・各種文化行事等の開催によつて、婦人会・青少年団体の社会教育団体、或はその他各文化団体の育成と助長に努めた。

2 各地区における社会教育の推進のため、小学校或は地区社会福祉協議会等の機関団体がこれにあたり、また、青年学級の開設においては中学校が成人学校においては本年より新たに高等学校があたるなど多大なる協力がみられた。

3 新らしく西部生活改善補導所を開設して、既設の東部と連携して同和教育推進の確実な基盤をすえた。

視聴覚教育

本市における視聴覚教育は、現在主として映画観賞を通じて実施している。

映写会の実施状況

総　数	官公庁	学校関係	福祉施設	保育所幼稚園	婦人団体	青少年団体	P.T.A	その他
502回	123回	112回	19回	43回	16回	67回	3回	119回

主要行事一覧表

成人教育関係

行事名	開催日	会場	摘要
P.T.A幹部講習会	2月 8日	農協ビル講堂	共催・講師　天野貞祐氏
成人教養講座	自 2・1 至 2・25	各市立中学校	共催
第4回成人学校	自 2・14 至 2・28	比治山小学校	毎週火・木・土曜日 講師　森戸辰男氏外
第4回善行児童・勤続教職員表彰並びに学芸発表会	3・7	袋町小学校	
第2回広島市婦人生活改善発表大会	3・12	県婦人研修所	講師　坂本孝子女史
憲法発布記念行事	自 5・1 至 5・3	中央公民館	講演会と舞踊のつどい 講師　森戸辰男氏
市民道徳高揚と時の記念日	6・10	市内一円	ポスター展並びに街頭宣伝
婦人団体指導者表彰及び婦人の集い	6・20	中央公民館	表彰者7名、講師　中野静一氏
図書館専門職員養成広島大学講習	自 7・28 至 8・26	広大附属図書館	講師　山中弘四氏外
夏季社会教育講座	8・9	袋町小学校	講師　上坂両三氏外
地域婦人団体講習会	自 9・15 至 9・26	江波小学校外	講師　名柄正之氏外
P.T.A指導者講習会	9・25	己斐小学校	講師　森岡良夫氏外
婦人の集い	10・16	広島アメリカ文化センター	講師　竹上正子女史
成人教養講座	自 9・1 至11・30	各市立小学校	1校当り4回
教育講演会	11・20	中央公民館	講師　矢内原忠雄氏
成人教養講座	自11・25 至12・20	各市立中学校	1校当り2回
成人学校	自12・8 至12・24	基町高校	珠算・簿記・タイプ・一般教養 講師　清水壮太郎氏外
公開講演会	12・18	中央公民館	講師　羽仁五郎氏

青少年関係

成年式	1・15	児童文化会館	
米ラサム財団主催第28回国際ポスター競技会応募	1・28		7,253点
柏崎市・広島市少年交歓会	3・31	社会館	座談30名来広
児童福祉週間行事	自 5・4 至 5・9	児童文化会館外	映写大会・移動子供大会
青年学級	自 7・9 至 9・9	段原中学校外	毎週月・水・金・土曜日 講師　山本良雄氏外
第2回日本ボーイスカウト中国ブロック大会	自 8・19 至 8・21	総合グランド	共催

昭和28年度ボーイスカウト年少幹部特別訓練	自 9・12 至 9・13	山陽文徳殿外	講師　原　北陽氏外
単位青年団幹部研修会	自 9・19 至 9・20	県婦人研修所	講師　森戸辰男氏外
子供向映写大会	9・26	児童文化会館	漫画外
地域青年団研修会	11・2	仁保保育園	講演並びに映写会 講師　真川　淳氏
第5回原爆都市青年交歓会	自11・13 至11・15	県青年館外	
外国学童ポスター展覧会	自11・15 至12・30	児童図書館	46点
日比親善交換図画広島地区作品募集	自10・10 至11・10		応募点数　305、応募校28校
美術祭参加児童作品発表会	自11・28 至11・29	児童文化会館	昆虫記外
米ラサム財団主催第29回国際愛護ポスター競技会応募作品募集	自10・10 至12・10		応募点数　7,489、応募校49校
クリスマス子供大会	自12・20 至12・25	児童文化会館外	紙芝居とお話・映画会・聖画展等

文化関係

レコード・コンサート	自 1・ 至 3・	A．C．C	毎月第2・4月曜日
新春音楽会（第5回ポピュラーコンサート）	1・25	中央公民館	
ナトコ映写機操作再テスト	2・25	婦人研修所	旧免許証所有者　80名
ユネスコ講演会並びに座談会	〃	医師会館	講師　尾高朝雄氏
最近の欧州事情講演会	3・22	中央公民館	講師　森戸辰男氏
ジョセフ・シュゲテイ独奏会	3・23	東洋座	共催
平和精神普及講演会	5・1	中央公民館	講師　大西雅雄氏外
第7回市民プロムナード・コンサート	5・2	縮景園	音楽演奏並びにバレー
堀内敬三による音楽講座とレコード観賞会	5・4	中央公民館	共催
マリアン・アンダーソン独唱会	5・11	東洋座	〃
第6回ポピュラーコンサート	5・31	中央公民館	演奏　広島フィルハーモニー交響楽団　指揮　佐藤正二郎氏
第3回春季邦楽大演奏会	〃	児童文化会館	共催
ナトコ映写機操作技術者養成講習会	自 6・22 至 6・24	婦人研修所	受講者　約100名
第5回広島県美術展覧会	自 6・30 至 7・5	中央公民館外	日本画・洋画・彫塑・美術工芸・書道
平和問題講座	自 8・1 至 8・3	中央公民館	講師　小谷鶴次氏外
広島市視聴覚教育連合会準備委員会	9・15	児童文化会館	
「音楽史」講座	10・3	農協ビル講堂	講師　皆川達夫氏
ソロモン演奏会	10・5	東洋座	共催

アイザック・スターン独奏会	10・7	東洋座	共催
第14回秋季邦楽大演奏会	10・25	児童文化会館	〃
「ユネスコの月」行事	11月中	中央公民館外	ユネスコの集い、ユネスコの夕等 講師 村岡花子女史外
第8回市民プロムナード・コンサート	11・3	縮景園	レコード演奏・洋舞踊
短詩型文芸大会	〃	医師会館外	川柳・短歌・俳句等 講師 榎本聴夢氏外
文化祭参加「歌劇」公演	自11・14 至11・15	児童文化会館	共催 「カバレリヤルスチカーナ」外
第7回ポピュラー・コンサート	11・23	中央公民館	演奏 広島フィルハーモニー交響楽団 指揮 佐藤正二郎氏
明治・大正・昭和名作美術展覧会	自12・3 至12・15	福屋6階	109点
第4回広島演劇祭	12・13	児童文化会館	出演団体 4団体

公会堂

本市では、かねてより各種会合その他の催物の会場として公会堂の必要性を痛感していたが、例年のごとく財政事情の窮迫が禍して、こんにちまで実現出来なかつたが、本年郷土財界人の寄附をもつて、平和記念館（中島本町）西側に、総額2億5千万円の工費をもつて建設されることに決り、9月26日関係者多数の列席のもとに地鎮祭が行われた。

公会堂の規模

工費総額	2億5千万円
階数	3階建
延建坪	2,357坪
収容人員	2,000名
完成予定月日	昭和29年12月20日

中央公民館

公民館が社会教育の中軸機関として、また文化活動のセンターとして持つ使命は重大である。

現在市の公民館は、公民館としての設備を満足に有しないため、その活動はおのづから限定されているが、公民館に対する市民の認識は漸次深まりつつあるので、今後は施設の充実に分館の設置と相まつて一層の社会教育活動が期待される。

主要行事

行事名	開催日	摘要
第4回広島花展（諸流挿花・茶会）	自 3月17日 至 3・23	挿花 540点
美容講座	5・20	

アマチュアコンクール入選作品映写会	8・9	
第1回市民芸術講座	自 8・21 至 10・23	毎週金曜日
第5回広島花展（諸流挿花・茶会）	自 10・27 至 11・4	挿花 540点
市民レクリエーションの集い	12・19	

定期行事

定期講座 1 人形教室	自 5・19 至 7・15	毎週水曜日8回
2 もりうるし教室	自 5・26 至 7・12	毎週日曜日8回
3 陶芸教室	自 6・7 至 8・2	〃
楽焼講座	年間	毎週日曜日
レコードコンサート	〃	毎月第2・4月曜日、共催
交響楽団練習（広島フィルハーモニー）	〃	毎週火曜日
レクリエションの集い	〃	毎週水曜日
レクリエーション講習会	自1・14 至3・13 自6・24 至8・28	2カ月毎に修了、年2回実施 毎週水曜日または金曜日
人形講座	年間	毎週水・木曜日

利用状況

利用種別	回数	利用種別	回数
	回		回
総数	187	福祉更生	8
会議	17	講習会	2
講演会	7	体育レクリエーション	4
展示会・展覧会	28	講座	1
芸能	112	その他	8

図書館

図書館数

図書館名	所在地	図書館名	所在地
市立浅野図書館	比治山本町（山陽文徳殿内）	広島アメリカ文化センター	小町
市立児童図書館	基町（児童文化会館西側）	広島大学附属図書館	東千田町
県立児童図書館	小町		

備考 浅野図書館は現在国泰寺市庁舎南側に新築中（昭.29.9.5完成の予定）

藏書冊数

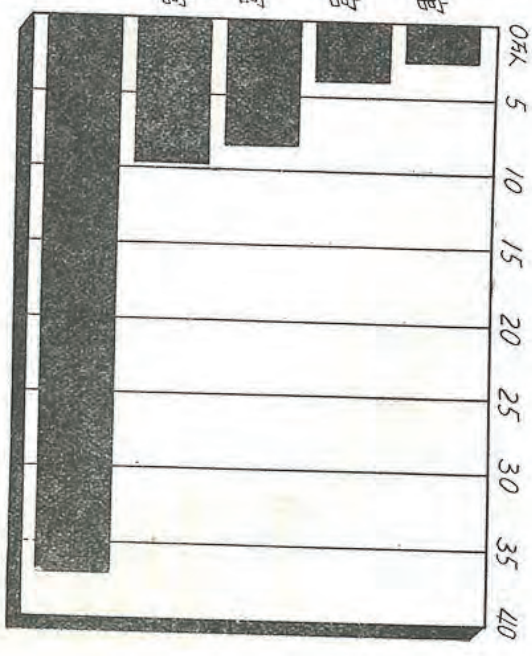
図書館名	総数	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	その他
	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊3,294	冊	冊	冊	冊	冊
総数	**336,461**	**46,507**	**44,779**	**58,933**	**44,207**	**28,886**	**18,199**	**8,228**	**9,685**	**13,380**	**55,448**	**4,975**
市立浅野図書館	14,423	2,567	1,857	3,506	1,018	967	280	180	749	182	2,884	233
市立児童図書館	3,730	112	55	254	142	379	75	78	135	129	704	1,667
県立児童図書館	5,307	264	113	555	316	654	266	130	226	150	2,633	—
広島アメリカ文化センター	19,805	751	574	2,512	4,112	1,213	3,294		1,153	291	2,890	3,015
広島大学附属図書館	293,196	42,813	42,180	52,106	38,619	25,673	17,578	7,840	7,422	12,628	46,337	—

備考 1. 市立浅野図書館は29./.22.広島大学附属図書館は28.3.3/.その他は28./2未現在。
2. 広島大学附属図書館には、本館の外に市内に所在する分館も含めている。

閲覧者数

図書館名	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
総数	**618,605**												
市立浅野図書館	25,464	1,520	2,410	1,810	1,508	2,812	2,934	2,832	3,572	3,466	1,798	394	408
市立児童図書館	39,082	3,233	2,178	2,114	1,841	1,261	1,707	4,099	5,062	4,767	—	6,354	6,466
県立児童図書館	85,000	5,634	5,850	6,306	10,912	7,545	8,214	7,564	4,799	6,728	7,505	6,194	7,749
広島アメリカ文化センター	370,512	21,255	25,852	27,862	37,843	39,655	30,144	28,843	33,682	34,192	30,639	31,223	29,322
広島大学附属図書館	98,547	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

図書閲覧者数



重要文化財

名称	種類	指定別	所在地	所有者	指定年月日
不動院金堂	建物	重要文化財(国指定)	牛田新町不動院	不動院	明.33.4.7
木造薬師如来坐像	彫刻	〃	〃	〃	大.6.8.13
銅製鰐鐘	工芸品	〃	〃	〃	明.32.8./
不動院鐘楼	建物	名勝(国指定)旧跡(国指定)	〃	〃	昭.27.7.19
縮景園	庭園	〃	上流川町	管理者広島県	15.7.12
広島城跡	城跡	〃	基町	広島市	28.3.3/
頼山陽居室跡	家跡	〃	袋町	広島県	2.9.3
頼家一族の墓	墓	〃	比治山本町多聞院	広島市	15.2.27
植田良背の墓	〃	〃	〃	〃	17.6.9
浅野長晟の墓	〃	〃	小網町泰寺	〃	24.8.12
比治山貝塚	貝塚	〃	比治山本町元陸軍比治山作業場	広島県	25.3.22
比治山の黒松	木	天然記念物(県指定)	比治山本町比治山	広島市	28.8.11

広島県の国宝・史蹟・天然記念物

国　宝

名称	所在地	名称	所在地
浄土寺塔婆(多宝塔)	尾道市尾崎町浄土寺	厳島神社　本社	佐伯郡宮島町 厳島神社
〃　本堂	〃	〃　摂社客人神社殿	〃
明王院塔婆(五重塔)	福山市草戸町明王院	〃　大鳥居	〃

重要文化財

名称	所在地	名称	所在地
福山城伏見三層櫓	福山市三ノ丸町	厳島塔婆(五重塔)	佐伯郡宮島町 厳島神社
〃　筋鉄御門	〃	多宝塔(旧称宝山神社本殿)	〃
不動院金堂	広島市牛田町不動院	〃　末社荒胡子神社本殿	〃
西国寺本堂	尾道市久保町西国寺	〃　末社豊国本殿(千畳敷又は千畳閣)	〃
〃　塔婆(三重塔)	〃	〃　大元神社本殿	〃
浄土寺阿弥陀堂	尾道市尾崎町浄土寺	〃　宝蔵	〃
明王院本堂(観音堂)	福山市草戸町明王院	向上寺塔婆(三重塔)	豊田郡瀬戸田町 向上寺
厳島神社大国神社本殿	佐伯郡宮島町 厳島神社	光明坊塔婆(十三重石塔婆)	豊田郡南生口村 大字御寺光明坊
〃　天神社本殿	〃	安国寺釈迦堂(大雄宝殿)	沼隈郡鞆町 大字後地安国寺
〃　末神門客神社左殿	〃	仏通寺舎暉院	豊田郡高坂村仏通寺
〃　末神門客神社右殿	〃	天寧寺塔婆	尾道市土堂町天寧寺

史蹟・名勝・天然記念物

種別	名称	所在地	種別	名称	所在地
史蹟	御年代(ミトシロ)古墳	豊田郡南方村	天然記念物	ナメクジウオ棲息地	豊田郡幸崎町
〃	廉塾並菅茶山旧宅	深安郡神辺町	〃	下瀬野の大ケヤキ	安芸郡瀬野村
〃	一宮(桜山慈俊拳兵伝説地)	芦品郡御調村	〃	獅山の原始林	佐伯郡
〃	安芸国分寺塔	賀茂郡西条町	〃	スメナリクジラ廻遊海面	豊田郡大乗村
〃	頼山陽居室	広島市袋町	〃	沼田西村エヒメアヤメ(南限地自生)	〃 沼田西村
〃	郡山城趾	高田郡吉田町	〃	忠海八幡神社々叢	〃 忠海町 八幡神社
〃	広島城趾	広島市基町	〃	千年村の弓掛松	沼隈郡千年村 八幡神社
史蹟名勝	厳島	佐伯郡宮島町	〃	法宣寺の天蓋松	〃 鞆町法宣寺
名勝	帝釈川の谷(帝釈峡)	比婆郡、神石郡	〃	小松寺の松	〃 〃 小松寺
〃	鞆公園	沼隈郡鞆町	〃	鳥骨雞(ウコッケイ)	広島県、東京都、三重県、大阪府、山口県、香川県
〃	三段峡	山県郡戸河内町、八幡村			
〃	縮景園	広島市上流川町	〃	大山椒魚棲息地	山県、双三、比婆各郡

各種団体

P.T.A	婦人団体	文化団体	青少年団体
小学校P.T.A連合会 1 単位団 34	地域婦人会 37	文芸/5、美術/2、演劇/3	青年団体 3/
中学校P.T.A連合会 1 単位団 13	未亡人会 29	舞踊/4、音楽22、茶華道29	少年団体 23
高等学校P.T.A連合会 1 団位団 9	その他 7	映画 3、体育25、その他23	

体　育

社会教育の一環としての体育及び体育レクリエーションの現況は次の通りである。

施　設

種目	競技場数 公認	競技場数 非公認	種目	競技場数 公認	競技場数 非公認	種目	競技場数 公認	競技場数 非公認
総数	33	39	ホッケー	1	1	自転車	1	—
バレー	10	10	野球	1	2	弓道	1	—
テニス	10	10	陸上	1	2	水泳	1	6
サッカー	2	2	ラグビー	1	1	室内	—	4
ハンドボール	3	—	バスケット	1	1			

備考　主として学校附属施設である。

主要行事

開催月日	行事名	開催月日	行事名
2月 1日	中国駅伝	7月25日	市内中学校海洋訓練
3・21	全中国対全関西蹴球・ホッケー戦	8・8 9	西日本高校バレーボール大会
3・29	第6回広島市長旗争奪団体硬式卓球大会	8・21〜23	天皇杯全日本バレーボール綜合男子選手権大会
4・26	第8回市民ハイキング	9・13	広島市中学校秋期体育大会
5・5	第9回　〃	9・20	第11回市民ハイキング
5・9	ホンコンバレーボールチーム招待試合	10・10	広島市青年軟式野球大会
5・17	市長杯剣道大会	10・11	第12回市民ハイキング
5・23 24	広島市民綜合スポーツ祭	11・8	第3回　〃

7・4 5	広島市長杯近県高校男子バスケットボール大会	11・14 15	第1回中学校綜合体育大会
〃・〃	全日本バレーボール綜合選手権大会広島市予選	12・6	第14回市民ハイキング
7・12	第10回市民ハイキング	〃・〃	市内一周継走大会
7・18 19	第8回広島市職域体育大会	12・13	森沢旗争奪市内一周継走大会
7・22	ラジオ体操講習会		

施設利用状況

市営中央テニスコート			市営中央バレーコート		
総数	一般	学生・生徒	総数	一般	学生・生徒
14,230人	6,442人	7,788人	13,767人	6,433人	7,334人

備考 1. 各種大会参加者及び練習使用者の合計である。
2. バレーコートは4月～12月までの利用者数である。

第8回国民体育大会（開催地四国地方）

選手出場人員

種目	県総数	(内)広島市	種目	県総数	(内)広島市	種目	県総数	(内)広島市
	人	人		人	人		人	人
総数	573	299	ソフトボール	25	13	柔道	12	4
バレーボール	54	28	軟式庭球	25	11	弓道	11	3
ボート	45	21	ボクシング	22	—	フェンシング	9	—
陸上	39	11	ラグビー	21	21	山岳	8	8
体操	31	4	レスリング	19	16	射撃	7	5
軟式野球	30	15	バドミントン	18	1	ウェイトリフティング	7	—
ホッケー	30	30	自転車	18	13	しない	5	1
サッカー	28	28	相撲	15	2	馬術	11	5
卓球	28	18	ハンドボール	14	1			
バスケットボール	28	28	庭球	13	12			

大会の成績

順位＼種目	陸上	ホッケー	サッカー	卓球	ソフトボール	軟式庭球	弓道
第1位	—	山陽高校 広島クラブ	修道高校	女子高校	安田女子高校	—	一般女子
2	800米	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	壮年・女子高校	—

備考 4位以下は省略

第13編 社会福祉